

890 ADVENTURE  
890 ADVENTURE L

ART. NO. 3214534ja





このたびは KTM のモーターサイクルをお買い上げ頂き、ありがとうございます。最新のスポーツモーターサイクルを手に入れられたお客様に、これを十分満喫頂くため、適切なメンテナンスと手入れを行う事をお願いしています。

安全で楽しい走行をお楽しみ下さい。

お持ちのモーターサイクルのシリアルナンバーを以下に記して下さい。

車両識別番号 (📖 頁 13)	正規ディーラー店スタンプ
エンジンナンバー (📖 頁 14)	
キーナンバー (📖 頁 13)	

本オーナーズマニュアルは、公開時点現在、当該モデルシリーズの最新仕様に基づいて作成されています。しかし、車両の更なる改良により、製品と若干の差異が生じる可能性があります。

ここに記載された内容について、当社は何ら義務を負わないものと致します。KTM Sportmotorcycle GmbH は、記載された技術内容、価格、色、形、部品、サービス内容、構造、装備などにつき予告および理由の開示なく変更、代替品なく抹消、地域の状況に合わせ変更、並びに特定モデルの生産を予告なく停止する権利を有するものとします。商品入手の可否、写真・イラスト並びに記載内容との差異、印刷ミス並びに誤記に対し、KTM は一切の責任を負いかねます。写真に使用されているモデルには、一部量産製品にはない特殊装備が施されています。

© 2021 KTM Sportmotorcycle GmbH, Mattighofen オーストリア

無断複写・転載を禁じます。

一部または全部並びにその種類を問わず、複製・複写には必ず著作者の書面による許可を要します。



ISO 9001(12 100 6061)

国際品質管理規格 ISO 9001 に基づき、KTM では、到達しうる最高の製品品質を実現するための品質保証プロセスを導入しています。

発行: TÜV Management Service

REG.NO. 12 100 6061

KTM Sportmotorcycle GmbH

Stallhofnerstraße 3

5230 Mattighofen, オーストリア

以下のモデルがこの書類の内容に該当します。:

890 ADVENTURE EU (F9703V5, F9703V6)

890 ADVENTURE L EU (F9703VE, F9703VF)





3214534ja

2021年09月

1	表示方法	6	6.6	イグニッション/ハンドルロック	19
1.1	本書の表示マークについて	6	6.7	ハンドル操作をロックする	19
1.2	使用文字種について	6	6.8	ハンドル操作のロックを解除する	19
2	安全の手引き	7	6.9	電装系アクセサリ用コンセント	20
2.1	使用目的に応じた使用環境	7	6.10	フィルターキャップを開ける	20
2.2	誤使用	7	6.11	フィルターキャップを閉める	21
2.3	安全の手引き	7	6.12	燃料コック	21
2.4	危険度と表示マーク	7	6.13	リアシート下の収納スペースを開く	21
2.5	改造に関する警告	8	6.14	リアシート下の収納スペースを閉める	22
2.6	使用時の安全性	8	6.15	左側の収納スペースを開く	23
2.7	保護服	8	6.16	左側の収納スペースを閉める	23
2.8	作業上の決まり	9	6.17	右側の収納スペースを開く	24
2.9	環境	9	6.18	左側の収納スペースを閉める	24
2.10	オーナーズマニュアル	9	6.19	車載工具	25
3	重要な注意事項	10	6.20	サイドグリップ	25
3.1	メーカー保証、法定保証	10	6.21	キャリアプレート	25
3.2	油脂類、ケミカル類	10	6.22	シートロック	25
3.3	スペアパーツ、アクセサリ	10	6.23	同乗者用フットレスト	26
3.4	サービス	10	6.24	シフトレバー	26
3.5	写真	10	6.25	ブレーキペダル	26
3.6	カスタマーサービス	10	6.26	サイドスタンド	27
4	各部の名称	11	7	コンビネーションインスツルメント	28
4.1	各部の名称 左前方(代表写真)	11	7.1	コンビネーションインスツルメント	28
4.2	各部の名称 右後方(代表写真)	12	7.2	起動とテスト	28
5	シリアルナンバー	13	7.3	デイ/ナイトモード	28
5.1	車両識別番号	13	7.4	警告	29
5.2	タイプラベル	13	7.5	凍結警告	29
5.3	キーナンバー	13	7.6	インジケーターランプ	30
5.4	エンジンナンバー	14	7.7	ディスプレイ	31
5.5	フロントフォークタイプナンバー	14	7.8	ラリー表示(オプション)	32
5.6	ショックアブソーバータイプナンバー	14	7.9	回転	33
5.7	ステアリングダンパータイプナンバー	14	7.10	シフトランプ	33
6	操作各部	15	7.11	速度表示	33
6.1	クラッチレバー	15	7.12	グリップヒーター(オプション)	34
6.2	ブレーキレバー	15	7.13	シートヒーター(オプション)	34
6.3	スロットルグリップ	15	7.14	Ride 表示	34
6.4	左ハンドルバーのスイッチ	15	7.15	ABS 表示	34
6.4.1	コンビネーションスイッチ	15	7.16	MTC 表示	35
6.4.2	ライトスイッチ	16	7.17	速度制御システムの表示(オプション)	35
6.4.3	速度制御システムのスイッチ	16	7.18	クーラント温度の表示	35
6.4.4	メニューボタン	17	7.19	燃料レベル表示	36
6.4.5	ターニングシグナルスイッチ	18	7.20	外気温度表示	36
6.4.6	ホーンスイッチ	18	7.21	時刻	36
6.5	右ハンドルバーのスイッチ	18	7.22	Favorites 表示	37
6.5.1	スタートキー/エマージェンシーOFFスイッチ	18	7.23	Quick Selector 1 表示	37
			7.24	Quick Selector 2 表示	37
			7.25	Navigation 表示	37

7.26	メニュー	38	8	エルゴノミクス	61
7.26.1	KTM MY RIDE	38	8.1	フロントシートを調節する	61
7.26.2	Audio	38	8.2	ハンドルバーの位置	61
7.26.3	Navigation	39	8.3	ハンドルバーの位置を調節する	61
7.26.4	Pairing	40	8.4	ウインドシールドを調節する	63
7.26.5	Phone	40	8.5	クラッチレバーの基本位置を調整する	64
7.26.6	Headset	41	8.6	ブレーキレバーの基本位置を調整する	64
7.26.7	電話	42	8.7	ブレーキペダルのステップを調節する	65
7.26.8	Trips/Data	43	8.8	ブレーキペダルの基本位置を調整する	65
7.26.9	General Info	43	8.9	シフトレバーの基本位置を点検する	66
7.26.10	Trip 1	43	8.10	シフトレバーの基本位置を調整する	67
7.26.11	Trip 2	44	9	運転操作の前に	68
7.26.12	TPMS ( オプション機能)	44	9.1	初めて運転操作を行う際の注意	68
7.26.13	Warning	45	9.2	慣らし運転をする	69
7.26.14	Ride Mode	46	9.3	車両に荷物を積む	69
7.26.15	Ride Mode	46	10	運転上の注意事項	71
7.26.16	Rally( オプション)	47	10.1	運転操作の前に必ず行う点検・メンテナンス作業	71
7.26.17	Throttle Response( オプション)	47	10.2	車両を始動する	71
7.26.18	Leave Rally( オプション)	48	10.3	発進	72
7.26.19	Motorcycle	48	10.4	クイックシフター・プラス( オプション)	72
7.26.20	MTC	49	10.5	シフト操作と走行	73
7.26.21	MTC+MSR( オプション)	49	10.6	MSR( オプション)	75
7.26.22	ABS	50	10.7	ブレーキをかける。	76
7.26.23	Heating Grip ( オプション機能)	50	10.8	停止と駐車	77
7.26.24	Heating Seat Rider ( オプション機能)	51	10.9	輸送	78
7.26.25	Quick Shift+( オプション)	51	10.10	燃料を給油する	78
7.26.26	Settings	51	11	サービスプラン	80
7.26.27	Favorites	52	11.1	補足情報	80
7.26.28	Quick Selector 1	52	11.2	必須作業	80
7.26.29	Quick Selector 2	52	11.3	推奨作業	81
7.26.30	Bluetooth	53	12	シャーシを調整する	82
7.26.31	Display Theme	53	12.1	ショックアブソーバー	82
7.26.32	Shift Light	53	12.2	ショックアブソーバーのリバウンドダンパーを調節する	82
7.26.33	RPM1	54	12.3	ショックアブソーバーのスプリングプリロードを調節する	82
7.26.34	RPM2	54	13	サービス作業シャーシ	84
7.26.35	Shift Light	54	13.1	車両をリアスタンドで持ち上げる	84
7.26.36	時刻と日付を設定	55	13.2	リアスタンドから車両を降ろす	84
7.26.37	DRL	56	13.3	フロントスタンドで車両を持ち上げる	84
7.26.38	Units	56			
7.26.39	Distance	57			
7.26.40	Temperature	57			
7.26.41	Fuel Cons	57			
7.26.42	Language	57			
7.26.43	Heating ( オプション機能)	58			
7.26.44	Heating Grip ( オプション機能)	58			
7.26.45	Heating Seat Rider ( オプション機能)	58			
7.26.46	Heating Seat Pillion ( オプション機能)	59			
7.26.47	Service	59			
7.26.48	Extra Functions	59			

13.4	フロントスタンドから車両を降ろす	85	14.7	後輪ブレーキのブレーキフルードのレベルを点検する	110
13.5	リアシートを取り外す	85	14.8	後輪ブレーキのブレーキフルードを補給する	111
13.6	リアシートを取り付ける	86	14.9	後輪ブレーキのブレーキパッドを点検する	112
13.7	フロントシートを取り外す	86	15	車輪、タイヤ	113
13.8	フロントシートを取り付ける	86	15.1	前輪を取り外す	113
13.9	チェーンの汚れを点検する	87	15.2	前輪を取り付ける	114
13.10	チェーンを清掃する	87	15.3	後輪を取り外す	115
13.11	チェーンの遊びを点検する	88	15.4	後輪を取り付ける	117
13.12	チェーンの遊びを調節する	88	15.5	後輪のハブダンパーを点検する	118
13.13	チェーン、リアスプロケット、フロントスプロケット、チェーンガイドを点検する	89	15.6	タイヤの状態を点検する	119
13.14	左のサイドカバーを取り外す	91	15.7	タイヤ空気圧を点検する	120
13.15	左のサイドカバーを取り付ける	92	15.8	スポークの張りを点検する	121
13.16	右のサイドカバーを取り外す	92	15.9	チューブレスタイヤシステム	122
13.17	右のサイドカバーを取り付ける	93	15.10	パンク修理剤の使用法	122
13.18	バッテリーカバーを取り外す	93	16	電装系	123
13.19	バッテリーカバーを取り付ける	94	16.1	デイライト (DRL)	123
13.20	左のフューエルタンクスポイラーを取り外す	94	16.2	12V バッテリーを取り外す	123
13.21	左のフューエルタンクスポイラーを取り付ける	95	16.3	12V バッテリーを取り付ける	125
13.22	右のフューエルタンクスポイラーを取り外す	96	16.4	12V バッテリーを充電する	126
13.23	右のフューエルタンクスポイラーを取り付ける	97	16.5	メインヒューズを交換する	128
13.24	フロントフェンダーを取り外す	98	16.6	ABS のヒューズを交換する	129
13.25	フロントフェンダーを取り付ける	98	16.7	各電装系部品のヒューズを交換する	130
13.26	フォークレグのダストシールを清掃する	99	16.8	ヘッドライトの設定を点検する	132
13.27	ウインドシールドを取り外す	100	16.9	ヘッドライトの照明距離を調節する	132
13.28	ウインドシールドを取り付ける	100	16.10	診断プラグ	133
13.29	左のフューエルタンクカバーを取り外す	101	16.11	ACC1 および ACC2 前方	133
13.30	左のフューエルタンクカバーを取り付ける	101	16.12	ACC1 と ACC2 後方	134
13.31	右のフューエルタンクカバーを取り外す	102	17	冷却システム	135
13.32	右のフューエルタンクカバーを取り付ける	103	17.1	冷却システム	135
13.33	エンジンガードを取り外す	103	17.2	調節タンクのクーラントのレベルを点検する	135
13.34	エンジンガードを取り付ける	104	17.3	調節タンクでクーラントのレベルを調整する	136
14	ブレーキシステム	106	18	エンジンを調整する	138
14.1	アンチロック・ブレーキシステム (ABS)	106	18.1	Ride Mode	138
14.2	ブレーキディスクを点検する	107	18.2	バイクトラクションコントロール (コーナリング MTC)	138
14.3	前輪ブレーキのブレーキフルードのレベルを点検する	108	18.3	スリップ調整 ( オプション )	139
14.4	前輪ブレーキのブレーキフルードを補給する	108	18.4	Throttle Response( オプション )	139
14.5	前輪ブレーキのブレーキパッドを点検する	109	19	エンジンで行うサービス作業	140
14.6	ブレーキペダルの遊びを点検する	110	19.1	エンジンオイルのレベルを点検する	140

19.2	エンジンオイルとオイルフィルターを交換し、オイルスクリーンを清掃する 	140
19.3	エンジンオイルを補給する	142
19.4	クラッチレバー遊びの点検	143
19.5	クラッチレバー遊びを設定する 	143
20	清掃、手入れ	144
20.1	洗車をする	144
20.2	冬季運転における点検・メンテナンス作業	145
21	保管	147
21.1	保管	147
21.2	保管後、運転操作の前に。	147
22	トラブルシューティング	148
23	仕様一覧	150
23.1	エンジン	150
23.2	締付けトルク、エンジン	151
23.3	容量	154
23.3.1	エンジンオイル	154
23.3.2	クーラント	154
23.3.3	燃料	154
23.4	シャーシ	154
23.5	電装系	155
23.6	タイヤ	156
23.7	フロントフォーク	156
23.8	ショックアブソーバー	156
23.9	締付けトルク、シャーシ	157
24	適合宣言	163
24.1	適合宣言	163
24.2	各国適合宣言	163
25	油脂類	164
26	ケミカル類	166
27	規格	167
28	用語索引	168
29	表示マーク索引	169
29.1	赤のマーク	169
29.2	黄色とオレンジ色のマーク	169
29.3	緑と青のマーク	169
索引		170

# 1 表示方法

## 1.1 本書の表示マークについて

以下、使用されている表示マークについて説明します。



予想される正常な反応を示します。例: 特定の作業ステップや機能実行の結果。



想定外の異常な反応を示します。例: 特定の作業ステップや機能実行の結果。



専門知識や技術知識を必要とする作業を示しています。ご自身の安全のため、これら作業はKTM正規ディーラーで実施するようにして下さい。特別な訓練を受けた専門技術者が必要な専用ツールを使って、お客様の車両を最適な状態にメンテナンス致します。



参照頁を示します (詳細については記載の頁を参照して下さい)。



補足情報や役に立つ情報を示します。



確認ステップの結果を示します。



電圧の測定を示します。



電流の測定を示します。



必要に応じた再加工を含む作業の終わりについて示します。

## 1.2 使用文字種について

以下、使用されている文字種について説明します。

**固有名詞**

固有名詞を示します。

**名前®**

登録商標を示します。

**マーク™**

トレードマークを示します。

下線を引いた用語

車両の技術的詳細を参照または用語解説にある専門用語を示します。



## 2.1 使用目的に応じた使用環境

この車両は、通常の道路走行や柔らかな地面（未舗装道路）で想定される使用環境に耐えられるような設計・構造となっています。この車両は、サーキットでの走行は想定されていません。



### 参考

本車両は承認を受けたモデルのみ公共道路での走行が許可されています。

## 2.2 誤使用

車両は使用目的に従った方法でのみ使用してください。

使用目的に従わない場合、人、車両、そして環境への危険の原因となります。

使用目的に従った使用、また定義されている使用環境の範囲外で車両を使用した場合、それは誤使用とみなされます。

油脂類およびケミカル類がそれぞれの使用に適した仕様条件を満たしていない場合も誤使用とみなされます。

## 2.3 安全の手引き

記載された製品の安全な環境のために安全の手引きに留意して下さい。そのためにも本説明書および同梱されたその他すべての説明書をよくお読み下さい。この安全の手引きは文章が見やすく記載され、重要箇所はリンクが添付されています。



### 参考

記載された製品のよく見える箇所に注意・警告表示が貼付されています。注意または警告表示をはがさないで下さい。これら表示がないと危険が認識できず、お客様ご自身並びに周囲の方々が怪我をされる恐れがあります。

## 2.4 危険度と表示マーク



### 危険

適切に対応しないと直接および確実に死亡や後遺症を残す重傷につながる危険を示します。



### 警告

適切に対応しないと死亡や後遺症を残す重傷につながる恐れのある危険を示します。



### 注意

適切に対応しないと場合によっては軽傷につながる恐れのある危険を示します。

### 情報

適切に対応しないと車両または部品に重大な損傷をもたらす危険を示します。



### 情報

適切に対応しないと環境汚染につながる危険を示します。

### 2.5 改造に関する警告

ノイズダンパー部品の改造を行うことは禁じられています。以下の処置および該当する状態の製造は法的に禁じられています:

- 1 防音のために取り付けられている装備や部品のいずれかを、新車がエンドユーザーに販売または引き渡される前に取り外したり、機能しないように変更したりする事。あるいは車両の使用期間中にメンテナンス、修理、交換以外の目的で取り外したり、機能しないように変更したりする事。
- 2 そのように設置したり部品を取り外す、もしくは機能しないようにした車両の使用。

違法改造の例:

- 1 メインサイレンサー、バツフルプレート、マニホールド、その他排気系統の部品の取り外しもしくは穿孔。
- 2 インテークシステム部品の取り外しまたは穿孔。
- 3 非合法的なメンテナンス状態での使用。
- 4 車両の可動部品、あるいは排気装置またはインテークシステムの部品を製造者が承認していない部品と交換する事。

### 2.6 使用時の安全性



#### 危険

- 事故の危険性** 運転能力および判断力が十分でない運転者は、自身および他の方への危険となります。
- アルコール、薬物、薬品などにより運転能力が低下している場合、車両の運転をしないでください。
  - 肉体的、精神的に運転能力が低下している場合も、車両の運転をしないでください。



#### 危険

- 中毒の危険性** 排気ガスは毒性があり、意識不明や死亡の原因となる恐れがあります。
- エンジンを稼働する際は十分に換気が行えるように常に確認してください。
  - 閉め切った室内でエンジンを始動したり、稼働状態にする場合は、適切な排気ガス抽出装置を使用してください。



#### 警告

- 火傷の危険性** 一部の部品は運転中非常に熱くなります。
- 車両部品が冷めるまで排気装置、ラジエーター、エンジン、ダンパー、ブレーキシステムなどの部品には触らないでください。
  - 車両部品を十分に冷ましてから作業を実行してください。

車両が完璧に整備された状態である事を必ず確認し、法規定に則った安全で環境に優しい運転を心がけて下さい。

訓練を受けた人のみがこのモデルを運転できます。公道では適切な運転許可証が必要となります。安全性を損なうような不具合がある場合は、すぐに KTM 正規ディーラーで処置を受けて下さい。車両に貼付されている注意・警告表示に従って下さい。

### 2.7 保護服



#### 警告

- 怪我の危険性** 不足および欠陥のある保護服の着用は安全面での危険性を高めます。
- 走行時は必ずヘルメット、ブーツ、手袋、プロテクターが取り付けられたズボンやジャケットなどの保護服を着用してください。
  - 損傷等がなく、かつ法規制に従った保護服を常に着用して下さい。

KTM ではお客様の安全性のためにも運転の際には適切な保護服を必ず着用するようお勧めしています。

## 2.8 作業上の決まり

特に断りのない限り、作業ごとにイグニッションをオフにするか（イグニッションスイッチまたはリモートキーが装備されているモデル）、エンジンを停止する（イグニッションスイッチまたはリモートキーが装備されていないモデル）必要があります。

作業の中には専用ツールを必要とするものがあります。専用ツールは車両の付属品ではありませんが、( )に記載されている番号を指定して注文することができます。例：ベアリングプーラー（15112017000）

特に断りのない限り、すべての作業および記載内容には通常の条件が適用されます。

外気温	20 °C
外気圧	1,013 mbar
相対湿度	60 ± 5 %

組み立ての際再利用できない部品（緩み止めスクリューとナット、拡張ネジ、ガスケット、Oリング、割りピン、リテーナープレートなど）は新しい部品と交換します。

スクリュー脱落にはゆるみ止め材（例、Loctite®）が必要になることがあります。使用の際にはメーカーの特別な注意事項を参照して下さい。

新しい部品にゆるみ止め剤（Precote®など）が塗布されている場合、追加的にゆるみ止め剤を重ねて塗布する必要はありません。

分解後も再度使用する部品は清掃し、磨耗や損傷がないかを点検します。摩耗・損傷した部品は交換します。

修理およびサービス終了後は、車両が安全に使用できる状態であることを確認して下さい。

## 2.9 環境

責任感をもってモーターサイクルと接する事で問題や対立の発生を避ける事ができます。モーターサイクルの明るい未来のためにも、法律で定められた範囲でモーターサイクルを使用し、環境意識を持ち、他人の権利を尊重する事を常に心がけて下さい。

古い燃料、その他燃料およびケミカル類、古くなった部品の廃棄は各国の法律および規則を遵守して下さい。モーターサイクルは古い車両の廃棄に関する EU 指令の対象ではないので、法的な規定はありません。KTM 正規ディーラーにお気軽にお尋ね下さい。

## 2.10 オーナーズマニュアル

初めてツーリングに出る前に、このオーナーズマニュアルを全頁注意して読んで下さい。車両の操作や取り扱い、メンテナンスのために有用なヒントや情報が盛り込まれています。車両を自分に合った最適な状態に調整し、ご自身を怪我から守る対処法を知るにはこれ以外の方法はありません。

### ● ヒント

必要な時にいつでも確認できるよう、オーナーズマニュアルは端末などに保存しておいて下さい。

車両について、ここに記載されていない情報をお求めの場合やご不明な点がございましたら、KTM 正規ディーラーまでお問い合わせ下さい。

オーナーズマニュアルはモーターサイクルの重要な部品の一部です。転売する際、オーナーズマニュアルは新しい所有者が新たにダウンロードしなければなりません。

オーナーズマニュアルは、QR コードまたは納車証明書に記載されているリンクから何度もダウンロードすることができます。

オーナーズマニュアルは KTM 正規ディーラーで、または KTM ホームページからダウンロードすることができます。印刷されたオーナーズマニュアルは、KTM 正規ディーラーから注文することもできます。

KTM インターナショナルサイト: KTM.COM

## 3 重要な注意事項

### 3.1 メーカー保証、法定保証

サービスプランに規定された作業は必ず KTM の正規ディーラーで行い、**KTM Dealer.net**で証明を受けて下さい。これを行わないと一切の保証請求が無効となります。また、車両の変更・改造に起因する直接・間接の損害はメーカー保証の対象外です。

### 3.2 油脂類、ケミカル類



#### 情報

**環境汚染** 燃料の不適切な取り扱い、環境汚染の原因となります。

- 燃料を地下水、土壌、下水道に流してはいけません。

オーナーズマニュアルおよび仕様に応じた油脂類とケミカル類を使用して下さい。

### 3.3 スペアパーツ、アクセサリー

ご自身の安全のため、KTM により承認または推奨されたスペアパーツ並びにアクセサリーのみを使用し、またこれら部品の取り付けは KTM の正規ディーラーで行って下さい。それ以外の製品およびその使用に起因する損害について、KTM は一切その責任を負いかねます。

関連する説明文で ( ) 内に記載されているスペアパーツやアクセサリーもあります。KTM 正規ディーラーまでお気軽にお問い合わせ下さい。

お手持ちの製品でご使用になれる最新の **KTM PowerParts** については、KTM のホームページをご覧ください。

KTM インターナショナルサイト: [KTM.COM](http://KTM.COM)

### 3.4 サービス

故障を避け、早期摩耗を防ぐには、オーナーズマニュアルの記載に従ってエンジンとシャーシのサービス、手入れ、調整作業を行う事が重要です。シャーシの調整を間違ると、シャーシ部品の損傷や破損を引き起こす恐れがあります。

強い雨や厳しい暑さの中、あるいは重い荷物を積むなど、過酷な条件で車両を使用すると、駆動装置、ブレーキシステム、サスペンションなどで部品の磨耗を大幅に早める原因となります。その結果、次回サービス実施時期に達する前に点検や部品の交換が必要になる事があります。

規定の慣らし運転時間とサービス時期を必ず守って下さい。これは、車両の寿命を長くするために非常に重要な事です。

### 3.5 写真

注意事項に記載された写真には一部特別装備が施されています。

より分かりやすく表示および説明するために一部部品を取り外したり、記載していない場合があります。これらの記述に関する取り外しは必ずしも必要ではありません。記載内容に留意して下さい。

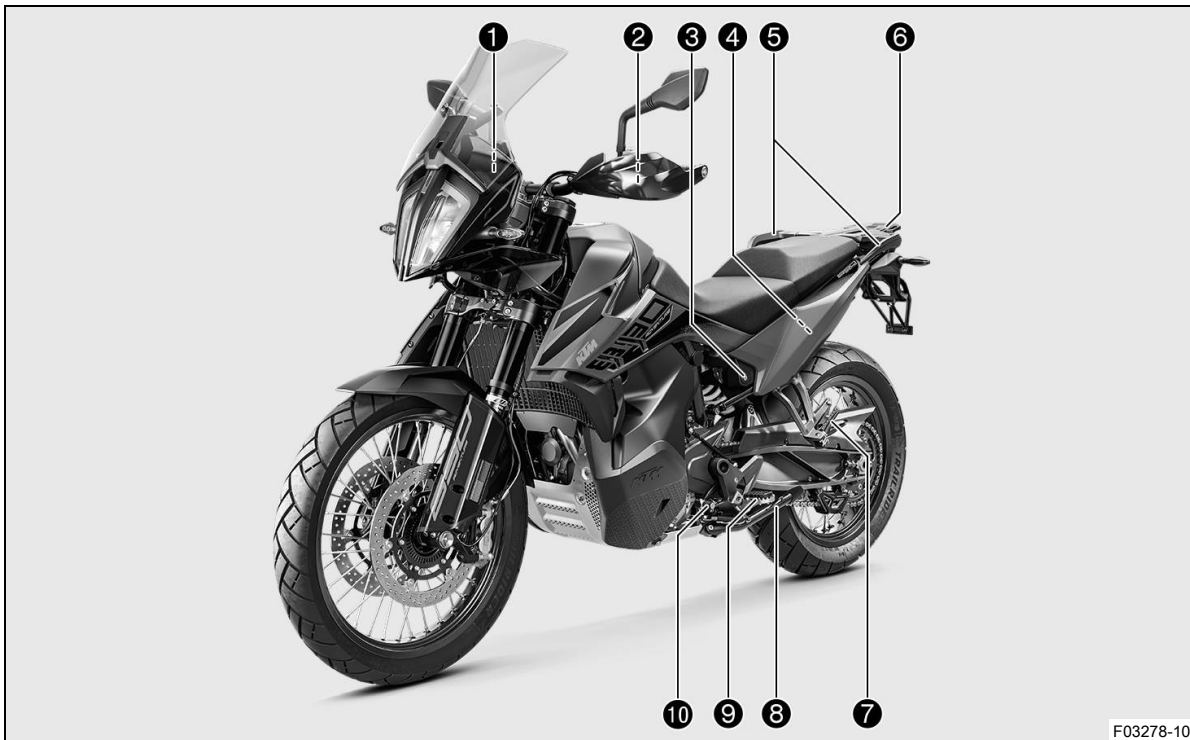
### 3.6 カスタマーサービス

お手持ちの製品や KTM に関するご質問については、KTM 正規ディーラーまでお気軽にお問い合わせ下さい。

KTM 正規ディーラーの一覧は KTM のホームページに掲載されています。

KTM インターナショナルサイト: [KTM.COM](http://KTM.COM)

4.1 各部の名称 左前方 (代表写真)



- ① 電装系アクセサリ用コンセント (📖 頁 20)
- ② クラッチレバー (📖 頁 15)
- ③ シートロック (📖 頁 25)
- ④ 収納スペース (左)
- ⑤ サイドグリップ (📖 頁 25)
- ⑥ キャリアプレート (📖 頁 25)
- ⑦ 同乗者用フットレスト (📖 頁 26)
- ⑧ サイドスタンド (📖 頁 27)
- ⑨ フロントシート用フットレスト
- ⑩ シフトレバー (📖 頁 26)

## 4 各部の名称

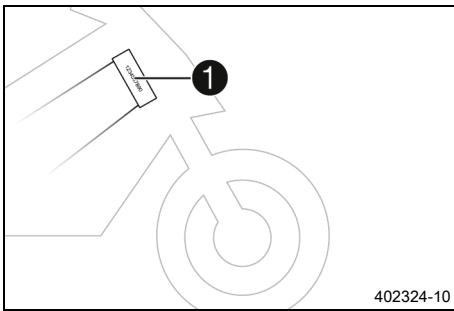
### 4.2 各部の名称 右後方 (代表写真)



F03279-10

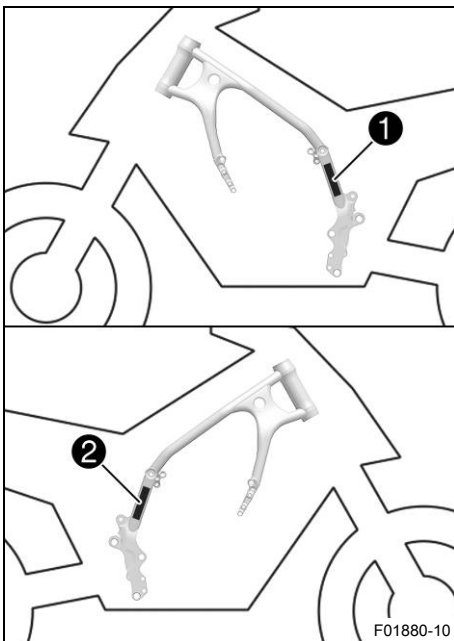
- ① リアシート下の収納スペース
- ② 収納スペース (右)
- ③ ライトスイッチ (📖 頁 16)
- ③ メニューボタン (📖 頁 17)
- ③ ターンシグナルスイッチ (📖 頁 18)
- ③ ホーンスイッチ (📖 頁 18)
- ④ フィラーキャップ
- ⑤ スタートキー/エマージェンシーOFFスイッチ (📖 頁 18)
- ⑥ ブレーキレバー (📖 頁 15)
- ⑦ エンジンオイルの点検窓
- ⑧ ブレーキペダル (📖 頁 26)

## 5.1 車両識別番号



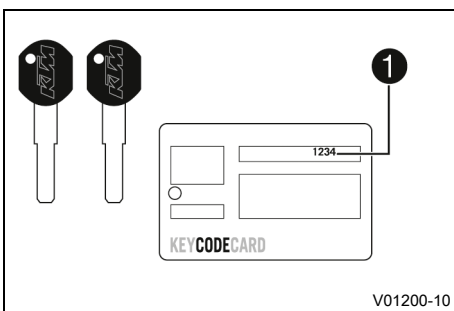
シャリヨウシキベツバンゴウ①はステアリングヘッドの右に刻印されています。

## 5.2 タイプラベル



タイプラベル①はフレームの左に貼付されています。  
オーストラリア向け車両のタイプラベル②はフレームの右に貼付されています。

## 5.3 キーナンバー

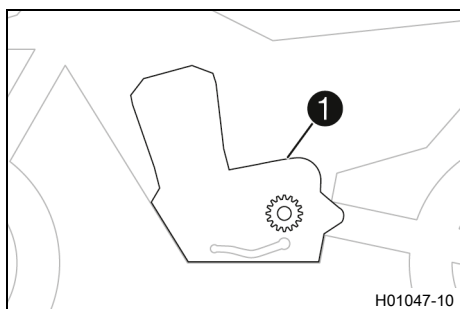


キーナンバー①はKEYCODECARDに記載されています。

**i 参考**  
予備のキーを注文する際にキーナンバーが必要となります。  
KEYCODECARDは安全な場所に保管して下さい。

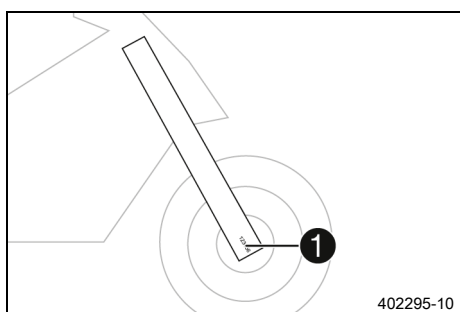
## 5 シリアルナンバー

### 5.4 エンジンナンバー



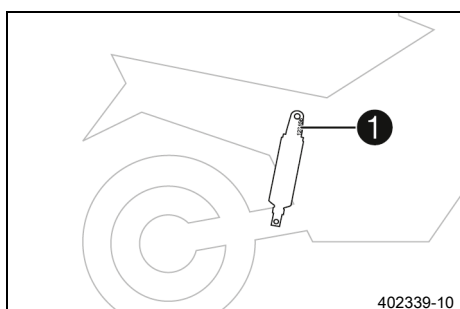
エンジンナンバー①はエンジンケースの上に刻印されています。

### 5.5 フロントフォークタイプナンバー



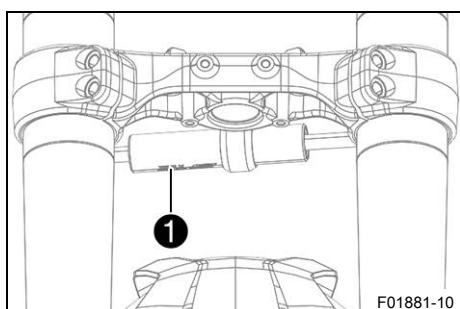
フロントフォークタイプナンバー①はフォークレッグアクスル  
通し穴の内側に刻印されています。

### 5.6 ショックアブソーバータイプナンバー



ショックアブソーバータイプナンバー①はショックアブソーバー  
上部に表示されています。

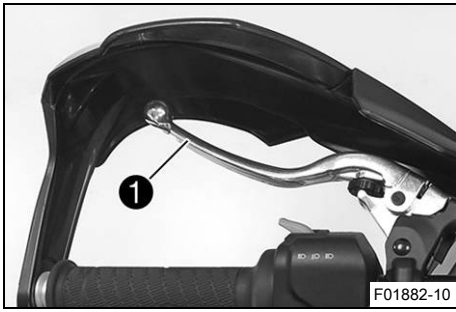
### 5.7 ステアリングダンパータイプナンバー



ステアリングダンパータイプナンバー①はステアリングダン  
パーの下側に刻印されています。

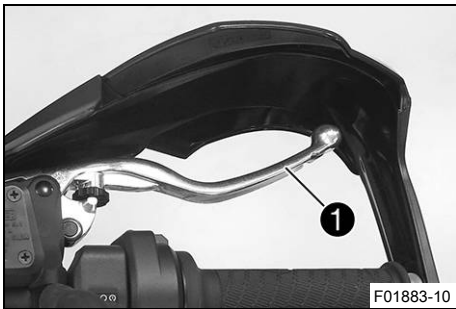


## 6.1 クラッチレバー



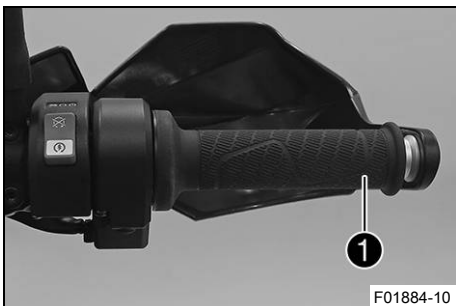
クラッチレバー①は左のハンドルバーに設置されています。

## 6.2 ブレーキレバー



ブレーキレバー①は右のハンドルバーに設置されています。  
ブレーキレバーで前輪ブレーキを作動します。

## 6.3 スロットルグリップ



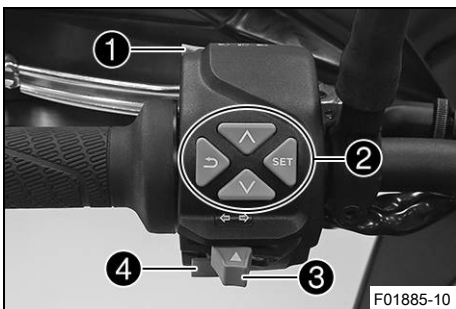
スロットルグリップ①は右のハンドルバーに設置されています。

## 6.4 左ハンドルバーのスイッチ

### 6.4.1 コンビネーションスイッチ

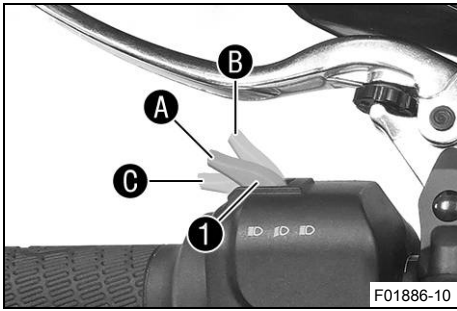
コンビネーションスイッチは左のハンドルバーに設置されています。

左のコンビネーションスイッチ各部の名称



- ① ライトスイッチ (📖 頁 16)
- ② メニューボタン (📖 頁 17)
- ③ ターンシグナルスイッチ (📖 頁 18)
- ④ ホーンスイッチ (📖 頁 18)

## 6.4.2 ライトスイッチ

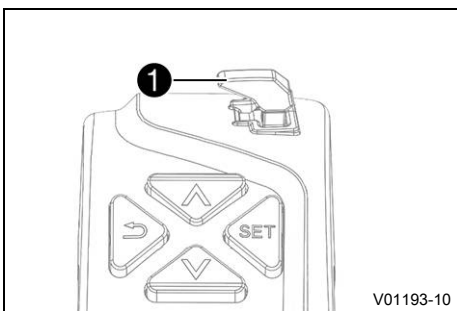


ライトスイッチ①は左のコンビネーションスイッチに設置されています。

### 確認すべき状態

	ヘッドライト(ロービーム)点灯-ライトスイッチはAの位置です。この位置でヘッドライト(ロービーム)とテールライトが点灯しています。
	ヘッドライト(ハイビーム)点灯-ライトスイッチをBの位置に入れます。この位置でヘッドライト(ハイビーム)とテールライトが点灯しています。
	パッシングライト-ライトスイッチを引いてCの位置に入れます。

## 6.4.3 速度制御システムのスイッチ



速度制御システムのスイッチ①は左のコンビネーションスイッチに設置されています。

### i 参考

速度制御システムのキーを使えるようにするためには、速度制御システム(オプション)の機能を有効化しなければなりません。

### 確認すべき状態

- 速度制御システムのスイッチが基本位置にある。
- 速度制御システムのスイッチが左位置にある。- この位置では速度制御システムの機能が作動/解除することができません。稼働状況はコンビネーションインストルメントに表示されます。
- 速度制御システムのスイッチを軽く上に押す。- 最近設定された速度に再度達し、維持されています。軽く押す度に目標速度が 1 km/h あるいは 1 mph ずつ上がります。
- 速度制御システムのスイッチを上を押したままの状態。- 目標速度が 5 km/h または 5 mph ずつ上がります。
- 速度制御システムのスイッチを軽く下に押す。- 速度制御システムが有効になり、現在の速度が維持されます。軽く押す度に目標速度が 1 km/h あるいは 1 mph ずつ下がります。
- 速度制御システムのスイッチを下を押したままの状態。- 目標速度が 5 km/h または 5 mph ずつ下がります。

### i 参考

速度制御システムをオンにした後、スロットルグリップは基本位置に押し戻すことができます。設定した速度を維持します。  
スロットルグリップを回し目標速度を超過した時間が 30 秒未満の場合、速度制御システムは有効の状態を維持します。

速度制御システムを解除するには速度制御システムのスイッチを左に押します。

以下の場合、速度制御システムの機能は解除されます:

- ブレーキレバーを作動した場合
- ブレーキペダルを作動した場合
- クラッチレバーを作動した場合
- スロットルグリップが基本位置から回転した場合
- バイクトラクションコントロールの調節 (MTC)
- 後輪がスリップまたは前輪が浮いている場合
- 速度制御システムの機能性を損うような不具合が生じた場合
- 追い越しの際に 30 秒以上目標速度を超えた場合



### 警告

**事故の危険性** 速度制御システムの機能はどの走行状況にも適しているとは限りません。

エンジン出力が十分でない場合、設定した目標速度は下回ります。

傾斜でのエンジンブレーキの作用が十分でない場合、設定した目標速度は上回ります。

- カーブの多い道路では速度制御システムは使用しないで下さい。
- 滑りやすい路面 (例、雨や雪)、視界が悪い状態、または不安定な地面 (例、砂地、石、砂利) では速度制御システムを使用しないで下さい。
- 渋滞で一定の速度で走行できない場合は速度制御システムを使用しないで下さい。

速度制御システムはバイクトラクションコントロール (MTC) がオンの状態でのみ使用することができます。

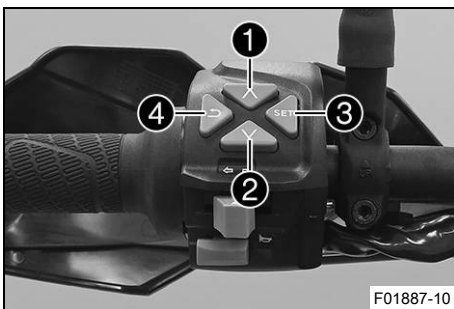
バイクトラクションコントロール (MTC) がオフの場合は、速度制御システムもオフになります。

速度制御システムは急加速した場合、作動しません。

速度制御システムは 2 速、3 速、4 速、5 速および 6 速で作動します。

制御範囲は 30 ~ 160 km/h または 18 ~ 98 mph です。

#### 6.4.4 メニューボタン

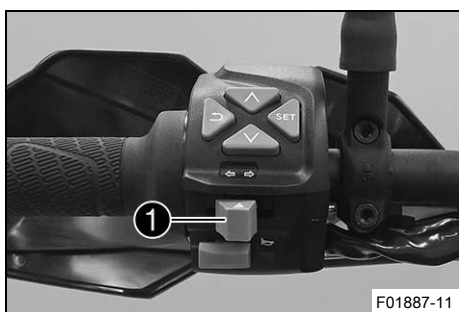


メニュースイッチは左のコンビネーションスイッチ中央に設置されています。

メニュースイッチの各ボタンでコンビネーションインストルメントのディスプレイを操作します。

- ① は UP ボタンです。
- ② は DOWN ボタンです。
- ③ は SET ボタンです。
- ④ は BACK ボタンです。

## 6.4.5 ターンシグナルスイッチ



ターンシグナルスイッチ①は左のコンビネーションスイッチに設置されています。

### 確認すべき状態

	ターンシグナルを停止
	左のターンシグナルが作動- ターンシグナルスイッチを左に押します。ターンシグナルが作動し、スイッチは中央位置に戻ります。
	右のターンシグナルが作動- ターンシグナルスイッチを右に押します。ターンシグナルが作動し、スイッチは中央位置に戻ります。

ターンシグナルを停止するには、ターンシグナルスイッチをスイッチボックスに向かって押します。

## 6.4.6 ホーンスイッチ



ホーンスイッチ①は左のコンビネーションスイッチに設置されています。

### 確認すべき状態

- ・ ホーンスイッチが基本位置にある
- ・ ホーンスイッチが押されている- この位置でホーンが鳴ります。

## 6.5 右ハンドルバーのスイッチ

### 6.5.1 スタートキー / エマージェンシーOFFスイッチ



スタートキー / エマージェンシーOFFスイッチ①は右のコンビネーションスイッチに設置されています。

### 確認すべき状態

	スタートキー / エマージェンシーOFFスイッチオフ ( 上位置 ) - この位置ではイグニッション回路が接続されておらず、エンジン作動中はこれを停止し、エンジンをかける事ができません。ディスプレイにメッセージが表示されます。
	スタートキー / エマージェンシーOFFスイッチオフ ( 中位置 ) - 運転する際はこの位置に設定します。イグニッション回路が接続されています。
	セルフスターターモーターオン ( 下位置 ) - この位置でセルフスターターモーターを作動します。

## 6.6 イグニッション/ハンドルロック



イグニッション/ハンドルロックはアッパートリプルクランプの手前に設置されています。

### 確認すべき状態

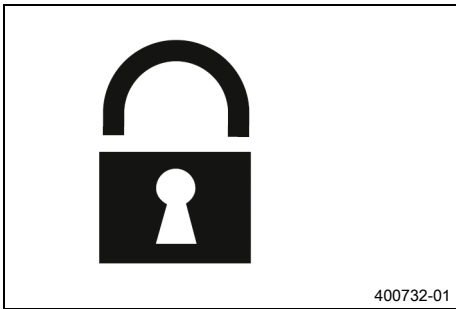
	イグニッションがオフ-この位置ではイグニッション回路が接続されておらず、エンジン作動中はこれを停止し、停止中の場合はエンジンをかける事ができません。イグニッションキーを抜く事ができます。
	イグニッションがオン-この位置ではイグニッション回路が接続されており、エンジンをかける事ができます。
	ハンドルのロック-この位置ではイグニッション回路が接続されておらず、ハンドルはロックされています。イグニッションキーを抜く事ができます。

## 6.7 ハンドル操作をロックする

### 情報

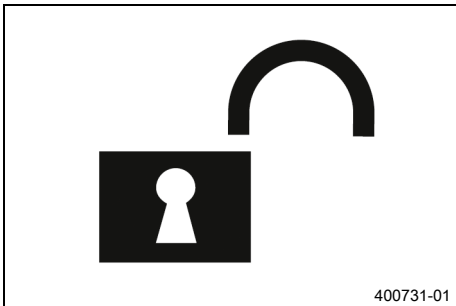
**損傷の危険性** 駐車中の車両が動き出たり倒れる恐れがあります。

- 車両は安定した平らな地面の上に立っています。



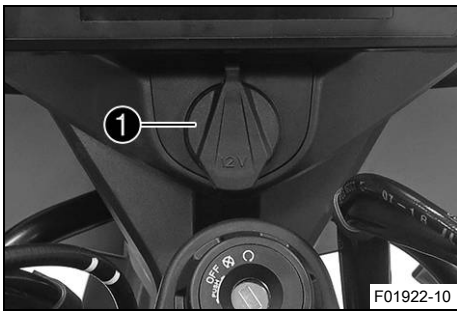
- 車両を停めます。
- ハンドルバーを左に回し切ります。
- イグニッション/ハンドルロックにイグニッションキーを差し込み、中に押し込んでから左に回します。イグニッションキーを抜きます。
- ✓ これで、もうハンドルバーを動かすことはできません。

## 6.8 ハンドル操作のロックを解除する



- イグニッション/ハンドルロックにイグニッションキーを差し込み、中に押し込んでから右に回します。イグニッションキーを抜きます。
- ✓ これでまたハンドルバーを動かす事ができます。

## 6.9 電装系アクセサリ用コンセント



電装系アクセサリ用のコンセント①はアッパートリプルクラップの手前に設置されています。イグニッション電源プラス極に接続されており、ヒューズで保護されています。

電装系アクセサリ用コンセント	
電圧	12 V
最大消費電流	10 A

## 6.10 フィラーキャップを開ける



### 危険

**火事の危険** 燃料は可燃性です。

フューエルタンク内の燃料は熱により膨張し、溢れ出てしまうことがあります。

- 炎や火のついたタバコの近くで車両に給油しないでください。
- 給油の際にはエンジンを停止してください。
- 特に車両部品に燃料がこぼれることがないように注意してください。
- こぼれた燃料はすぐに拭き取ってください。
- 給油の際には燃料給油に関する注意事項を参照してください。



### 警告

**中毒の危険性** 燃料は毒性で、健康に害を及ぼします。

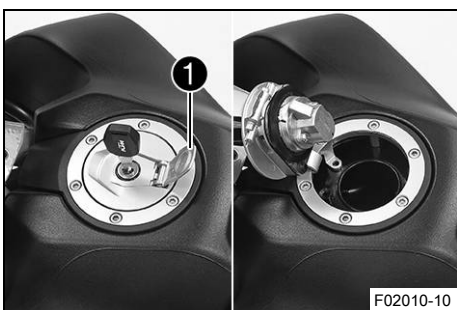
- 燃料が皮膚、目、衣服に接触しないよう注意してください。
- 燃料を飲み込んでしまった場合、即座に受診してください。
- 気化した燃料を吸い込まないでください。
- 接触した部分の肌は即座に多量の水で洗ってください。
- 燃料が目にはいつてしまった場合、速やかに水で洗い落とし、受診してください。
- 燃料が衣服に付着した場合、衣服を取り替えてください。
- 燃料は適切なキャニスターに入れ、子供の手の届かない場所に保管して下さい。



### 情報

**環境汚染** 燃料の不適切な取り扱い、環境汚染の原因となります。

- 燃料を地下水、土壌、下水道に流してはいけません。



- フィラーキャップのカバー①を上を開き、イグニッションキーを鍵穴に差し込みます。

### 注意

**損傷の危険性** イグニッションキーに過負荷が掛かると折れてしまうことがあります。

イグニッションキーが破損した場合は交換して下さい。

- イグニッションキーの負荷を取り除くためにフィラーキャップを押してください。
- イグニッションキーを時計回りに90度回します。
- フィラーキャップを上を開きます。

### 6.11 フィラーキャップを閉める



- フィラーキャップを閉めます。
- イグニッションキーを時計回りに 90 度回します。
- フィラーキャップを下に押し、ロックがかかるまで時計と反対回りにイグニッションキーを回します。



**警告**

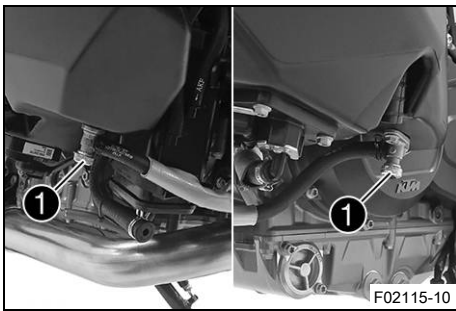
**火事の危険** 燃料は発火性が高く、毒性で、健康に害を及ぼします。

- フィラーキャップを閉めた後には正しくロックされているか点検してください。
- 燃料が衣服に付着した場合、衣服を取り替えてください。
- 接触した部分の肌は即座に多量の水で洗ってください。

- イグニッションキーを抜き、カバーを閉じます。



### 6.12 燃料コック



フューエルタンクの両側に燃料コック①が1つずつ設けられています。

**参考**

燃料コックはフューエルタンクパネルの裏に設置されています。運転の際は必ず両側の燃料コックを開いて下さい。燃料コックを閉じるのはフューエルタンクを取り外す場合のみです。

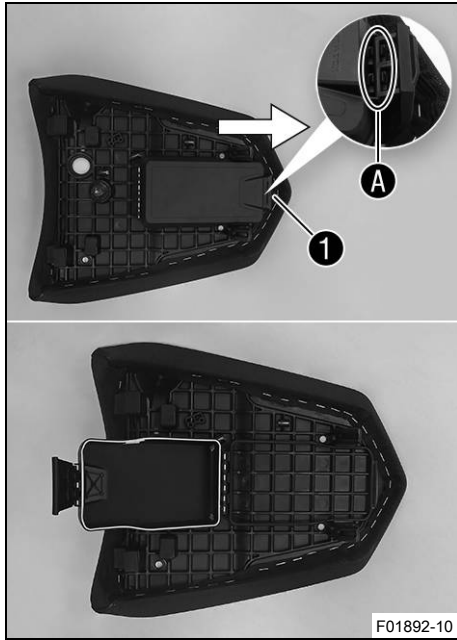
**確認すべき状態**

- 両側の燃料コックが閉じている- 燃料レベルの調整は行われず、スロットルバルブ本体へ通じる燃料コックは閉じた状態にあります。
- 両側の燃料コックが開いている- 燃料レベルの調整が行われ、スロットルバルブ本体へ通じる燃料コックは開いた状態にあります。

### 6.13 リアシート下の収納スペースを開く

**準備作業**

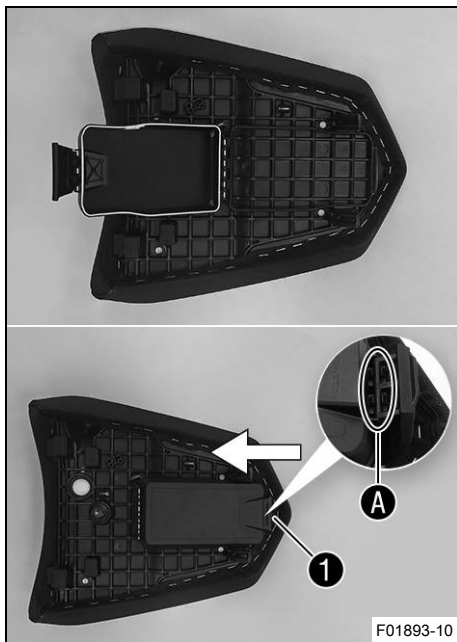
- リアシートを取り外します。(📖 頁 85)



### 主な作業

- ロック①を矢印方向に向かって押し、Aの部分を外します。
- 収納スペースを開きます。

## 6.14 リアシート下の収納スペースを閉める



### 主な作業

- 収納スペースを閉めます。
- ロック①をAの部分に掛け、矢印方向に押しします。

### その後の作業

- リアシートを取り付けます。(📖 頁 86)



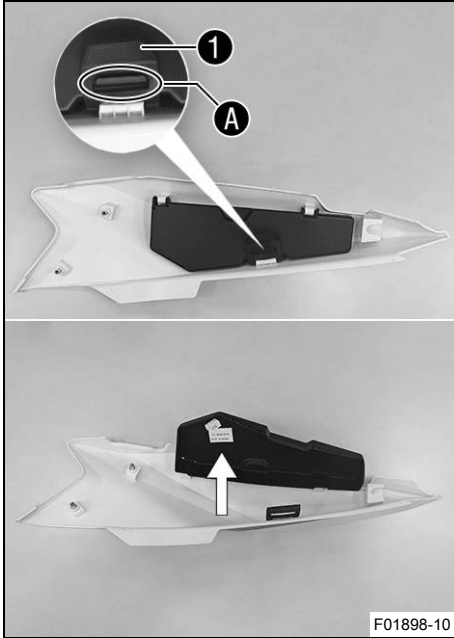
6.15 左側の収納スペースを開く

**準備作業**

- リアシートを取り外します。(📖 頁 85)
- フロントシートを取り外します。(📖 頁 86)
- 左のサイドカバーを取り外します。(📖 頁 91)

**主な作業**

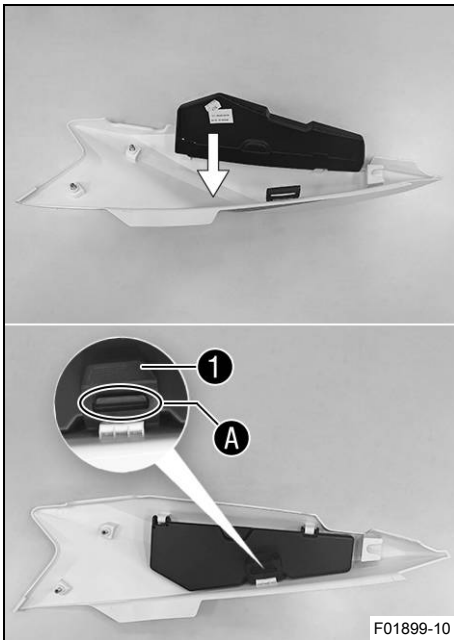
- ゴム栓①を持ち上げ、Aの部分を外します。
- 収納スペースを開きます。



6.16 左側の収納スペースを閉める

**主な作業**

- 収納スペースを閉めます。
- ゴム栓①を持ち上げ、Aの部分をはめます。



**その後の作業**

- 左のサイドカバーを取り付けます。(📖 頁 92)
- フロントシートを取り付けます。(📖 頁 86)
- リアシートを取り付けます。(📖 頁 86)



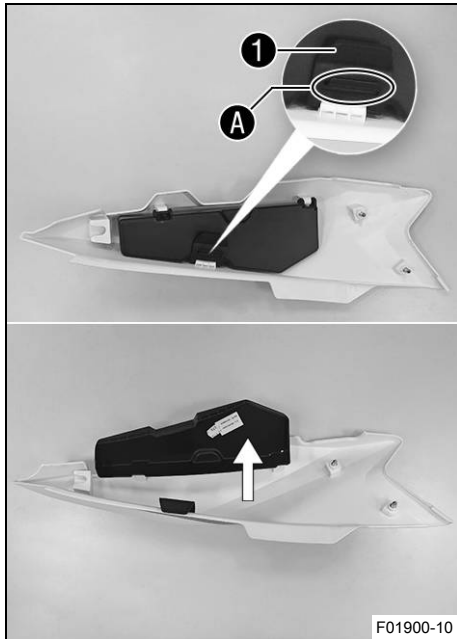
## 6.17 右側の収納スペースを開く

### 準備作業

- リアシートを取り外します。(📖 頁 85)
- フロントシートを取り外します。(📖 頁 86)
- 右のサイドカバーを取り外します。(📖 頁 92)

### 主な作業

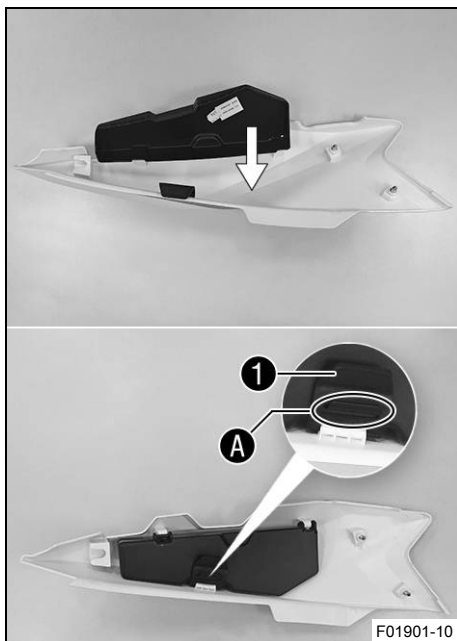
- ゴム栓 ① を持ち上げ、A の部分を外します。
- 収納スペースを開きます。



## 6.18 左側の収納スペースを閉める

### 主な作業

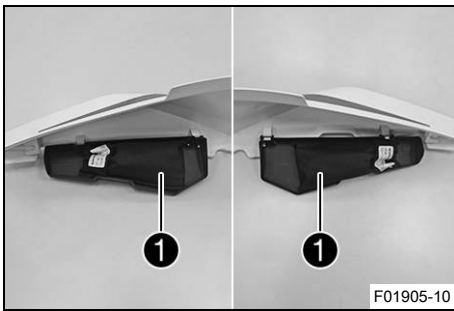
- 収納スペースを閉めます。
- ゴム栓 ① を持ち上げ、A の部分を掛けます。



### その後の作業

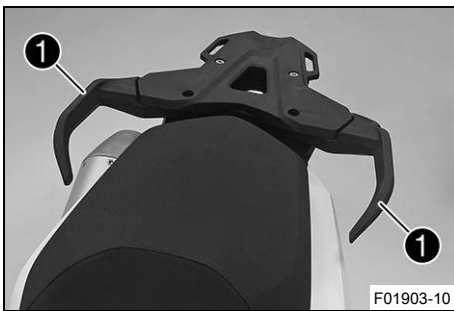
- 右のサイドカバーを取り付けます。(📖 頁 93)
- フロントシートを取り付けます。(📖 頁 86)
- リアシートを取り付けます。(📖 頁 86)

6.19 車載工具



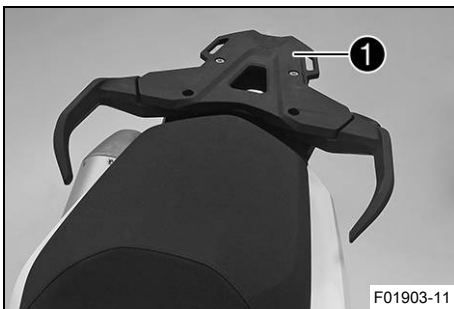
左の収納スペースまたは右の収納スペースに車載工具①が収納されています。

6.20 サイドグリップ



サイドグリップ①は車両を移動する際に使用します。同乗者を乗せている場合、同乗者はサイドグリップをつかんで身体を支える事ができます。

6.21 キャリアプレート

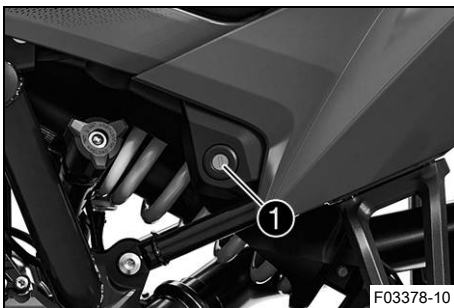


キャリアプレート①はリアシートの後ろに設置されています。キャリアプレートにはハードケース(オプション)のベースプレートを固定できます。キャリアプレートに規定の最大重量を超える荷重をかけないで下さい。

キャリアプレートの最大許容荷重	5 kg
-----------------	------

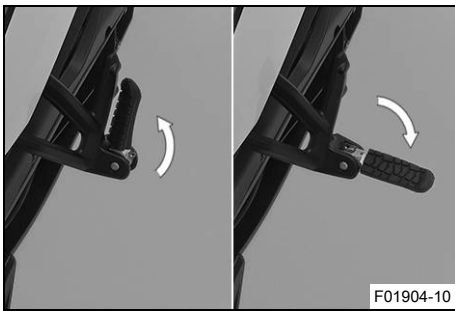
**i 参考**  
ハードケースメーカーの注意事項を守って下さい。

6.22 シートロック



シートロック①は車両の左側に設置されています。イグニッションキーでロックを解除できます。

## 6.23 同乗者用フットレスト

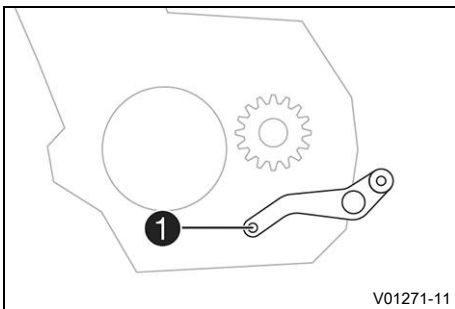


同乗者用フットレストは開閉式になっています。

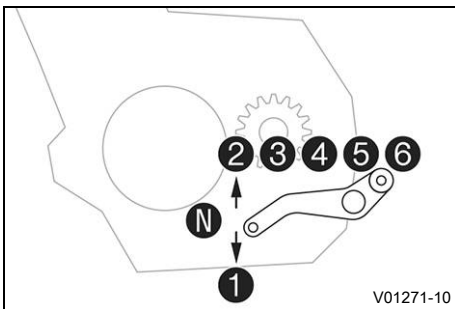
### 確認すべき状態

- 同乗者用フットレストが収納された状態- 同乗者がいない場合。
- 同乗者用フットレストが展開された状態- 同乗者がいる場合。

## 6.24 シフトレバー



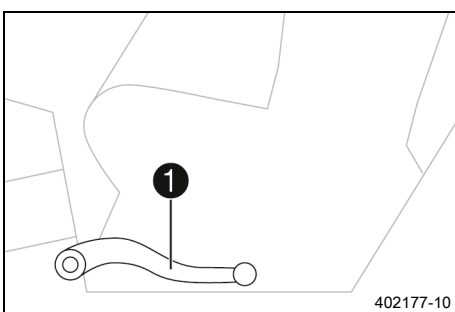
シフトレバー①はエンジンの左側に設置されています。



各ギアのポジションは図の通りです。

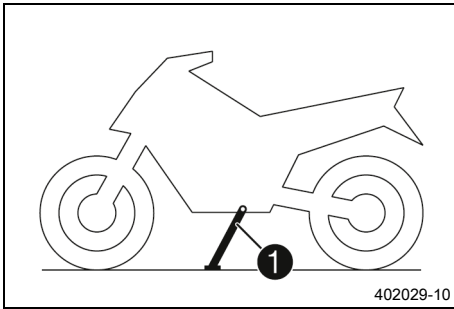
ニュートラル/アイドリングは1速と2速の間にあります。

## 6.25 ブレーキペダル



ブレーキペダル①は右のフットレストの前方にあります。  
ブレーキペダルで後輪ブレーキを作動します。

## 6.26 サイドスタンド



サイドスタンド①は車両の左側に設置されています。  
サイドスタンドは車両を立てるのに使用します。

**i** 参考

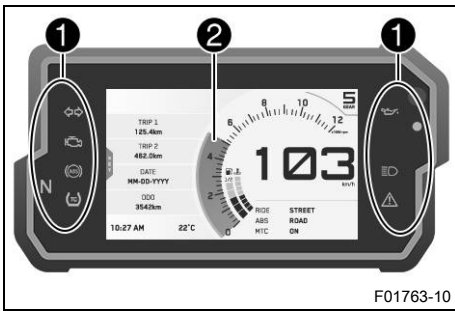
走行中はサイドスタンドを上に戻して下さい。  
サイドスタンドは安全スタートシステムと連結していま  
す。運転上の注意事項の説明に従って下さい。

**確認すべき状態**

- サイドスタンドが開かれている- サイドスタンドで車両を立てることができます。安全スタートシステムが作動していません。
- サイドスタンドが収納されている- 走行中は必ずこの位置にして下さい。安全スタートシステムは作動していません。

# 7 コンビネーションインストルメント

## 7.1 コンビネーションインストルメント



コンビネーションインストルメントはハンドルバーの前方に設置されています。

コンビネーションインストルメントは2つの機能範囲を備えています。

- ① インジケーターステップ ( 頁 30)
- ② ディスプレイ

## 7.2 起動とテスト



### 起動

イグニッションをオンにすると、コンビネーションインストルメントが起動します。



### i 参考



ディスプレイの明るさは、コンビネーションインストルメントに装備された車両周辺の明るさを感知するセンサーにより調整されます。



### テスト

ディスプレイに起動時のメッセージが表示されると機能テストのためにすべてのインジケーターステップが瞬間的に点灯します。

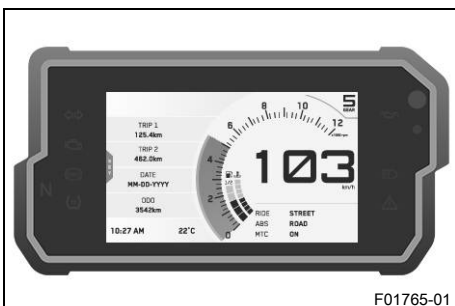
### i 参考

エンジンが稼働していないと、不具合インジケーターステップ  は常に点灯しています。エンジンが稼働している状態で、不具合インジケーターステップ  が点灯した場合、交通規制に従った方法で速やかに停車し、KTM 正規ディーラーに連絡して下さい。

エンジンが稼働していないとオイル圧力警告ランプ  は常に点灯しています。エンジンが稼働している状態で、オイル圧力警告ランプ  が点灯した場合、交通規制に従った方法で速やかに停車し、エンジンを切ります。

ABS 警告ランプ  とTC インジケーターステップ  は時速約 6 km ( 約 4 mph ) に達するまで点灯しています。

## 7.3 デイ/ナイトモード



デイモードでは明るい色で表示が行われます。

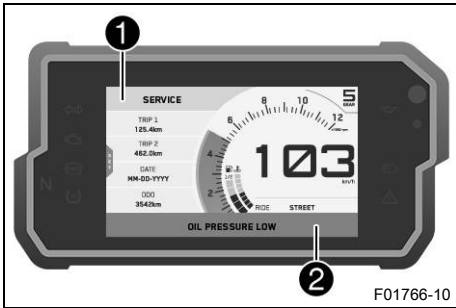
ナイトモードでは暗い色で表示が行われます。



**i 参考**

コンビネーションインストルメントの周囲光センサーは周囲の明るさを検知します。周囲光センサーは感知した光の加減によって、ディスプレイの明暗を調整、また設定によっては別のモードに切り替えます。表示モードはサブメニュー**Display Theme**で設定することができます。ここでは自動デイ/ナイトモードと常時ナイトモードの切り替えを行うことができます。

## 7.4 警告

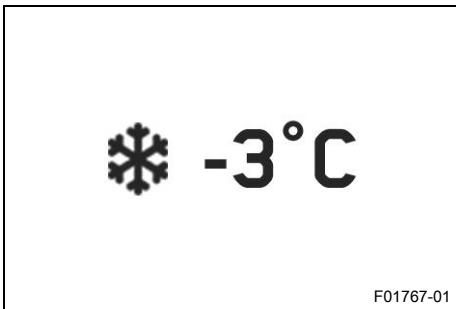


警告はレベルに応じて黄または赤でディスプレイの上および/または下の縁に表示されます。黄の警告**①**は早急に対応すべき不具合または情報を表示しているか、適切な走行を行う必要があります。赤の警告**②**は直ちに対処すべき不具合を示します。

**i 参考**

警告を非表示にするにはキーのどれか一つを押します。現行の全ての警告はそれが解除されるまでサブメニュー**Warning**に表示されます。

## 7.5 凍結警告



凍結警告❄️が表示されると、道路が凍結している危険性が高い事を示します。外気温が規定値を下回ると、ディスプレイに凍結警告❄️が表示されます。

温度	≤ 4 °C
----	--------

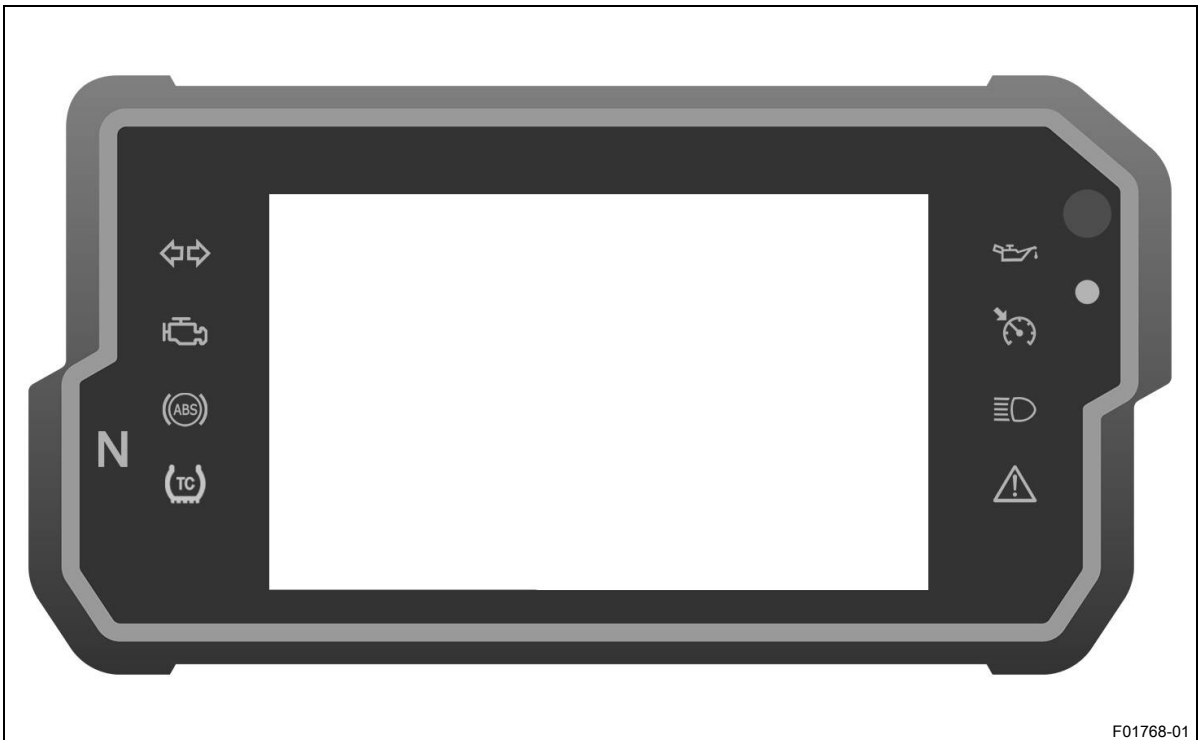
外気温が再び規定値を上回ると、ディスプレイの凍結警告❄️が消えます。

温度	≥ 6 °C
----	--------


**i 参考**

凍結警告❄️が点灯すると、警告**ICE WARNING**も表示されます。



## 7.6 インジケータランプ







F01768-01

インジケータランプは車両の作動状態に関する補足情報を示します。  
イグニッションをオンにするとTC インジケータ  以外の全てのインジケータランプが点灯します。







### **i** 参考

エンジンが稼動していないと、不具合インジケータランプ  は常に点灯しています。エンジンが稼動している状態で、不具合インジケータランプ  が点灯した場合、交通規制に従った方法で速やかに停車し、KTM 正規ディーラーに連絡して下さい。







エンジンが稼動していないとオイル圧力警告ランプ  は常に点灯しています。エンジンが稼動している状態で、オイル圧力警告ランプ  が点灯した場合、交通規制に従った方法で速やかに停車し、エンジンを切ります。

ABS 警告ランプ  とTC インジケータランプ  は時速約 6 km ( 約 4 mph ) に達するまで点灯しています。

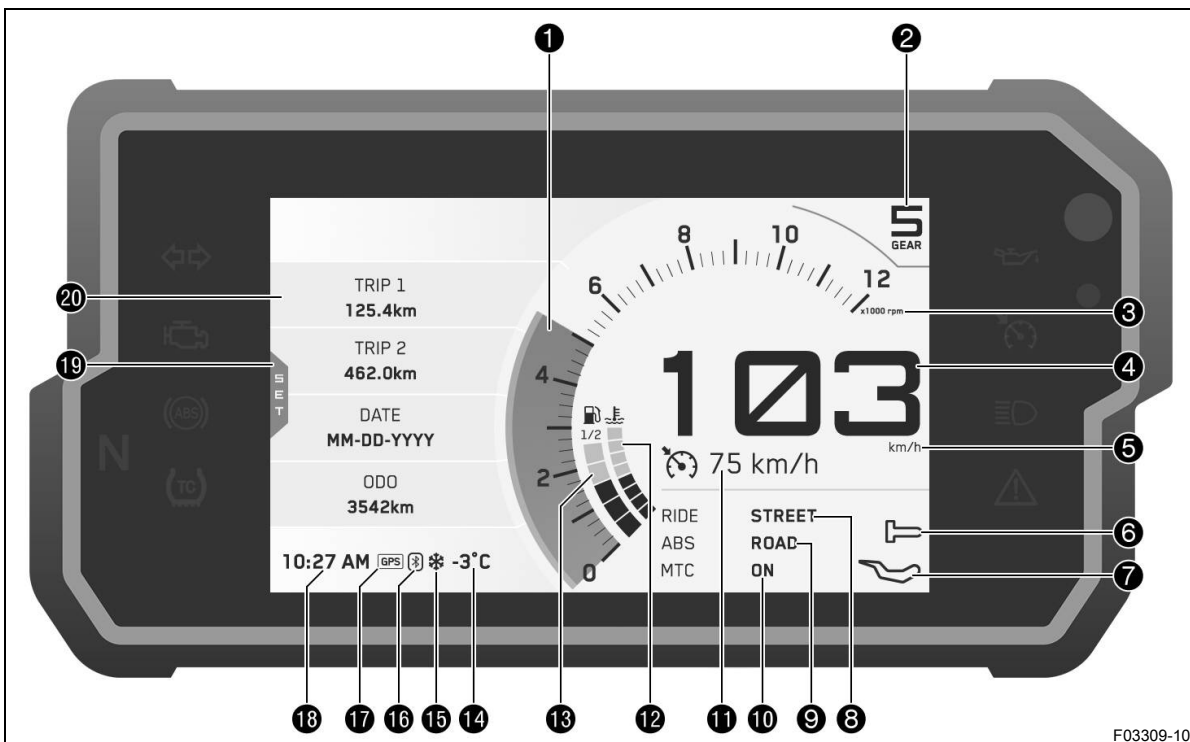
### 確認すべき状態

	ターンシグナルインジケータランプがターンシグナルのリズムで緑に点滅- ターンシグナルが作動しています。
	不具合インジケータランプが黄色に点灯- OBD( オンボード・ダイアグノーシス)が車両の電気系統で不具合を検出しました。交通規制に従った方法で速やかに停車し、KTM 正規ディーラーに連絡して下さい。
	ABS 警告ランプが黄色に点灯- ABSの状態メッセージまたはエラーメッセージ。
	ニュートラルインジケータランプが緑に点灯- ギアがニュートラルに入っています。
	TC インジケータランプが黄色に点灯 / 点滅- MTC (  頁 138) が作動していないか制御中です。TC インジケータランプは不具合が検出された場合にも点灯します。KTM 正規ディーラーに連絡して下さい。MTC または MSR ( オプション ) が稼動すると TC インジケータランプが点滅します。



	オイル圧力警告ランプが赤く点灯-油圧が低過ぎます。交通規制に従った方法で速やかに停車し、エンジンを止めます。
	アラーム装置の警告ランプが赤く点灯/点滅-アラーム装置で状態メッセージまたはエラーメッセージが発生しました。
	速度制御システムインジケータランプ(オプション)が黄色に点灯-速度制御システムの機能はオンになっていますが速度制御していません。
	速度制御システムインジケータランプ(オプション)が緑に点灯-速度制御システムの機能はオンで、速度制御しています。
	ハイビームインジケータランプが青く点灯-ハイビームが点灯しています。
	一般警告ランプが黄色に点灯-使用上の安全性に関する注意/警告事項が検出されました。これはディスプレイにも表示されます。

## 7.7 ディスプレイ



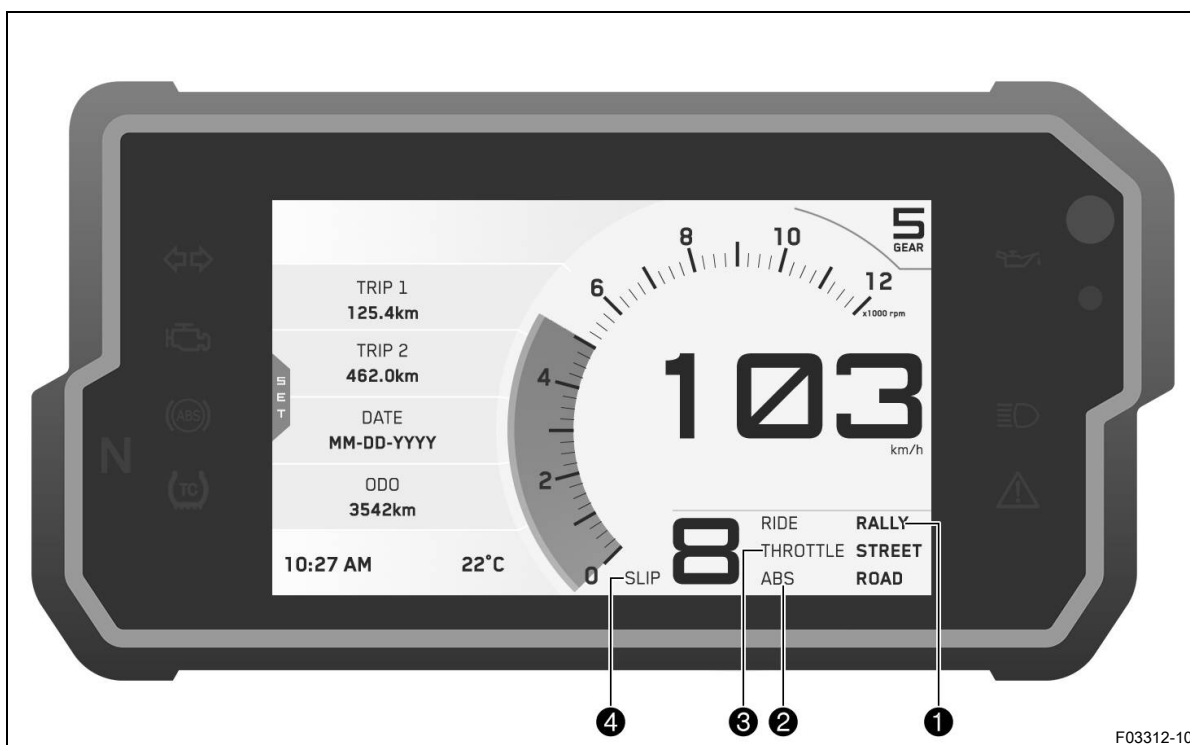
F03309-10

- ① 回転 (📖 頁 33)
- ① シフトランプ (📖 頁 33)
- ① シフトランプはタコメーターの表示に統合されています。
- ② シフト表示
- ③ 回転数表示の単位
- ④ 速度表示 (📖 頁 33)
- ⑤ 速度表示の単位
- ⑥ グリップヒーター(オプション) (📖 頁 34)
- ⑦ シートヒーター(オプション) (📖 頁 34)
- ⑧ Ride表示 (📖 頁 34)
- ⑨ ABS表示 (📖 頁 34)
- ⑩ MTC表示 (📖 頁 35)

## 7 コンビネーションインストルメント

- ⑪ 速度制御システムの表示 ( オプション ) ( 頁 35)
- ⑫ クーラント温度の表示 ( 頁 35)
- ⑬ 燃料レベル表示 ( 頁 36)
- ⑭ 外気温度表示 ( 頁 36)
- ⑮ 凍結警告 ( 頁 29)
- ⑯ Bluetooth®
- ⑰ GPS
- ⑱ 時刻 ( 頁 36)
- SET
- ⑲ メニューが開まった状態でのみ表示されます。
- ⑳ Favorites表示 ( 頁 37)

### 7.8 ラリー表示 ( オプション )

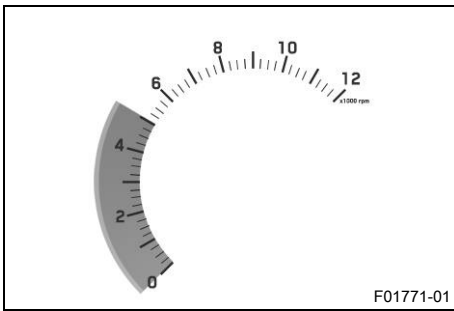


#### **i** 参考

図はRallyモード ( オプション ) がオンの状態の場合、コンビネーションインストルメントのスタート画面を示しています。メニューが開かれている場合、速度はそのまま表示されます。

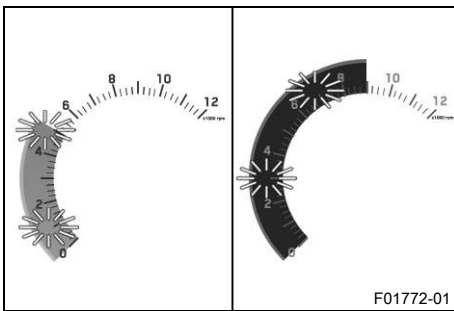
- ① 走行モードRally ( オプション )
- ② ABS モード
- ③ Throttle Response( オプション ) ( 頁 139)
- ④ スリップ調整 ( オプション ) ( 頁 139)

## 7.9 回転



回転は RPM で表示されます。

## 7.10 シフトランプ



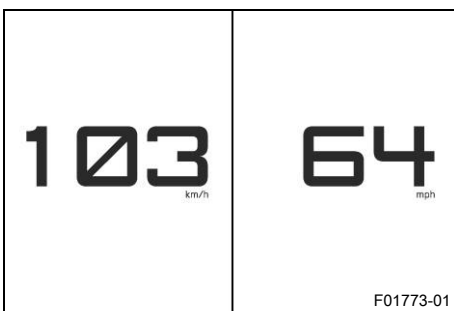
シフトランプはタコメーターの表示に統合されています。サブメニュー**Shift Light**で、シフトランプが点灯・点滅する回転数を設定することができます。慣らし走行期間中(1000 km/621 マイルまで)、シフトランプは常にオンになっています。慣らし走行が終了したらシフトランプをオフにすることができ、RPM1およびRPM2の数値を変更することができます。RPM1ではシフトランプが点滅し、RPM2ではシフトランプが点滅し色が変わります。

### **i** 参考

6 速ではエンジンが作動温度に達しており、初回サービス後はシフトランプはオフになっています。

クーラントの温度	≤ 35 °C
ODO	< 1,000 km
シフトランプが点滅	6,500 rpm
クーラントの温度	> 35 °C
ODO	> 1,000 km
RPM1シフトランプ	点滅
RPM2シフトランプ	シフトランプが点滅し色を変える

## 7.11 速度表示

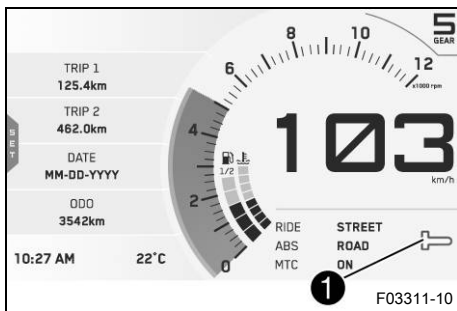


速度には時速がキロメートルkm/hまたはマイルmphで表示されます。

サブメニュー**Distance**で速度の単位を設定することができます。

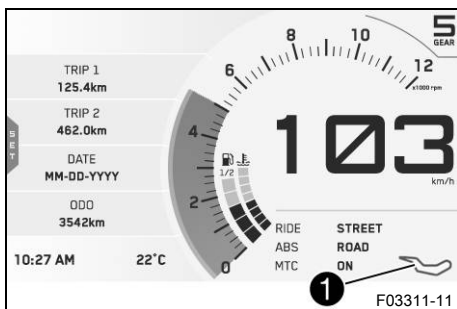
# 7 コンビネーションインスツルメント

## 7.12 グリップヒーター (オプション)



グリップヒーターがオンの場合ディスプレイの①の部分にHeating Gripマークが表示されます。  
Heating Gripメニュー (機能オプション) でグリップヒーターを設定することができます。

## 7.13 シートヒーター (オプション)

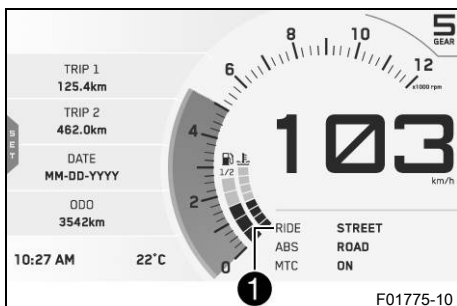


シートヒーターがオンの状態では、ディスプレイの①の部分にHeating Seatマークが表示されます。  
Heating Seat Riderメニュー (機能オプション) でフロントシートのシートヒーターを設定することができます。

### i 参考

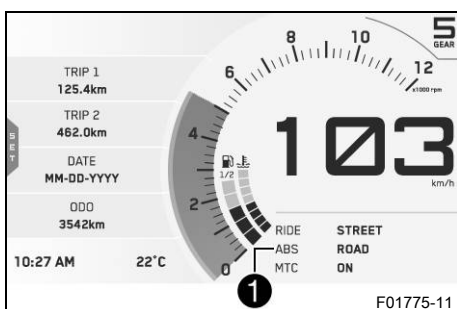
リアシートの暖房レベルは右サイドグリップにあるスイッチで調節することができます。

## 7.14 Ride 表示



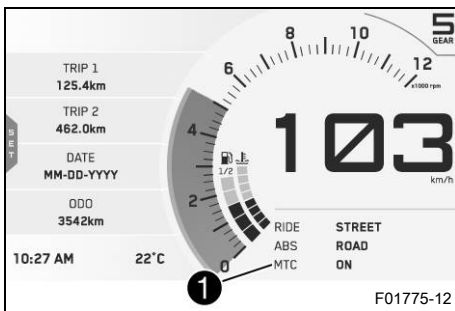
設定されたRide Mode (📖 頁 138)はディスプレイ上の①に表示されます。  
サブメニューRide Modeでシフトランプを設定できます。

## 7.15 ABS 表示



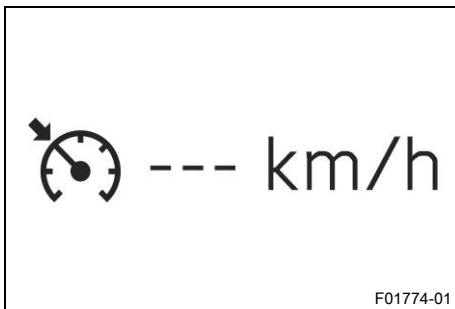
設定された ABS モードはディスプレイ上の①に表示されます。  
サブメニューABSでABSを設定できます。

## 7.16 MTC 表示



MTC ( 頁 138)のオン / オフ状態はディスプレイの①に表示されます。  
サブメニュー-MTCでバイクトラクションコントロールをオン / オフに切り替えることができます。

## 7.17 速度制御システムの表示 ( オプション )

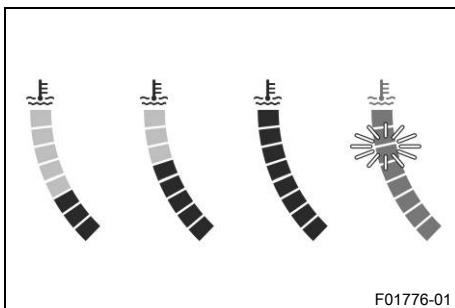


速度制御システム ( オプション ) が作動している場合、その作動状況はコンビネーションインスツルメントのディスプレイに表示されます。  
速度制御システムは速度制御システムスイッチ ( 頁 16) で操作することができます。

### 参考

速度制御システムの機能がオンであるものの、速度制御がオンになっていない場合、速度制御システムのインジケータランプは黄色に点灯します。  
速度制御システムの機能がオンで、速度制御がオンになっている場合、速度制御システムのインジケータランプは緑に点灯します。

## 7.18 クーラント温度の表示



クーラント温度の表示はゲージで表示されます。点灯しているゲージが多いほど、クーラントの温度が高い事を示します。  
クーラント温度が 120 °C の場合、安全制御モードが自動的に稼働します。

### 情報

**エンジン損傷** 過熱でエンジンが損傷します。

- クーラント温度の警告表示が点灯したら、すぐに他の交通の妨げにならないように停車して下さい。
- エンジンと冷却システムの温度が下がるまでお待ち下さい。
- 冷却システムの温度が下がった時に、クーラントのレベルを調節ならびに調整して下さい。

### 参考

全てのゲージが点滅すると、ENGINE TEMP HIGH警告も表示されます。  
冷却システムが過熱すると、エンジンの最高回転数が制限されます。

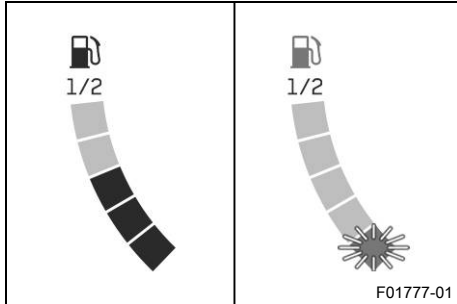
### 確認すべき状態

- エンジンが冷えている場合- ゲージが 3 つまで点灯していません。

## 7 コンビネーションインストルメント

- エンジンが作動温度に達している-4つのゲージが点灯します。
- エンジンが熱くなっている-5つから8つのゲージが点灯します。
- エンジンが非常に熱くなっている-8つのゲージ全てが赤く点滅します。

### 7.19 燃料レベル表示



燃料表示はゲージで表示されます。点灯しているゲージが多いほど、フューエルタンクの燃料量が多い事を示します。

#### **i** 参考

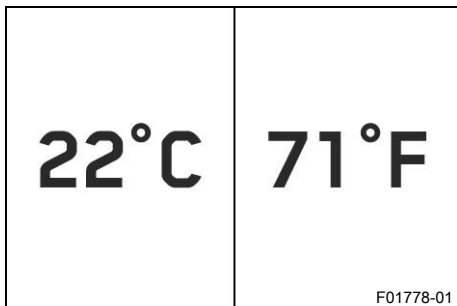
燃料の残量測定は燃料タンク容量が半分になってから初めてオンになります。燃料タンク容量が半分になるまで燃料表示は満タン表示されます。

燃料レベルの残量があと少しになると最後のゲージが赤く点滅し、警告通知**LOW FUEL**も表示されます。

走行中に常時、表示が変動することを避けるために、燃料レベルはほんの少し遅く表示されるようになっています。サイドスタンドが展開された状態または非常停止スイッチが入っている状態では燃料レベル表示は更新されません。サイドスタンドが収納され、非常停止スイッチがオンになるとその2分後に次の更新が行われます。

コンビネーションインストルメントが燃料レベルセンサーから信号を受信しないと燃料レベル表示が点滅します。

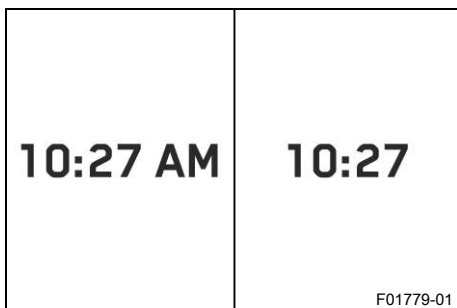
### 7.20 外気温度表示



外気温は°Cまたは°Fで表示されます。

サブメニュー**Temperature**で外気温の単位を設定できます。

### 7.21 時刻



英語以外の言語では時計は24時間制で表示されます。言語がEN-USで設定される場合、時計は12時間制で表示されます。サブメニュー**Clock/Date**で時計を設定できます。

#### **i** 参考

12Vバッテリーの接続を外した後やヒューズを交換した後は時計を設定して下さい。

## 7.22 Favorites 表示

TRIP 1 125.4km	TRIP 1 125.4km	TRIP 1 125.4km
TRIP 2 462.0km	TRIP 2 462.0km	TRIP 2 462.0km
DATE MM-DD-YYYY	DATE MM-DD-YYYY	DATE MM-DD-YYYY
ODO 3542km	ODO 3542km	ODO 3542km
	BATTERY 12.3V	BATTERY 12.3V
	PHONE BATT	PHONE BATT
		F01780-01

**Favorites**ヒョウジでは 8 つまでの情報が表示されます。サブメニュー**Favorites**で**Favorites**表示をお好みに設定することができます。

### 参考

選択された情報の 1~4 まででは 2 行で表示されます。選択された情報の 5~8 まででは 1 行で表示されます。

## 7.23 Quick Selector 1 表示

TRIP 1	
TRIP 0.0km	
ØCONS ---l/100km	
ØSPEED ---km/h	
TRIP TIME 00:00	
FUEL RANGE ---km	
	F03308-01

メニューが閉じた状態で**UP**キーを押して**Quick Selector 1**表示を呼び出します。

**BACK**キーを押すと**Quick Selector 1**表示が閉まります。

### 参考

**Quick Selector 1**表示はメニュー**Settings**の**Quick Selector 1**で設定することができます。お好みの情報を選択することができます。

## 7.24 Quick Selector 2 表示

TRIP 2	
TRIP 0.0km	
ØCONS ---l/100km	
ØSPEED ---km/h	
TRIP TIME 00:00	
FUEL RANGE ---km	
	F03310-01

メニューが閉じた状態で**DOWN**キーを押して**Quick Selector 2**表示を呼び出します。

**BACK**キーを押すと**Quick Selector 2**表示が閉まります。

### 参考

**Quick Selector 2**表示はメニュー**Settings**の**Quick Selector 2**で設定することができます。お好みの情報を選択することができます。

## 7.25 Navigation 表示

76.2 km EXIT 2	76.2 km EXIT 2
BERCHTESGADENER BUNDESTRASSE	BERCHTESGADENER BUNDESTRASSE
	F01783-01

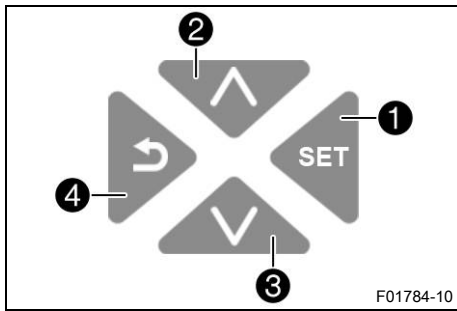
ナビゲーション機能が有効化されると**Navigation**表示が現れます。**Navigation**表示では方向矢印、目的地までの距離、到着予想時刻、次の地点までの距離、ならびに道路の名前が表示されます。サブメニュー**Navigation**で**Navigation**表示のオン/オフを切り替えることができます。

### 参考

視覚ナビゲーションがオンの場合、**Favorites**表示は表示されません。

# 7 コンビネーションインストルメント

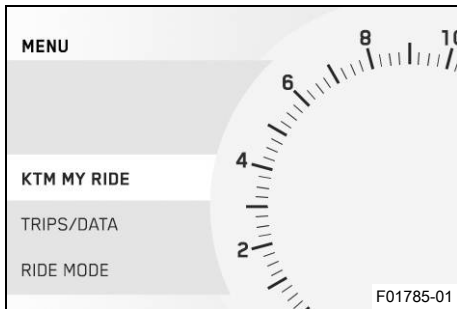
## 7.26 メニュー



### 参考

メニューを開くにはスタート画面のSETキー①を押してください。  
UPキー②またはDOWNキー③を使ってメニューを選択します。  
BACKキー④を押すと、ステップが一つ戻り、メニューが閉じます。

### 7.26.1 KTM MY RIDE



#### 条件

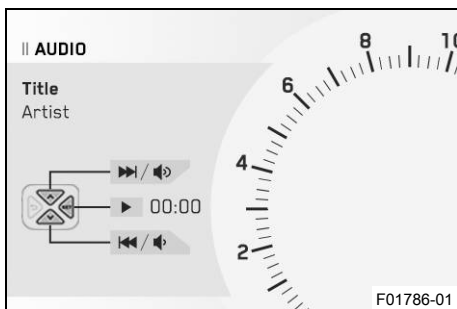
- 車両が停止している。
- 機能Bluetooth®が有効です。
- メニューが閉じた状態でSETキーを押します。
- UPキーまたはDOWNキーを押し、**KTM MY RIDE**をハイライト表示させます。SETキーを押すとメニューが開きます。

KTM MY RIDEメニューで携帯電話や対応機種であるヘッドセットの対応機種をBluetooth®を介してコンビネーションインストルメントとペアリングし、オーディオ機能およびナビゲーション機能を設定することができます。

### 参考

携帯電話やヘッドセットの中にはコンビネーションインストルメントとのペアリングに適していないものもあります。  
Bluetooth®2.1 スタンダードをサポートする機器でなければなりません。

### 7.26.2 Audio



#### 条件

- 機能Bluetooth®が有効です。
- コンビネーションインストルメントが携帯電話の対応機種に接続されています。
- コンビネーションインストルメントがヘッドセット対応機種に接続されています。
- メニューが閉じた状態でSETキーを押します。
- UPキーまたはDOWNキーを押し、**KTM MY RIDE**をハイライト表示させます。SETキーを押すとメニューが開きます。

### 警告

**事故の危険性** ヘッドフォンの音量が高すぎると交通状況に集中することができません。

- 音声信号をはっきりと聞き取れる程度にヘッドフォンの音量は十分に抑えられていなければなりません。

- UPキーまたはDOWNキーを押し、**Audio**をハイライト表示させます。SETキーを押すとサブメニューが開きます。
- UPキーを押し続けると音量が上がります。



- DOWNキーを押し続けると音量が下がります。
- UPキーを軽く押すと次のトラックに移動します。
- DOWNキーを1、2回押すと前のトラックに、または現在再生されているトラックの初めに移動します。この機能は携帯電話のモデルにより異なります。
- SETキーを押すとトラックを再生したり一時停止することができます。

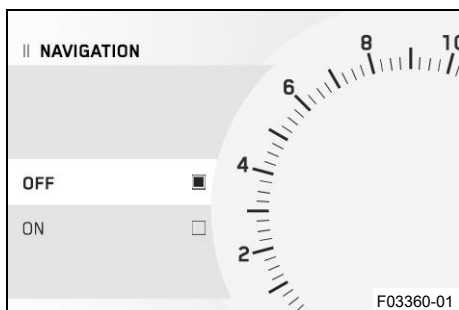


## 参考

携帯電話の中には、携帯電話にインストールされている音楽プレイヤーが開かれていなければ再生が行われないものもあります。

操作を簡易化するためにオーディオ機能を**Quick Selector 1**または**Quick Selector 2**に追加することができます。

## 7.26.3 Navigation



### 条件

- 機能Bluetooth®が有効です。
- **KTM MY RIDE Navigation**アプリを対応機種 (Android®機器 6.0以降、iOS 10以降) にインストールし、開きます。
- コンビネーションインストゥルメントが携帯電話の対応機種に接続されています。
- 接続されている携帯電話のGPS機能をオンにします。
- ボイスナビゲーション: コンビネーションインストゥルメントに対応機種のヘッドセットが接続され、**KTM MY RIDE Navigation**アプリに適切な言語パッケージがダウンロードされている。
- メニューが閉じた状態で**SET**キーを押します。
- **UP**キーまたは**DOWN**キーを押し、**KTM MY RIDE**をハイライト表示させます。**SET**キーを押すとメニューが開きます。
- **UP**キーまたは**DOWN**キーを押し、**Navigation**をハイライト表示させます。**SET**キーを押すとサブメニューが開きます。
- **UP**または**DOWN**キーでメニュー項目を操作します。
- **SET**キーを押して視覚ナビゲーションをオン/オフすることができます。



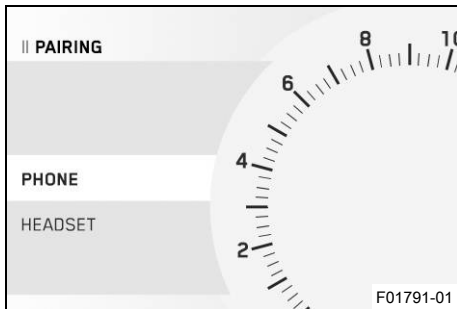
## 参考

ボイスナビゲーションがオンになっている場合、その状態は維持されます。

有効化されたボイスナビゲーションの音量は携帯のオーディオプレイヤーの音量と同じです。携帯の音量が変更されると、ボイスナビゲーションの音量も変わります。

# 7 コンビネーションインストルメント

## 7.26.4 Pairing



### 条件

- 車両が停止している。
- 機能Bluetooth®が有効です。
- メニューが閉じた状態でSETキーを押します。
- UPキーまたはDOWNキーを押し、**KTM MY RIDE**をハイライト表示させます。SETキーを押すとメニューが開きます。
- UPキーまたはDOWNキーを押し、**Pairing**をハイライト表示させます。SETキーを押すとサブメニューが開きます。

サブメニュー**Pairing**では携帯電話やヘッドセットをBluetooth®を介してコンビネーションインストルメントとペアリングすることができます。

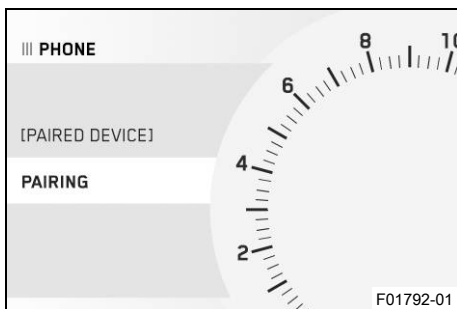
### i 参考

Bluetooth®機能はKTM MY RIDEが搭載されている場合にのみ使用することができます。

Bluetooth®機能がオンの場合、Bluetooth®マークがコンビネーションインストルメントのディスプレイに表示されます。

携帯電話やヘッドセットの中にはコンビネーションインストルメントとのペアリングに適していないものもあります。

## 7.26.5 Phone



### 条件

- 車両が停止している。
- 機能Bluetooth®が有効です。
- ペアリングしたい機器のBluetooth®機能もオンにします。
- メニューが閉じた状態でSETキーを押します。
- UPキーまたはDOWNキーを押し、**KTM MY RIDE**をハイライト表示させます。SETキーを押すとメニューが開きます。
- UPキーまたはDOWNキーを押し、**Pairing**をハイライト表示させます。SETキーを押すとサブメニューが開きます。
- UPキーまたはDOWNキーを押し、**Phone**をハイライト表示させます。SETキーを押すとサブメニューが開きます。

### i 参考

コンビネーションインストルメントとカップリングできる電話は一つのみです。

- UPキーまたはDOWNキーを押し、**Pairing**をハイライト表示させます。SETキーを押すとサブメニューが開きます。
- コンビネーションインストルメントが対応機種である携帯電話の検索を開始します。正しく検索が行われた場合、携帯電話の名称がサブメニュー**Pairing**に表示されます。SETキーを押してペアリングをスタートします。

### i 参考

コンビネーションインストルメントが携帯電話を見つけられるように、携帯電話はBluetooth®モードでなければなりません。

- コンビネーションインスツルメントにペアリングの準備が整ったことが表示されます。携帯電話とコンビネーションインスツルメントのPasskeyを確定するとペアリングが完了します。

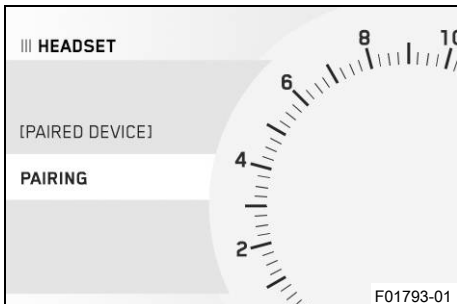
## **i** 参考

正しくペアリングが行われた場合、ペアリングされた携帯電話の名称がサブメニュー**Phone**に表示されます。**UP**キーまたは**DOWN**キーを押し、ディスプレイでペアリングされた機器をハイライト表示させます。**SET**キーを押すとペアリングされた機器を消去することができます。携帯電話の中にはコンビネーションインスツルメントとのペアリングに適していないものもあります。

- **Bluetooth®**機能が稼働している場合、既にペアリングが行われた機器を感知範囲内に置きます。
  - ✓ この機器は自動的にコンビネーションインスツルメントにペアリングされます。
  - ✗ 機器が 30 秒以内に自動的にコンビネーションインスツルメントにペアリングされない場合：
    - コンビネーションインスツルメントを改めて稼働するか**Pairing**の手順をもう一度繰り返します。

**Phone**の項目では対応機種である携帯電話をコンビネーションインスツルメントにペアリングすることができます。

## 7.26.6 Headset



### 条件

- 車両が停止している。
- 機能**Bluetooth**が有効です。
- ペアリングしたい機器の**Bluetooth®**機能もオンにします。
- メニューが閉じた状態で**SET**キーを押します。
- **UP**キーまたは**DOWN**キーを押し、**KTM MY RIDE**をハイライト表示させます。**SET**キーを押すとメニューが開きます。
- **UP**キーまたは**DOWN**キーを押し、**Pairing**をハイライト表示させます。**SET**キーを押すとサブメニューが開きます。
- **UP**キーまたは**DOWN**キーを押し、**Headset**をハイライト表示させます。**SET**キーを押すとサブメニューが開きます。
- **UP**キーまたは**DOWN**キーを押し、**Pairing**をハイライト表示させます。**SET**キーを押すとサブメニューが開きます。
- コンビネーションインスツルメントが対応機種のヘッドセットの検索をスタートします。正しく検索が行われた場合、ヘッドセットの名称がサブメニュー**Pairing**に表示されます。**SET**キーを押して機器を選択します。もう一度**SET**キーを押してメニュー項目**Confirm**を確定します。コンビネーションインスツルメントへのヘッドセットペアリングはこの時点で完了します。

# 7 コンビネーションインストゥルメント

## i 参考

コンビネーションインストゥルメントがヘッドセットを見つけられるように、ヘッドセットはペアリングモードになっていなければなりません。ヘッドセットの取扱説明書に従って下さい。

正しくペアリングが行われた場合、ペアリングされたヘッドセットの名称がサブメニュー**Headset**に表示されます。

**UP**キーまたは**DOWN**キーを押し、ディスプレイでペアリングされた機器をハイライト表示させます。

**SET**キーを押すとペアリングされた機器を消去することができます。

ヘッドセットの中にはコンビネーションインストゥルメントとのペアリングに適していないものもあります。

- **Bluetooth®**機能が稼動している場合、既にペアリングが行われた機器を感知範囲内に置きます。
  - ✓ この機器は自動的にコンビネーションインストゥルメントにペアリングされます。
  - ✗ 機器が 30 秒以内に自動的にコンビネーションインストゥルメントにペアリングされない場合：
    - コンビネーションインストゥルメントを改めて稼動するか**Pairing**の手順をもう一度繰り返します。

**Headset**の項目では対応機種であるヘッドセットをコンビネーションインストゥルメントにペアリングすることができます。

## 7.26.7 電話



### 条件

- 機能**Bluetooth®**が有効です。
- ペアリングしたい機器の**Bluetooth®**機能もオンにします。
- コンビネーションインストゥルメントが携帯電話の対応機種に接続されています。
- コンビネーションインストゥルメントがヘッドセット対応機種に接続されています。



### 警告

**事故の危険性** ヘッドフォンの音量が高すぎると交通状況に集中することができません。

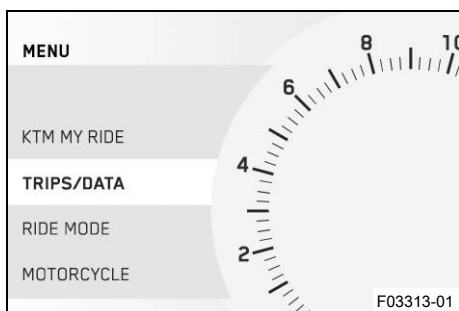
- 音声信号をはっきりと聞き取れる程度にヘッドフォンの音量は十分に抑えられていなければなりません。
- 受信の際**SET**キーを押すと通話することができます。
- 受信の際**BACK**キーを押すと受信拒否することができます。
- **UP**キーを押し続けると音量が上がります。
- **DOWN**キーを押し続けると音量が下がります。



## 参考

コンビネーションスイッチを使ったオーディオの音量変更はすべての携帯電話で行えるわけではありません。通話時間と通話相手が表示されます。携帯電話の設定によっては通話相手の名前が表示されます。通話時には現行のナビゲーション機能はコンビネーションインストルメントのディスプレイ上部に表示されます。通話中にはメニューでのナビゲーションはできません。

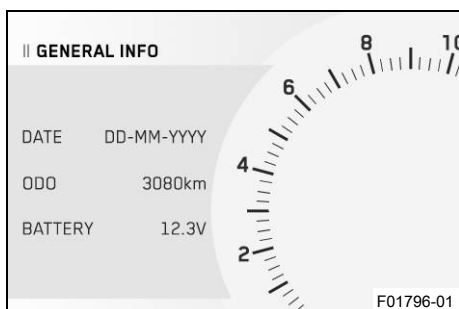
### 7.26.8 Trips/Data



- メニューが閉じた状態で**SET**キーを押します。
- **UP**キーまたは**DOWN**キーを押し、**Trips/Data**をハイライト表示させます。**SET**キーを押すとメニューが開きます。

**Trips/Data**メニューでは一般情報を呼び出すことができます。

### 7.26.9 General Info



- メニューが閉じた状態で**SET**キーを押します。
- **UP**キーまたは**DOWN**キーを押し、**Trips/Data**をハイライト表示させます。**SET**キーを押すとメニューが開きます。
- **UP**キーまたは**DOWN**キーを押し、**General Info**をハイライト表示させます。**SET**キーを押すとサブメニューが開きます。

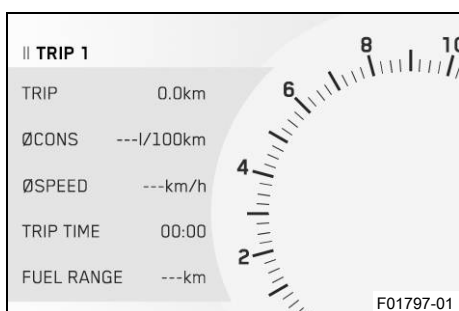
サブメニュー**General Info**では日付、総距離および 12V バッテリーのバッテリー電圧を呼び出すことができます。



## 参考

**Date**は日付を示します。  
**ODO**は走行した総距離を示します。  
**Battery**は 12V バッテリーのバッテリー電圧を表示します。

### 7.26.10 Trip 1



- メニューが閉じた状態で**SET**キーを押します。
- **UP**キーまたは**DOWN**キーを押し、**Trips/Data**をハイライト表示させます。**SET**キーを押すとメニューが開きます。
- **UP**キーまたは**DOWN**キーを押し、**Trip 1**をハイライト表示させます。**SET**キーを押すとサブメニューが開きます。

サブメニュー**Trip 1**では**Trip 1**において情報を呼び出すことができます。

# 7 コンビネーションインストルメント

## i 参考

Tripモードでは最後のリセットからの走行距離が表示されます(例、給油の間隔)。Tripは作動しており、9999までカウントします。

ØConsではTripから求められた平均燃費が表示されます。

ØSpeedではTripとTrip Timeから求められた平均速度が表示されます。

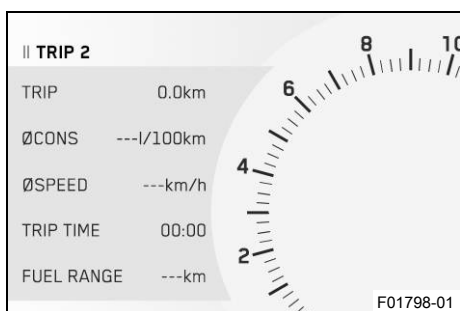
Trip TimeはTripに基づいた走行時間を示し、速度信号を受けるとカウントを開始します。

Fuel Rangeは予備燃料で走行可能な距離を示します。

SETキーを3~5秒間押し続けます。

サブメニューTrip 1のすべての項目で値がリセットされます。

### 7.26.11 Trip 2



- メニューが閉じた状態でSETキーを押します。
- UPキーまたはDOWNキーを押し、Trips/Dataをハイライト表示させます。SETキーを押すとメニューが開きます。
- UPキーまたはDOWNキーを押し、Trip 2をハイライト表示させます。SETキーを押すとサブメニューが開きます。

サブメニューTrip 2ではTrip 2において情報を呼び出すことができます。

## i 参考

Tripモードでは最後のリセットからの走行距離が表示されます(例、給油の間隔)。Tripは作動しており、9999までカウントします。

ØConsではTripから求められた平均燃費が表示されます。

ØSpeedではTripとTrip Timeから求められた平均速度が表示されます。

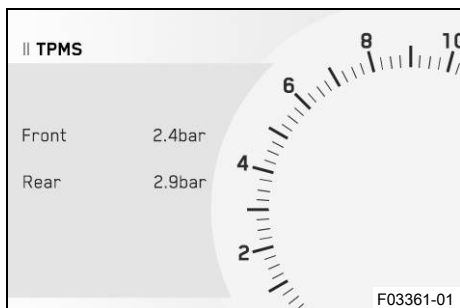
Trip TimeはTripに基づいた走行時間を示し、速度信号を受けるとカウントを開始します。

Fuel Rangeは予備燃料で走行可能な距離を示します。

SETキーを3~5秒間押し続けます。

サブメニューTrip 2のすべての項目で値がリセットされます。

### 7.26.12 TPMS (オプション機能)



#### 条件

- TPMS搭載車。
- メニューが閉じた状態でSETキーを押します。
- UPキーまたはDOWNキーを押し、Trips/Dataをハイライト表示させます。SETキーを押すとメニューが開きます。



## 警告

**事故の危険性** タイヤ空気圧コントロールシステムは、走行前点検にとって代わるものではありません。間違ってアラームが発生しないよう、タイヤ空気圧の値の評価は数分にわたって実行されます。

- 走行前には必ずタイヤの空気圧を点検して下さい。
- タイヤの空気圧が規定値と異なる場合には、空気圧を調整して下さい。
- タイヤの空気圧が正しい値であっても、タイヤの圧力低下が疑われる車両挙動が見られたら、すぐに停止して下さい。

- **UP**キーまたは**DOWN**キーを押し、**TPMS**をハイライト表示させます。**SET**キーを押すとサブメニューが開きます。

規定

同乗者なし / 同乗者あり / 最大積載量でのタイヤの空気圧	
前方: タイヤが冷えた状態	2.4 bar
後輪: タイヤが冷えた状態	2.9 bar

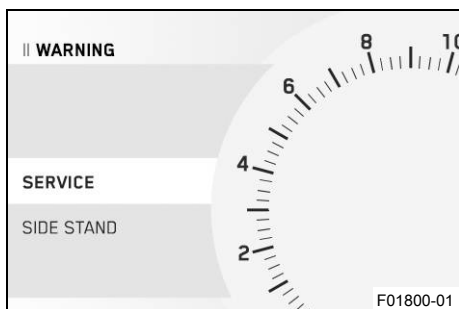
サブメニュー**TPMS**では前輪および後輪のタイヤ空気圧を呼び出すことができます。



## 参考

**Front**は前輪のタイヤ空気圧を示します。  
**Rear**は後輪のタイヤ空気圧を示します。

### 7.26.13 Warning



#### 条件

- メッセージまたは警告が出ている。
- メニューが閉じた状態で**SET**キーを押します。
- **UP**キーまたは**DOWN**キーを押し、**Trips/Data**をハイライト表示させます。**SET**キーを押すとメニューが開きます。
- **UP**キーまたは**DOWN**キーを押し、**Warning**をハイライト表示させます。**SET**キーを押すとサブメニューが開きます。
- **UP**キーまたは**DOWN**キーを使って警告項目の間を移動します。

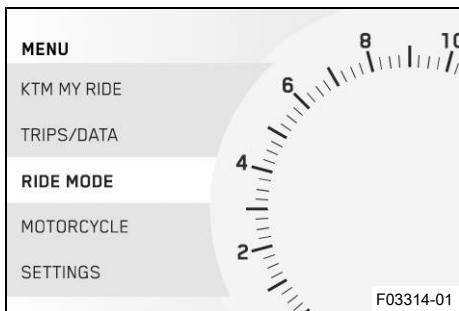


## 参考

警告表示はそれが解除されるまで表示および保存されます。

# 7 コンビネーションインストルメント

## 7.26.14 Ride Mode



- メニューが閉じた状態でSETキーを押します。



### 警告

**事故の危険性** 走行モードの選択を誤ると、車両の制御が著しく困難になります。

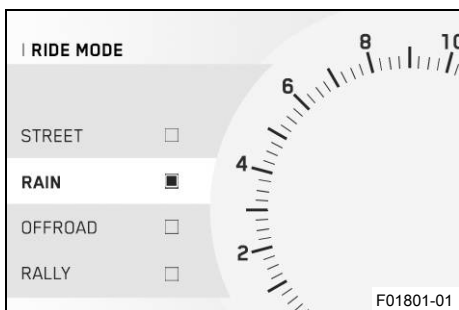
走行モードは、それぞれ特定の条件にのみ適しています。

- 常に路面、天候、走行状態に適した走行モードを選択してください。

- UPキーまたはDOWNキーを押し、**Ride Mode**をハイライト表示させます。SETキーを押すとメニューが開きます。

Ride Modeメニューでは車両の走行モードを設定することができます。

## 7.26.15 Ride Mode



### 条件

- エマージェンシーOFFスイッチがオフ。
- 速度制御システム ( オプション ) がオフ。
- メニューが閉じた状態でSETキーを押します。
- UPキーまたはDOWNキーを押し、**Ride Mode**をハイライト表示させます。SETキーを押すとメニューが開きます。
- UPキーまたはDOWNキーを押し、ディスプレイで**Ride Mode**をハイライト表示させます。SETキーを押すとサブメニューが開きます。
- UPまたはDOWNキーでメニュー項目を操作します。



### 警告

**事故の危険性** 走行モードの選択を誤ると、車両の制御が著しく困難になります。

走行モードは、それぞれ特定の条件にのみ適しています。

- 常に路面、天候、走行状態に適した走行モードを選択してください。

- SETキーを押すことで、エンジンとバイクトラクションコントロール間の調整モードを選択できます。
  - ✓ Street - 後輪のスリップに対するバイクトラクションコントロールの許容範囲が標準の、安定した反応の認可出力。アンチウィリーモードがオフになっています。
  - ✓ Rain - 後輪のスリップに対するバイクトラクションコントロールの許容範囲が標準の、ドライバビリティに優れた制限認可出力。アンチウィリーモードがオフになっています。
  - ✓ Offroad - 後輪のスリップに対するバイクトラクションコントロールの許容範囲が大きい、ドライバビリティに優れた制限認可出力。アンチウィリーモードがオフになっています。

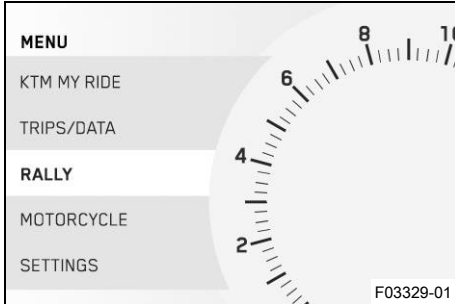


- ✓ Rally ( オプション ) - 認可出力での極めてダイレクトな反応特性の設定。バイクトラクションコントロールと吸気作動特性を個別に調節することができます。アンチウィリーモードがオフになっています。

**i** **参考**

選択中にはスロットルは開かないで下さい。

## 7.26.16 Rally( オプション)



**条件**

- RALLY PACK搭載車。
- 走行モードRally ( オプション ) が有効です。
- メニューが閉じた状態でSETキーを押します。



**警告**

**事故の危険性** 走行モードの選択を誤ると、車両の制御が著しく困難になります。

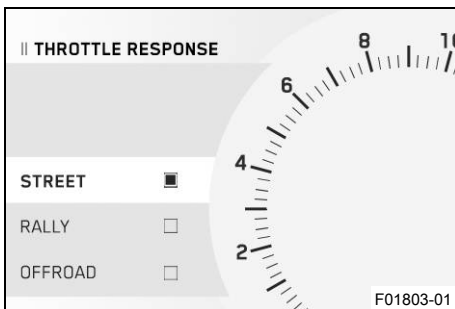
走行モードは、それぞれ特定の条件にのみ適しています。

- 常に路面、天候、走行状態に適した走行モードを選択してください。

- UPキーまたはDOWNキーを押し、ディスプレイでRallyをハイライト表示させます。SETキーを押すとメニューが開きます。

RallyメニューでRALLY PACKの設定を個別に調整することができます。

## 7.26.17 Throttle Response( オプション)



**条件**

- RALLY PACK搭載車。
- 走行モードRally ( オプション ) が有効です。
- メニューが閉じた状態でSETキーを押します。



**警告**

**事故の危険性** 走行モードの選択を誤ると、車両の制御が著しく困難になります。

走行モードは、それぞれ特定の条件にのみ適しています。

- 常に路面、天候、走行状態に適した走行モードを選択してください。

- UPキーまたはDOWNキーを押し、ディスプレイでRallyをハイライト表示させます。SETキーを押すとメニューが開きます。

- UPキーまたはDOWNキーを押し、ディスプレイでThrottle Responseをハイライト表示させます。SETキーを押すとサブメニューが開きます。

- UPまたはDOWNキーでメニュー項目を操作します。

- SETボタンを押すと、吸気特性を調整することができます。

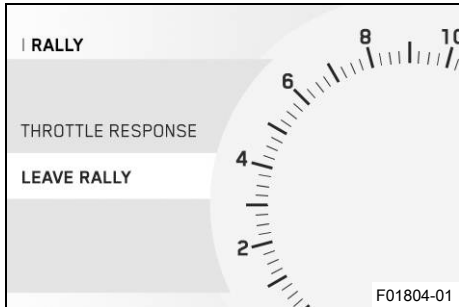
# 7 コンビネーションインストルメント

- ✓ Street - 安定した反応特性。
- ✓ Rally - 極めてダイレクトな反応特性。
- ✓ Offroad - 非常にダイレクトな反応特性。

## 参考

吸気特性設定の際にはスロットルは開かないで下さい。

### 7.26.18 Leave Rally( オプション)



#### 条件

- RALLY PACK搭載車。
- 走行モードRally ( オプション ) が有効です。
- メニューが閉じた状態でSETキーを押します。



#### 警告

**事故の危険性** 走行モードの選択を誤ると、車両の制御が著しく困難になります。

走行モードは、それぞれ特定の条件にのみ適しています。

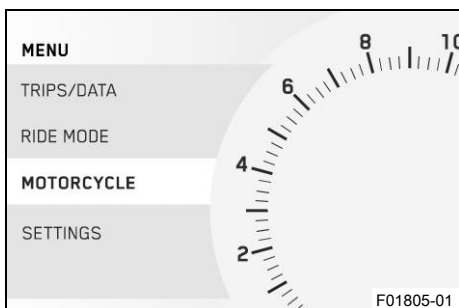
- 常に路面、天候、走行状態に適した走行モードを選択してください。

- UPキーまたはDOWNキーを押し、ディスプレイでRallyをハイライト表示させます。SETキーを押すとメニューが開きます。
- UPキーまたはDOWNキーを押し、ディスプレイでLeave Rallyをハイライト表示させます。SETボタンを押すと走行モードRallyが終了し、自動的に走行モードStreetに移行します。

## 参考

走行モードRallyをオフにする際にはスロットルを開かないで下さい。

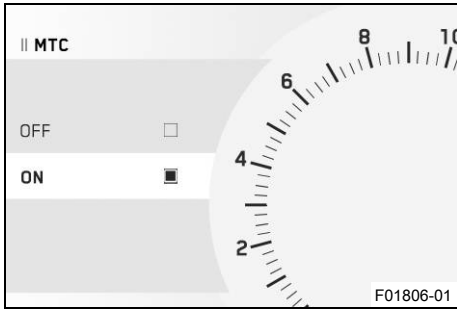
### 7.26.19 Motorcycle



- メニューが閉じた状態でSETキーを押します。
- UPキーまたはDOWNキーを押し、Motorcycleをハイライト表示させます。SETキーを押すとメニューが開きます。

Motorcycleメニューではバイクトラクションコントロール、エンジンスリップコントロール( オプション )、クイックシフター・プラス( オプション )のオン/オフを切り替え、ABS、グリップヒーター、シートヒーターを設定することができます。

## 7.26.20 MTC



### 条件

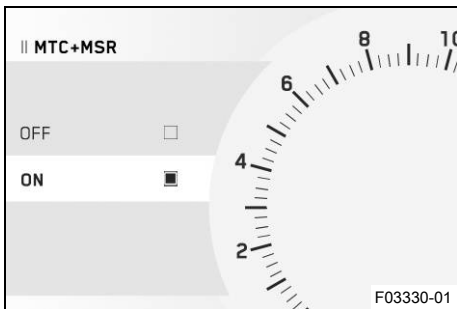
- 速度制御システム ( オプション ) がオフ。
- メニューが閉じた状態で**SET**キーを押します。
- **UP**キーまたは**DOWN**キーを押し、**Motorcycle**をハイライト表示させます。**SET**キーを押すとメニューが開きます。
- **UP**キーまたは**DOWN**キーを押し、**MTC**をハイライト表示させます。**SET**キーを押すとサブメニューが開きます。
- **UP**または**DOWN**キーでメニュー項目を操作します。
- **MTC**を**SET**キーでオン / オフします。

### **i** 参考

オン / オフ切り替えの際にはスロットルは開かないで下さい。  
 バイクトラクションコントロールを有効化するには**SET**キーを短く押します。  
 バイクトラクションコントロールをオフにするには**SET**キーを押し続けます。  
 イグニッションをオンにすると、バイクトラクションコントロールが再びオンになります。

SETキーを3～5秒間押し続けます。	バイクトラクションコントロールをオフにする。
--------------------	------------------------

## 7.26.21 MTC+MSR( オプション)



### 条件

- **MTC+MSR**搭載車。
- 速度制御システム ( オプション ) がオフ。
- メニューが閉じた状態で**SET**キーを押します。
- **UP**キーまたは**DOWN**キーを押し、**Motorcycle**をハイライト表示させます。**SET**キーを押すとメニューが開きます。
- **UP**キーまたは**DOWN**キーを押し、**MTC+MSR**をハイライト表示させます。**SET**キーを押すとメニューが開きます。
- **UP**または**DOWN**キーでメニュー項目を操作します。
- **MTC+MSR**を**SET**キーでオン / オフします。

### **i** 参考

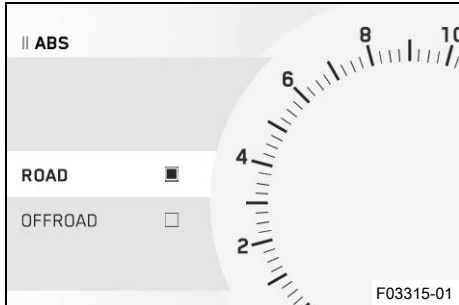
オン / オフ切り替えの際にはスロットルは開かないで下さい。  
 バイクトラクションコントロールとエンジンスリップコントロールを有効化するには**SET**キーを短く押します。  
 バイクトラクションコントロールとエンジンスリップコントロールをオフにするには**SET**キーを押し続けます。  
 ABS モード**Offroad**がオンの場合、**MSR**は作動しません。  
 イグニッションを作動すると、バイクトラクションコントロールとエンジンスリップコントロールは再びオンに切り替えられます。

# 7 コンビネーションインストルメント

SETキーを  
3～5秒間押  
し続けます。

バイクトラクションコントロールとエンジン  
スリップコントロールをオフにする。

## 7.26.22 ABS



- メニューが閉じた状態でSETキーを押します。
- UPキーまたはDOWNキーを押し、**Motorcycle**をハイライト表示させます。SETキーを押すとメニューが開きます。
- UPキーまたはDOWNキーを押し、**ABS**をハイライト表示させます。SETキーを押すとサブメニューが開きます。
- UPまたはDOWNキーでメニュー項目を操作します。



### 警告

**事故の危険性** ABSモードの選択を誤ると、車両の制御が著しく困難になります。

ABSモードは、それぞれ特定の条件にのみ適しています。

- 必ず路面に適したABSモードを選択してください。

- SETキーを押して希望のABSモードを選びます。



### 参考

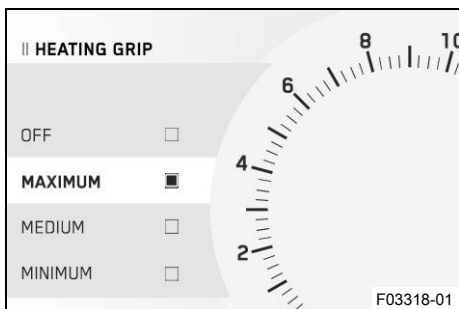
ABSモードは走行中に切り替えることができます。

選択中にはスロットルは開かないで下さい。

ABSモード**Road**がオンの場合、ABSは前輪と後輪を両方制御します。

ABSモード**Offroad**がオンの場合、ABSは前輪だけを制御します。後輪はABSに制御されず、ブレーキをかけた際にロックする恐れがあります。

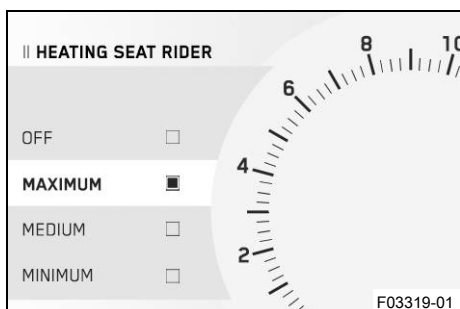
## 7.26.23 Heating Grip (オプション機能)



### 条件

- グリップヒーター搭載車。
- Heating Gripメニュー(機能オプション)が有効化されています。
- メニューが閉じた状態でSETキーを押します。
- UPキーまたはDOWNキーを押し、**Motorcycle**をハイライト表示させます。SETキーを押すとメニューが開きます。
- UPキーまたはDOWNキーを押し、**Heating Grip**をハイライト表示させます。SETキーを押すとメニューが開きます。
- UPまたはDOWNキーでメニュー項目を操作します。
- SETキーを押してヒーターのレベルを選択するか、グリップヒーターをオン/オフします。

## 7.26.24 Heating Seat Rider (オプション機能)



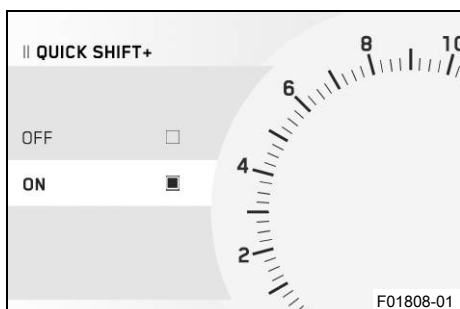
### 条件

- シートヒーター搭載車。
- **Heating Seat Rider**メニュー(機能オプション)が有効化されています。
- **Heating Seat Pillion**メニュー(機能オプション)が有効化されています。
- メニューが閉じた状態で**SET**キーを押します。
- **UP**キーまたは**DOWN**キーを押し、**Motorcycle**をハイライト表示させます。**SET**キーを押すとメニューが開きます。
- **UP**キーまたは**DOWN**キーを押し、**Heating Seat Rider**をハイライト表示させます。**SET**キーを押すとメニューが開きます。
- **UP**または**DOWN**キーでメニュー項目を操作します。
- **SET**キーを押しヒーターのレベルを選ぶか、フロントシートのシートヒーターをオン/オフします。

### 参考

リアシートヒーターのヒーターレベルは右サイドグリップの横にあるスイッチで選択します。

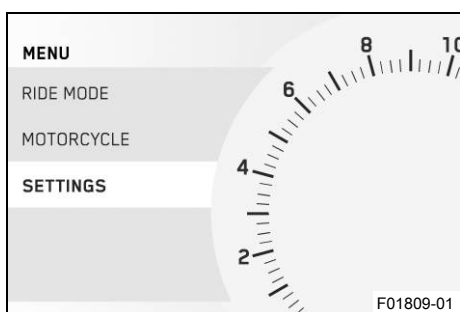
## 7.26.25 Quick Shift+(オプション)



### 条件

- Quickshifter+ 搭載車。
- メニューが閉じた状態で**SET**キーを押します。
- **UP**キーまたは**DOWN**キーを押し、**Motorcycle**をハイライト表示させます。**SET**キーを押すとメニューが開きます。
- **UP**キーまたは**DOWN**キーを押し、**Quick Shift+**をハイライト表示させます。**SET**キーを押すとサブメニューが開きます。
- **UP**または**DOWN**キーでメニュー項目を操作します。
- **SET**キーを押してクイックシフター・プラス (📖 頁 72)をオン/オフします。

## 7.26.26 Settings



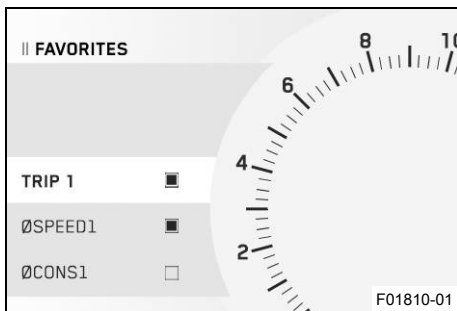
### 条件

- 車両が停止している。
- メニューが閉じた状態で**SET**キーを押します。
- **UP**キーまたは**DOWN**キーを押し、**Settings**をハイライト表示させます。**SET**キーを押すとメニューが開きます。

**Settings**メニューではお気に入り項目、クイック選択およびコンビネーションインスツルメントの表示を設定することができます。単位の他、様々な値の設定を行うことができます。ここでオン/オフの切り替えができる機能もあります。

# 7 コンビネーションインストルメント

## 7.26.27 Favorites

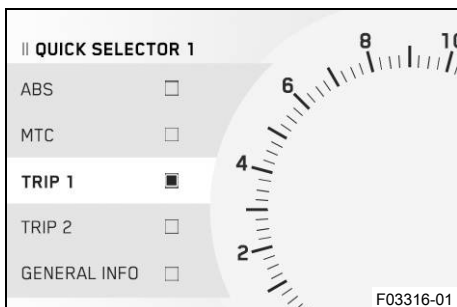


### 条件

- 車両が停止している。
- メニューが閉じた状態で**SET**キーを押します。
- **UP**キーまたは**DOWN**キーを押し、**Settings**をハイライト表示させます。**SET**キーを押すとメニューが開きます。
- **UP**キーまたは**DOWN**キーを押し、**Favorites**をハイライト表示させます。**SET**キーを押すとサブメニューが開きます。
- **UP**または**DOWN**ボタンでメニュー項目、そして**SET**ボタンで選択した情報を**Favorites**表示に追加します。

メニュー**Favorites**では 8 つまでの情報を選択することができます。

## 7.26.28 Quick Selector 1



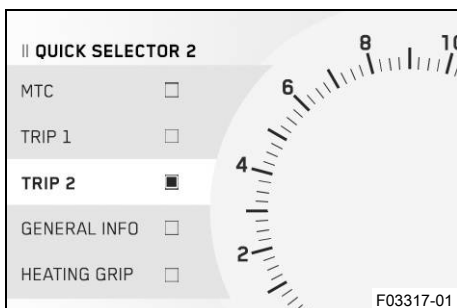
### 条件

- 車両が停止している。
- メニューが閉じた状態で**SET**キーを押します。
- **UP**キーまたは**DOWN**キーを押し、**Settings**をハイライト表示させます。**SET**キーを押すとメニューが開きます。
- **UP**キーまたは**DOWN**キーを押し、**Quick Selector 1**をハイライト表示させます。**SET**キーを押すとメニューが開きます。
- **UP**または**DOWN**キーでメニュー項目を操作します。
- **SET**ボタンを押すと**Quick Selector 1**に対して直接選択したいサブメニューを設定することができます。

### 参考

メニューが閉じた状態で**UP**キーを押し、**Quick Selector 1**で設定されているサブメニューを呼び出します。

## 7.26.29 Quick Selector 2



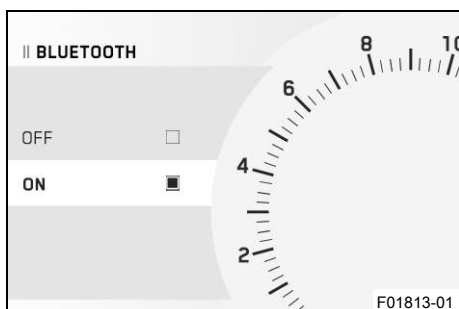
### 条件

- 車両が停止している。
- メニューが閉じた状態で**SET**キーを押します。
- **UP**キーまたは**DOWN**キーを押し、**Settings**をハイライト表示させます。**SET**キーを押すとメニューが開きます。
- **UP**キーまたは**DOWN**キーを押し、**Quick Selector 2**をハイライト表示させます。**SET**キーを押すとメニューが開きます。
- **UP**または**DOWN**キーでメニュー項目を操作します。
- **SET**ボタンを押すと**Quick Selector 2**に対して直接選択したいサブメニューを設定することができます。

### 参考

メニューが閉じた状態で**DOWN**キーを押し、**Quick Selector 2**で設定されているサブメニューを呼び出します。

## 7.26.30 Bluetooth



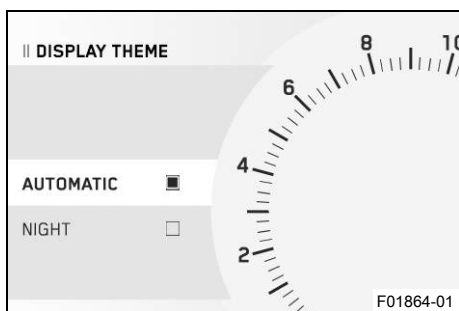
### 条件

- 車両が停止している。
- メニューが閉じた状態で**SET**キーを押します。
- **UP**キーまたは**DOWN**キーを押し、**Settings**をハイライト表示させます。**SET**キーを押すとメニューが開きます。
- **UP**キーまたは**DOWN**キーを押し、**Bluetooth**をハイライト表示させます。**SET**キーを押すとサブメニューが開きます。
- **UP**または**DOWN**キーでメニュー項目を操作します。
- **SET**キーを押して**Bluetooth**®機能をオン/オフすることができます。

### 参考

**Bluetooth**®機能はKTM MY RIDEが搭載されている場合にのみ使用することができます。  
サブメニュー**Pairing**を使ってペアリングされた機器が現在接続されていない状態の場合、**Bluetooth**®機能がオンになると**Bluetooth**®マークが点滅します。機器が接続されると**Bluetooth**®マークが点灯します。

## 7.26.31 Display Theme



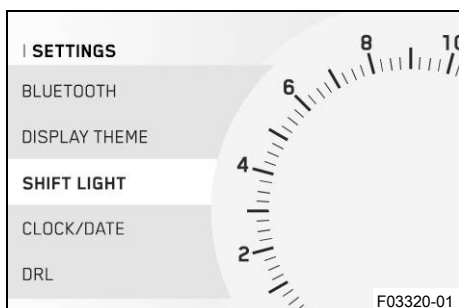
### 条件

- 車両が停止している。
- メニューが閉じた状態で**SET**キーを押します。
- **UP**キーまたは**DOWN**キーを押し、**Settings**をハイライト表示させます。**SET**キーを押すとメニューが開きます。
- **UP**キーまたは**DOWN**キーを押し、**Display Theme**をハイライト表示させます。**SET**キーを押すとサブメニューが開きます。
- **UP**または**DOWN**キーでメニュー項目を操作します。
- **SET**キーを押すとデイ/ナイトモードと常時ナイトモードの切り替えを行うことができます。

### 参考

どちらのモードでも、周囲光量に応じてディスプレイが明るくなったり暗くなったりします。

## 7.26.32 Shift Light



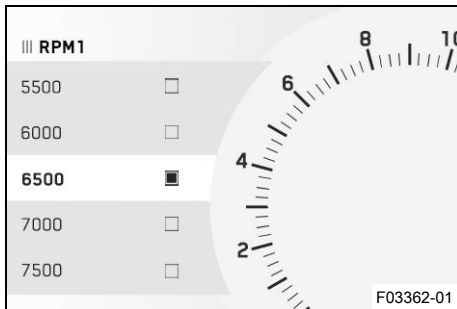
### 条件

- 車両が停止している。
- **ODO > 1000 km (621 マイル)**。
- メニューが閉じた状態で**SET**キーを押します。
- **UP**キーまたは**DOWN**キーを押し、**Settings**をハイライト表示させます。**SET**キーを押すとメニューが開きます。
- **UP**キーまたは**DOWN**キーを押し、**Shift Light**をハイライト表示させます。**SET**キーを押すとサブメニューが開きます。

**Shift Light**メニューでシフトランプを設定できます。

# 7 コンビネーションインスツルメント

## 7.26.33 RPM1



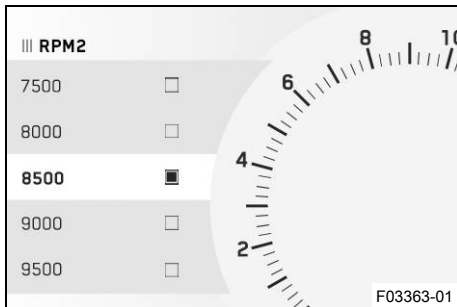
### 条件

- 車両が停止している。
- ODO > 1000 km (621 マイル)。
- メニューが閉じた状態でSETキーを押します。
- UPキーまたはDOWNキーを押し、Settingsをハイライト表示させます。SETキーを押すとメニューが開きます。
- UPキーまたはDOWNキーを押し、Shift Lightをハイライト表示させます。SETキーを押すとサブメニューが開きます。
- UPキーまたはDOWNキーを押し、RPM1をハイライト表示させます。SETキーを押すとサブメニューが開きます。
- UPまたはDOWNキーでメニュー項目を操作します。
- SETボタンを押してRPM1の数値を設定します。

### 参考

エンジン回転数が設定した数値RPM1に達した場合、シフトランプが点滅します。

## 7.26.34 RPM2



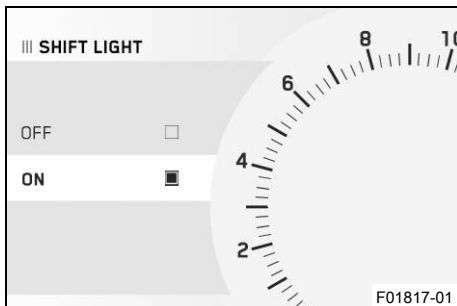
### 条件

- 車両が停止している。
- ODO > 1000 km (621 マイル)。
- メニューが閉じた状態でSETキーを押します。
- UPキーまたはDOWNキーを押し、Settingsをハイライト表示させます。SETキーを押すとメニューが開きます。
- UPキーまたはDOWNキーを押し、Shift Lightをハイライト表示させます。SETキーを押すとサブメニューが開きます。
- UPキーまたはDOWNキーを押し、RPM2をハイライト表示させます。SETキーを押すとサブメニューが開きます。
- UPまたはDOWNキーでメニュー項目を操作します。
- SETボタンを押してRPM2の数値を設定します。

### 参考

エンジン回転数が設定した数値RPM2に達した場合、シフトランプが点滅し色が変わります。

## 7.26.35 Shift Light

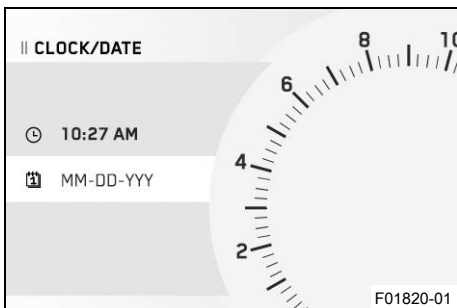
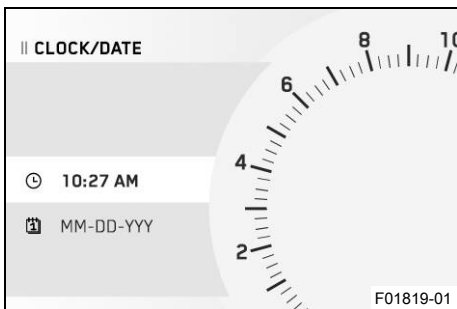
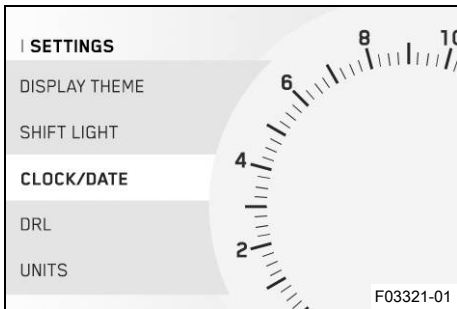


### 条件

- 車両が停止している。
- ODO > 1000 km (621 マイル)。
- メニューが閉じた状態でSETキーを押します。
- UPキーまたはDOWNキーを押し、Settingsをハイライト表示させます。SETキーを押すとメニューが開きます。
- UPキーまたはDOWNキーを押し、Shift Lightをハイライト表示させます。SETキーを押すとサブメニューが開きます。
- UPキーまたはDOWNキーを押し、Shift Lightをハイライト表示させます。SETキーを押すとサブメニューが開きます。
- UPまたはDOWNキーでメニュー項目を操作します。
- SETキーを押してシフトランプをオン/オフします。



## 7.26.36 時刻と日付を設定



### 条件

車両が停止している。

- メニューが閉じた状態で**SET**キーを押します。
- **UP**キーまたは**DOWN**キーを押し、**Settings**を表示させます。**SET**ボタンを押すとメニューが開きます。
- **UP**キーまたは**DOWN**キーを押し、**Clock/Date**をハイライト表示させます。**SET**キーを押すとサブメニューが開きます。

### 時刻を設定する

- **UP**キーまたは**DOWN**キーを押し、時計をハイライト表示させます。
- **SET**ボタンを押します。
  - ✓ 時に下線が表示され点滅します。
- 現在の時になるまで**UP**ボタンまたは**DOWN**ボタンを押します。
- **SET**ボタンを押します。
  - ✓ 分に下線が表示され点滅します。
- 現在の分になるまで**UP**ボタンまたは**DOWN**ボタンを押します。
- **SET**ボタンを押します。
  - ✓ 時計が保存されます。

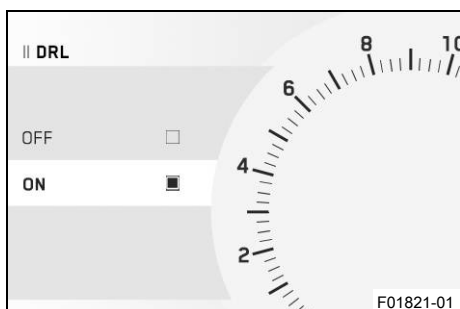
### 日付を設定する

- **UP**キーまたは**DOWN**キーを押し、日付をハイライト表示させます。
- **SET**ボタンを押します。
  - ✓ 日に下線が表示され点滅します。
- 現在の日になるまで**UP**ボタンまたは**DOWN**ボタンを押します。
- **SET**ボタンを押します。
  - ✓ 月に下線が表示され点滅します。
- 現在の月になるまで**UP**ボタンまたは**DOWN**ボタンを押します。
- **SET**ボタンを押します。
  - ✓ 年に下線が表示され点滅します。
- 現在の年になるまで**UP**ボタンまたは**DOWN**ボタンを押します。
- **SET**ボタンを押します。
  - ✓ 日付が保存されます。



# 7 コンビネーションインストルメント

## 7.26.37 DRL



### 条件

- 車両が停止している。
- メニューが閉じた状態で**SET**キーを押します。
- **UP**キーまたは**DOWN**キーを押し、**Settings**をハイライト表示させます。**SET**キーを押すとメニューが開きます。
- **UP**キーまたは**DOWN**キーを押し、**DRL**をハイライト表示させます。**SET**キーを押すとサブメニューが開きます。



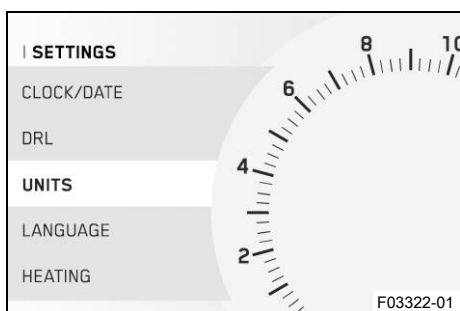
### 警告

**事故の危険性** デイライトは視界が悪い場合ヘッドライトを代替するものではありません。

霧、降雪、雨により視界が極めて悪い場合、デイライトとヘッドライトの自動切り換えがその機能を十分に発揮できない場合があります。

- 常に適切な照明方法が選択されていることを確認してください。
  - 場合によっては走行前に、または静止状態で、ヘッドライトが常に点灯状態であるようにメニューを利用してデイライトをオフにしてください。
  - ロービームが必要にもかかわらずメニュー項目が利用できない場合は、診断ツールでデイライトが無効化されていることを確認してください。(お近くの KTM 正規ディーラーにお問い合わせ下さい。)
  - デイライトに関する法規定に従って下さい。
- **UP**または**DOWN**キーでメニュー項目を操作します。
  - **SET**キーを押してデイライトをオン/オフします。

## 7.26.38 Units

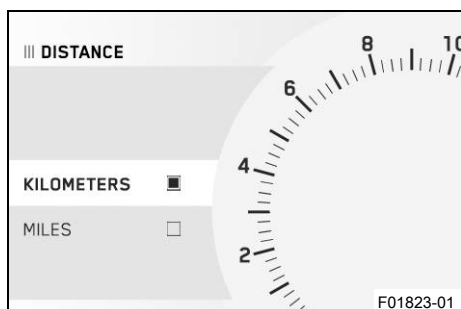


### 条件

- 車両が停止している。
- メニューが閉じた状態で**SET**キーを押します。
- **UP**キーまたは**DOWN**キーを押し、**Settings**をハイライト表示させます。**SET**キーを押すとメニューが開きます。
- **UP**キーまたは**DOWN**キーを押し、**Units**をハイライト表示させます。**SET**キーを押すとサブメニューが開きます。

サブメニュー**Units**では単位の他、様々な値の設定を行うことができます。

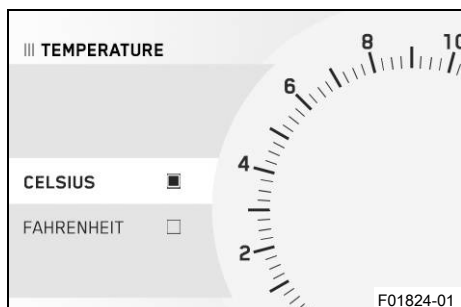
## 7.26.39 Distance



### 条件

- 車両が停止している。
- メニューが閉じた状態で**SET**キーを押します。
- **UP**キーまたは**DOWN**キーを押し、**Settings**をハイライト表示させます。**SET**キーを押すとメニューが開きます。
- **UP**キーまたは**DOWN**キーを押し、**Units**をハイライト表示させます。**SET**キーを押すとサブメニューが開きます。
- **UP**キーまたは**DOWN**キーを押し、**Distance**をハイライト表示させます。**SET**キーを押すとサブメニューが開きます。
- **UP**または**DOWN**キーでメニュー項目を操作します。
- **SET**キーを押すとご希望の単位を確定できます。

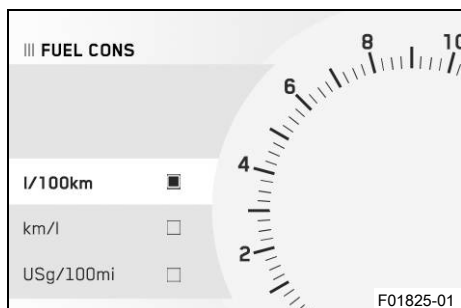
## 7.26.40 Temperature



### 条件

- 車両が停止している。
- メニューが閉じた状態で**SET**キーを押します。
- **UP**キーまたは**DOWN**キーを押し、**Settings**をハイライト表示させます。**SET**キーを押すとメニューが開きます。
- **UP**キーまたは**DOWN**キーを押し、**Units**をハイライト表示させます。**SET**キーを押すとサブメニューが開きます。
- **UP**キーまたは**DOWN**キーを押し、**Temperature**をハイライト表示させます。**SET**キーを押すとサブメニューが開きます。
- **UP**または**DOWN**キーでメニュー項目を操作します。
- **SET**キーを押すとご希望の単位を確定できます。

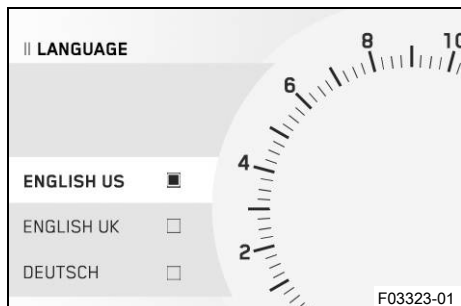
## 7.26.41 Fuel Cons



### 条件

- 車両が停止している。
- メニューが閉じた状態で**SET**キーを押します。
- **UP**キーまたは**DOWN**キーを押し、**Settings**をハイライト表示させます。**SET**キーを押すとメニューが開きます。
- **UP**キーまたは**DOWN**キーを押し、**Units**をハイライト表示させます。**SET**キーを押すとサブメニューが開きます。
- **UP**キーまたは**DOWN**キーを押し、**Fuel Cons**をハイライト表示させます。**SET**キーを押すとサブメニューが開きます。
- **UP**または**DOWN**キーでメニュー項目を操作します。
- **SET**キーを押すとご希望の単位を確定できます。

## 7.26.42 Language



### 条件

- 車両が停止している。
- メニューが閉じた状態で**SET**キーを押します。
- **UP**キーまたは**DOWN**キーを押し、**Settings**をハイライト表示させます。**SET**キーを押すとメニューが開きます。
- **UP**キーまたは**DOWN**キーを押し、**Language**をハイライト表示させます。**SET**キーを押すとサブメニューが開きます。
- **UP**または**DOWN**キーでメニュー項目を操作します。
- **SET**キーを押すとご希望の言語を確定できます。

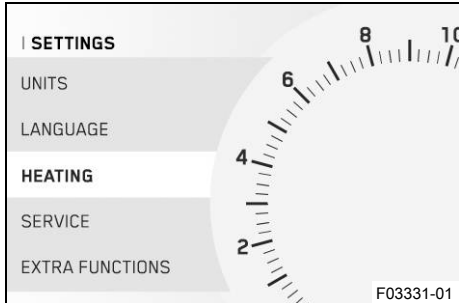
# 7 コンビネーションインストルメント



## 参考

メニュー言語には英語 ( U S )、英語 ( UK )、ドイツ語、イタリア語、フランス語、スペイン語があります。

### 7.26.43 Heating ( オプション機能)



#### 条件

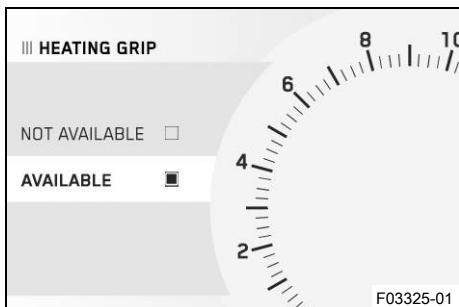
- 車両が停止している。
  - メニューが閉じた状態で**SET**キーを押します。
  - **UP**キーまたは**DOWN**キーを押し、**Settings**をハイライト表示させます。**SET**キーを押すとメニューが開きます。
  - **UP**キーまたは**DOWN**キーを押し、**Heating**をハイライト表示させます。**SET**キーを押すとサブメニューが開きます。
- サブメニュー**Heating**でグリップヒーター、フロントシートのシートヒーター、同乗者用シートヒーターを設定することができます。



## 参考

**Settings**メニューではサブメニュー **Heating**は **Heating Grip**および**Heating Seat**の**Motorcycle**メニューでの視認性のみを制御しています。

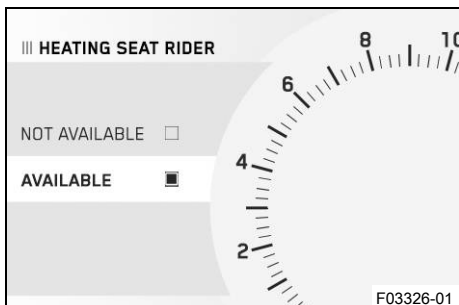
### 7.26.44 Heating Grip ( オプション機能)



#### 条件

- グリップヒーター搭載車。
- 車両が停止している。
- メニューが閉じた状態で**SET**キーを押します。
- **UP**キーまたは**DOWN**キーを押し、**Settings**をハイライト表示させます。**SET**キーを押すとメニューが開きます。
- **UP**キーまたは**DOWN**キーを押し、**Heating**をハイライト表示させます。**SET**キーを押すとサブメニューが開きます。
- **UP**キーまたは**DOWN**キーを押し、**Heating Grip**をハイライト表示させます。**SET**キーを押すとサブメニューが開きます。
- **UP**または**DOWN**キーでメニュー項目を操作します。
- **SET**キーを押してグリップヒーターをオン/オフすることができます。

### 7.26.45 Heating Seat Rider ( オプション機能)

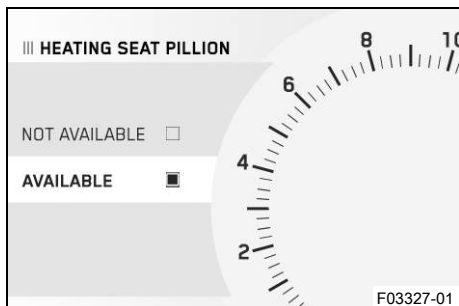


#### 条件

- シートヒーター搭載車。
- 車両が停止している。
- メニューが閉じた状態で**SET**キーを押します。
- **UP**キーまたは**DOWN**キーを押し、**Settings**をハイライト表示させます。**SET**キーを押すとメニューが開きます。
- **UP**キーまたは**DOWN**キーを押し、**Heating**をハイライト表示させます。**SET**キーを押すとサブメニューが開きます。
- **UP**キーまたは**DOWN**キーを押し、**Heating Seat Rider**をハイライト表示させます。**SET**キーを押すとサブメニューが開きます。
- **UP**または**DOWN**キーでメニュー項目を操作します。

- SETキーを押してリアシート用ヒーターをオン/オフすることができます。

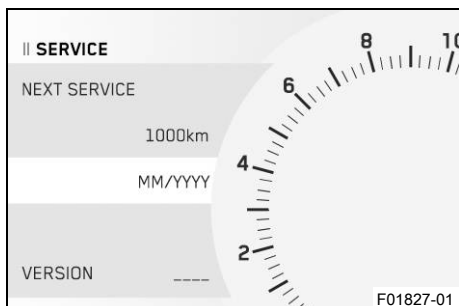
## 7.26.46 Heating Seat Pillion ( オプション機能)



### 条件

- シートヒーター搭載車。
- 車両が停止している。
- メニューが閉じた状態でSETキーを押します。
- UPキーまたはDOWNキーを押し、**Settings**をハイライト表示させます。SETキーを押すとメニューが開きます。
- UPキーまたはDOWNキーを押し、**Heating**をハイライト表示させます。SETキーを押すとサブメニューが開きます。
- UPキーまたはDOWNキーを押し、**Heating Seat Pillion**をハイライト表示させます。SETキーを押すとサブメニューが開きます。
- UPまたはDOWNキーでメニュー項目を操作します。
- SETキーを押して同乗者用シートヒーターをオン/オフすることができます。

## 7.26.47 Service



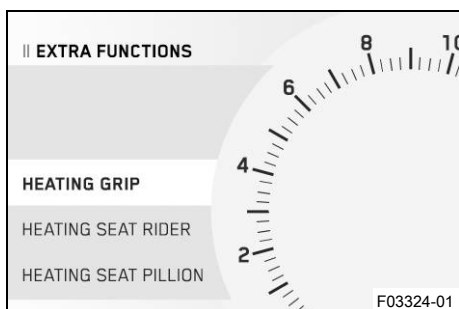
### 条件

- 車両が停止している。
- メニューが閉じた状態でSETキーを押します。
- UPキーまたはDOWNキーを押し、**Settings**をハイライト表示させます。SETキーを押すとメニューが開きます。
- UPキーまたはDOWNキーを押し、**Service**をハイライト表示させます。SETキーを押すとサブメニューが開きます。
- UPボタンまたはDOWNボタンを使って情報項目の間を移動します。

### 参考

残りの走行距離や次のサービス時期までの時間、そして現在インストールされているソフトウェアバージョンが表示されます。

## 7.26.48 Extra Functions



### 条件

- 車両が停止している。
- オプションの追加機能が搭載されている車両。
- メニューが閉じた状態でSETキーを押します。
- UPキーまたはDOWNキーを押し、**Settings**をハイライト表示させます。SETキーを押すとメニューが開きます。
- UPキーまたはDOWNキーを押し、**Extra Functions**をハイライト表示させます。SETキーを押すとサブメニューが開きます。
- UPキーまたはDOWNキーを使って追加機能項目の間を移動します。



### 参考

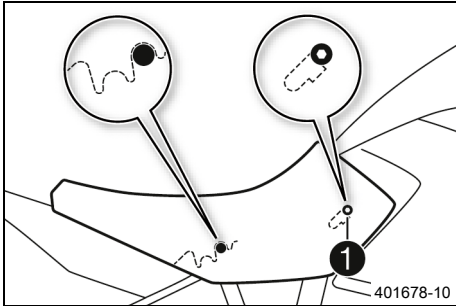
追加機能オプションがリストアップされます。  
お手持ちの製品でご使用できる最新  
のKTM PowerPartsおよびソフトウェアについては、  
KTM のホームページをご覧ください。

---

## 8.1 フロントシートを調節する

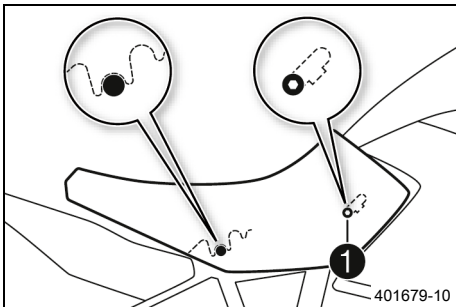
### 準備作業

- リアシートを取り外します。(📖 頁 85)
- フロントシートを取り外します。(📖 頁 86)



### ケース 1

- フロントシートのくぼみ①をフューエルタンクにかけ、フロントシートを下に押しながら同時に前に向かってずらします。



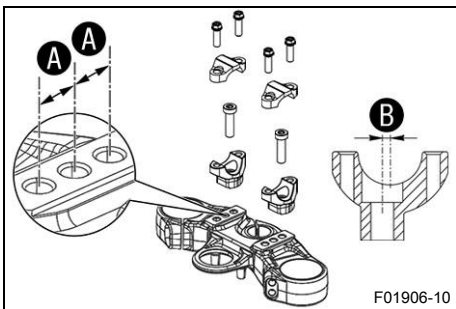
### ケース 2

- フロントシートのくぼみ①をフューエルタンクにかけ、フロントシートを上げながら前にずらします。
- 最後にフロントシートが正しく取り付けられているかどうかを点検します。

### その後の作業

- リアシートを取り付けます。(📖 頁 86)

## 8.2 ハンドルバーの位置



アッパートリプルクランプには **A** の間隔で 3 つの穴があいています。ハンドルアダプターの穴は中心から **B** の距離に配置されています。

穴間の距離 <b>A</b>	15 mm
穴間の距離 <b>B</b>	3.5 mm

ハンドルバーは 6 つの異なるポジションニングで取り付けられます。これにより、運転者に最適なポジションニングを選ぶことができます。

## 8.3 ハンドルバーの位置を調節する

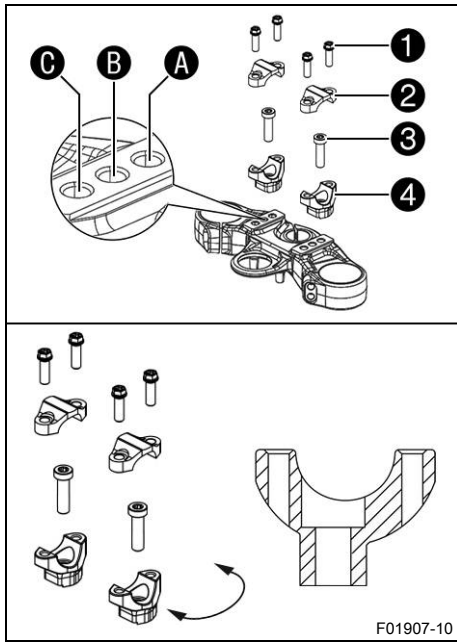


### 警告

**事故の危険性** 修正されたハンドルバーは安全面での危険を提示するものです。

ハンドルバーが曲げられたり、伸ばされたりすると素材が老化します。その結果ハンドルバーが折れてしまうこともあります。

- ハンドルバーが破損または曲がってしまった場合、ハンドルバーを交換してください。



- スクリュー①を外します。ハンドルバーのクランプ②を取り外します。スクリュー③で作業ができるよう、ハンドルバーの位置を調整します。



### 参考

部品を損傷させないよう、カバーをかけて保護します。ケーブル、ホース、ワイヤー類は折り曲げないで下さい。

- スクリュー③を外します。ハンドルアダプター④を取り外します。
- ハンドルアダプターを、好みに応じてA、BまたはCの位置にセットします。スクリュー③を取り付け、しっかりと締めます。

### 規定

左右のハンドルアダプターを同じポジションになるように取り付けて下さい。

ハンドルアダプター用スクリュー	M10	45 Nm	<b>Loctite®243™</b>
-----------------	-----	-------	---------------------

- ハンドルバーの位置を調整します。



### 参考

ケーブル、ホース、ワイヤー類が正しい位置に納まっているか注意して下さい。

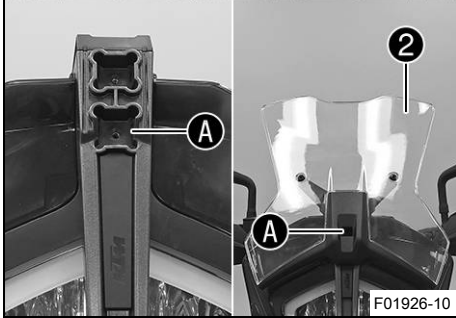
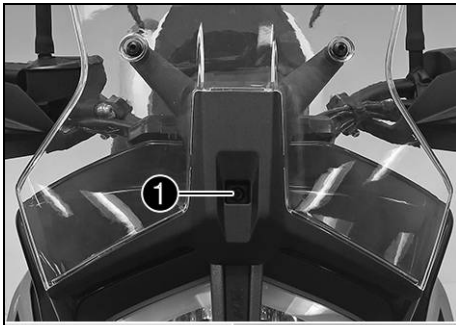
- ハンドルバーのクランプの位置を調整します。スクリュー①を取り付け、均等にしっかりと締めます。

### 規定

ハンドルバークランプ用スクリュー	M8	20 Nm	
------------------	----	-------	--



8.4 ウインドシールドを調節する

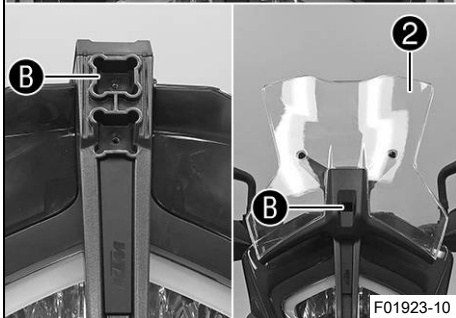
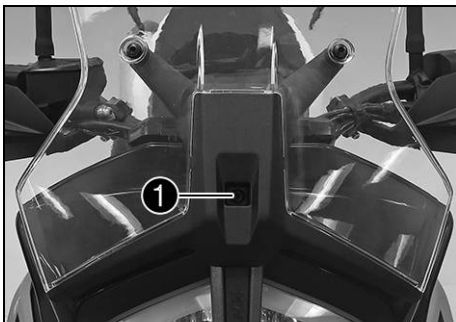


ケース 1

- スクリュー①を外し、ウインドシールド②を取り外します。
- ウインドシールドを②を下の窪みAの位置に調整します。
- スクリュー①を取り付け、しっかりと締めます。

規定

シャーシ用その他のスクリュー	M5	5 Nm
----------------	----	------



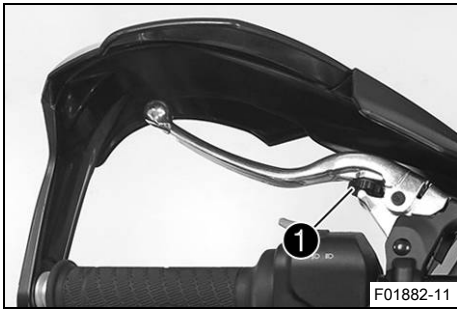
ケース 2

- スクリュー①を外し、ウインドシールド②を取り外します。
- ウインドシールドを②を上 の窪みBの位置に調整します。
- スクリュー①を取り付け、しっかりと締めます。

規定

シャーシ用その他のスクリュー	M5	5 Nm
----------------	----	------

## 8.5 クラッチレバーの基本位置を調整する



- クラッチレバーを前に押します。
- クラッチレバーの基本位置を調節スクリュー①で手の大きさに合わせて調整します。

### **i** 参考

調節スクリューを時計回りに回すと、クラッチレバーはハンドルバーに近づきます。  
調節スクリューを時計と反対回りに回すと、クラッチレバーはハンドルバーから遠ざかります。  
設定範囲には限界があります。  
調節スクリューは手で回し、無理な力をかけないで下さい。  
調節作業は運転中に行わないで下さい。

## 8.6 ブレーキレバーの基本位置を調整する

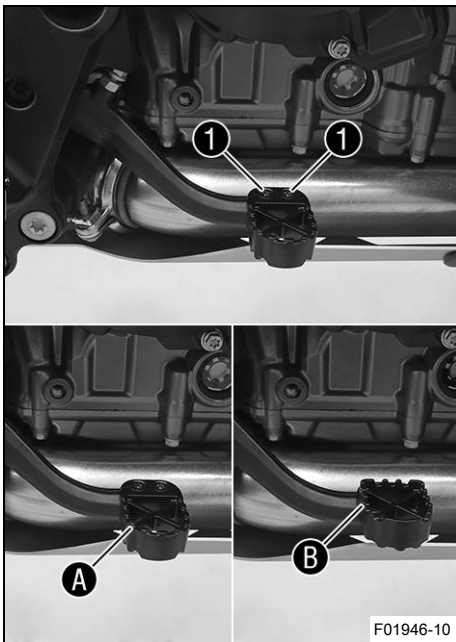


- ブレーキレバーを前に押します。
- ブレーキレバーの基本位置を調節スクリュー①で手の大きさに合わせて調整します。

### **i** 参考

調節スクリューを時計回りに回すと、ブレーキレバーはハンドルバーに近づきます。  
調節スクリューを時計と反対回りに回すと、ブレーキレバーはハンドルバーから遠ざかります。  
設定範囲には限界があります。  
調節スクリューは手で回し、無理な力をかけないで下さい。  
調節作業は運転中に行わないで下さい。

8.7 ブレーキペダルのステップを調節する



- ブレーキペダルのステップと一緒にスクリュー①を外します。
- ブレーキペダルのステップを、好みに応じてAまたはBの位置にセットします。スクリュー①を取り付け、しっかりと締めます。

規定

ブレーキペダル ステップ用スク リュー	M5	10 Nm  Loctite®243™
---------------------------	----	---------------------------

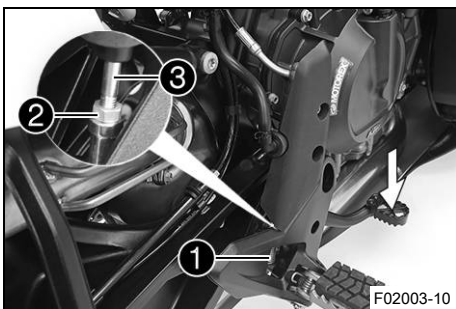
8.8 ブレーキペダルの基本位置を調整する



**警告**

**事故の危険性** ブレーキシステムは過熱状態では稼動しません。ブレーキペダルに遊びがないと、ブレーキシステム内で後輪ブレーキに圧力がかかります。

- ブレーキペダルの遊びを規定値に従って設定してください。



- スプリング①を外します。
- ナット②を緩めます。



**ヒント**

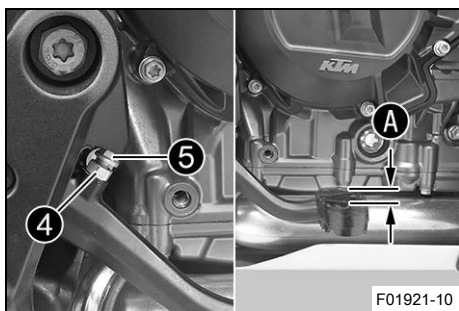
その際ブレーキペダルを下に押すと作業しやすくなります。

- ブレーキペダルの基本位置を設定するためにプッシュロッド③を回します。



**参考**

設定範囲には限界があります。ねじ部分が最低5回転分ねじ込まれている状態でなければなりません。プッシュロッドをボールジョイントに向かってねじ込むとブレーキペダルは下がります。プッシュロッドをボールジョイントから緩めるとブレーキペダルは上がります。



- ナット④を緩め、スクリュー⑤を回し、好みの遊びAが得られるように調節します。場合によっては、ブレーキペダルの基本位置を調整します。

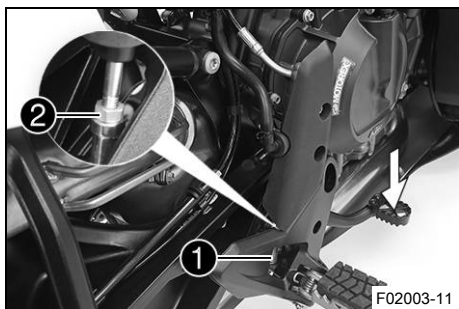
規定

ブレーキペダルの遊び	3 ... 5 mm
------------	------------

- スクリュー⑤を動かないように押さえ、ナット④をしっかりと締めます。

規定

シャーシ用その他のナット	M6	10 Nm
--------------	----	-------



- ナット②をしっかりと締めます。

規定

ブレーキペダルのプッシュロッド用ナット	M6	6 Nm
---------------------	----	------



### ヒント

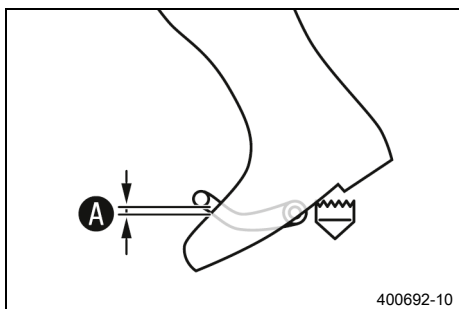
その際ブレーキペダルを下に押すと作業しやすくなります。

- スプリング①を取り付けます。

## 8.9 シフトレバーの基本位置を点検する

### 参考

走行中、シフトレバーが基本位置にある状態でブーツに触れることがないように調節して下さい。シフトレバーが常時ブーツに接触していると、ギアに過剰な負荷がかかり、クイックシフター・プラス (オプション) の不具合が発生することがあります。



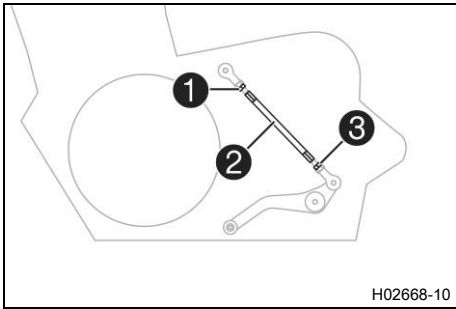
- ライディングポジションで車両に乗り、ブーツの上端とシフトレバーの距離Aを確認します。

シフトレバーからブーツ上端までの距離	10 ... 20 mm
--------------------	--------------

» 距離が規定通りになっていない:

- シフトレバーの基本位置を調整します。👉 (📖 頁 67)

8.10 シフトレバーの基本位置を調整する



- スタッドボルト②が動かないように押さえながら、ナット①を緩めます。
- スタッドボルト②が動かないように押さえながら、ナット③を緩めます。

**i** **参考**  
ナット③は左ネジです。

- スクリューロッド②を回し、シフトレバーを調節します。

**i** **参考**  
設定範囲には限界があります。  
シフト操作の際にシフトレバーが車両の他の部品に触れないように調節して下さい。

- スタッドボルト②が動かないように押さえながら、ナット③をしっかりと締めます。

規定

シフトロッド用ナット	M6LH	6 Nm
------------	------	------

- スタッドボルト②が動かないように押さえながら、ナット①をしっかりと締めます。

規定

シフトロッド用ナット	M6	6 Nm
------------	----	------



## 9.1 初めて運転操作を行う際の注意



### 危険

- 事故の危険性** 運転能力および判断力が十分でない運転者は、自身および他の方への危険となります。
- アルコール、薬物、薬品などにより運転能力が低下している場合、車両の運転をしないでください。
  - 肉体的、精神的に運転能力が低下している場合も、車両の運転をしないでください。



### 警告

- 怪我の危険性** 不足および欠陥のある保護服の着用は安全面での危険性を高めます。
- 走行時は必ずヘルメット、ブーツ、手袋、プロテクターが取り付けられたズボンやジャケットなどの保護服を着用してください。
  - 損傷等がなく、かつ法規制に従った保護服を常に着用して下さい。



### 警告

- 転倒の危険性** 前輪と後輪のトレッドが異なると走行性能に影響を及ぼします。異なるトレッドのタイヤを使用すると車両のコントロールが大幅に難しくなります。
- 前輪と後輪に同様のトレッドのタイヤが装着されていることを確認してください。



### 警告

- 事故の危険性** 承認または推奨されていないタイヤならびに車輪を装着した場合、走行性能が損なわれます。
- KTM により承認および推奨された適切な速度記号のタイヤならびに車輪のみを使用して下さい。



### 警告

- 事故の危険性** 新しいタイヤのグリップ力はまだ十分なものではありません。新しいタイヤの接地面はまだ十分に慣らされていません。
- 新しいタイヤの場合は傾きを変えて慎重に慣らし走行を行って下さい。  
慣らし走行期間 200 km



### 警告

- 事故の危険性** ブレーキシステムは過熱状態では稼動しません。ブレーキペダルに足をかけたままにすると、ブレーキパッドが常にこすられる状態になります。
- ブレーキを作動しないときはブレーキペダルに足をかけないで下さい。



### 参考

運転の際は、過度の騒音で周辺の人々の迷惑にならないよう心がけましょう。

- KTM 正規ディーラーで納車前検査がきちんと行われた事を確認して下さい。
  - ✓ 納車の際、納車証明書がお客様に手渡されます。
- 初めて運転をする前に、オーナーズマニュアルを全頁よく読んで下さい。
- 操作各部の扱いに慣れて下さい。
- クラッチレバーの基本位置を調整します。(📖 頁 64)
- ブレーキレバーの基本位置を調整します。(📖 頁 64)
- ブレーキペダルの基本位置を調整します。👉(📖 頁 65)
- ツーリングに出る前に、まず適切な路面で走行性能に慣れて下さい。一度できるだけゆっくり走る練習もし、車両の感覚をつかむようにして下さい。
- 走行中は両手でしっかりとハンドルバーを握り、フットレストに両足をのせて下さい。
- 慣らし運転をします。(📖 頁 69)

## 9.2 慣らし運転をする

- 慣らし運転の段階では、以下に挙げたエンジン回転数を超えないようにして下さい。

規定

エンジンの最高回転数	
走行開始から最初の: 1,000 km	6,500 rpm
右の距離走行後: 1,000 km	9,800 rpm

- フルスロットルでの運転は避けて下さい！



### 参考

初回サービス実施前にエンジンの最高回転数を超えると、シフトランプが点滅します。



## 9.3 車両に荷物を積む



### 警告

**事故の危険性** 総重量および軸重は走行性能に影響を与えます。

総重量は運転準備が整い満タンに給油した状態の車両、保護服とヘルメットを着用したライダーと同乗者、荷物の総重量です。

- 最大許容総重量と最大許容軸重を遵守して下さい。



### 警告

**事故の危険性** ケースまたはタンクバッグを不適切に固定すると走行性能に影響を与えます。

- ケースやバッグはメーカーの規定に従った方法で固定して下さい。



### 警告

**事故の危険性** 荷物を載せ高速で走行すると走行性能が変わります。

- 積載量に適した速度で走行して下さい。
- 車両にハードケースやその他荷物を載せている場合は、通常よりゆっくり走行して下さい。  
荷物を載せている場合の最高速度 150 km/h



### 警告

**事故の危険性** キャリアシステムの過負荷は破損の原因となります。

- ケースを取り付ける場合はメーカー規定の最大積載量を確認して下さい。



### 警告

**事故の危険性** 荷物のずれは視認性に影響を及ぼします。

テールライトが覆われてしまうと、暗がりでは特に後続の車両に認識されにくくなります。

- 車両に載せている荷物の固定状態を定期的に点検して下さい。



### 警告

**事故の危険性** 積載量が増加すると走行性能に影響を及ぼし制動距離が長くなります。

- 積載量に適した速度で走行して下さい。



### 警告

**事故の危険性** 荷物のずれは走行性能に影響を及ぼします。

- 車両に載せている荷物の固定状態を定期的に点検して下さい。

## 9 運転操作の前に



### 警告

**火災の危険性** 熱せられた排気装置により荷物に燃焼の危険があります。

- 荷物を載せる際は、熱せられた排気装置により燃焼したり焦げたりしないように固定して下さい。

- 荷物を積む場合は、できるだけ車両の中心にしっかりと固定し、前輪と後輪に均等に重量がかかるように注意して下さい。
- 最大許容総重量と最大許容軸重を遵守して下さい。

規定

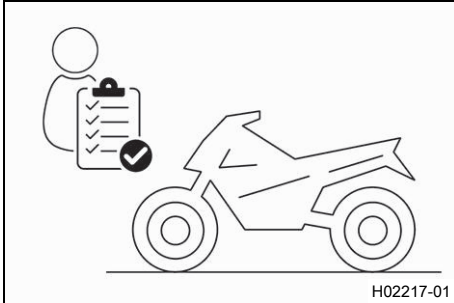
最大許容重量	450 kg
前方許容最大軸重	175 kg
最大許容軸重 後輪	275 kg



10.1 運転操作の前に必ず行う点検・メンテナンス作業

**i** 参考

走行前には必ず車両の状態を点検し、道路交通で安全に使用できる事を確認して下さい。  
運転の際は車両が技術的に完璧な状態でなければなりません。



- エンジンオイルのレベルを点検します。( 頁 140)
- 前輪ブレーキのブレーキフルードのレベルを点検します。( 頁 108)
- 後輪ブレーキのブレーキフルードのレベルを点検します。( 頁 110)
- 前輪ブレーキのブレーキパッドを点検します。( 頁 109)
- 後輪ブレーキのブレーキパッドを点検します。( 頁 112)
- ブレーキシステムの機能を点検します。
- 調節タンクのクーラントのレベルを点検します。( 頁 135)
- チェーンの汚れを点検します。( 頁 87)
- チェーンの遊びを点検します。( 頁 88)
- タイヤの状態を点検します。( 頁 119)
- タイヤ空気圧を点検します。( 頁 120)
- 操作各部が正しく調節されているか、スムーズに操作できるかを点検します。
- 電装系部品の機能を点検します。
- 荷物が正しく固定されているかを点検します。
- 車両に乗り、バックミラーの位置を確認します。
- 燃料の残量を確認します。

10.2 車両を始動する



**危険**

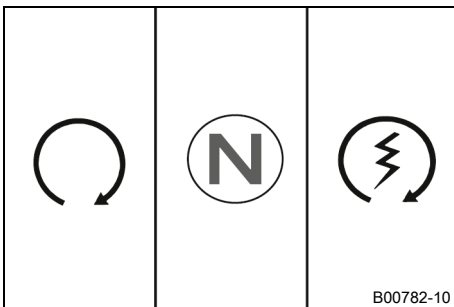
**中毒の危険性** 排気ガスは毒性があり、意識不明や死亡の原因となる恐れがあります。

- エンジンを稼働する際は十分に換気が行えるように常に確認してください。
- 閉め切った室内でエンジンを始動したり、稼働状態にする場合は、適切な排気ガス抽出装置を使用してください。

**情報**

**エンジン損傷** 冷えた状態でのエンジンを高回転させるのは、エンジンの耐久性に悪影響を与えます。

- 常に低回転数でエンジンを暖機してください。



- 車両をサイドスタンドから外し、車両に乗ります。
- スタートキー / エマージェンシーOFFスイッチが中央位置 ○にあることを確認します。
- イグニッションキーをの位置 ○に回してイグニッションをオンにします。

規定

コントロールユニットの通信の不具合を避けるために、イグニッションのオフとオンを連続して行わないでください。

- ✓ イグニッションをオンにすると、約 2 秒間、燃料ポンプの作動音が聞こえます。同時にコンビネーションインスツルメントの機能チェックが実行されます。
- ✓ ABS 警告ランプが点灯し、発進するとまた消えます。
- ギアをニュートラル **N**に入れます。
- ✓ 緑のニュートラルインジケータランプ **N**が点灯します。
- スタートキー / エマージェンシー OFF スイッチを押して上位置 ③に入れます。

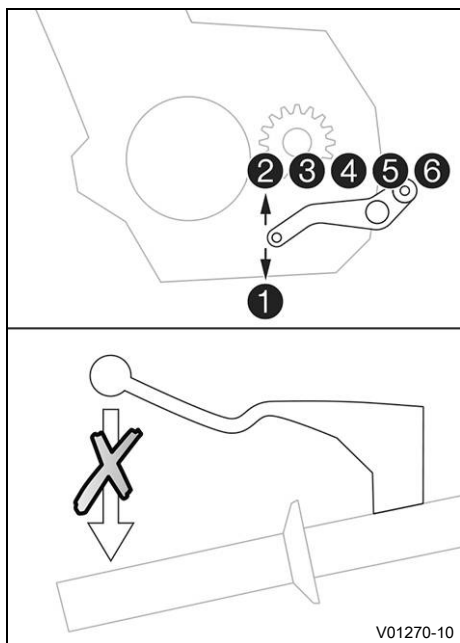
## **i** 参考

コンビネーションインスツルメントの機能点検が完了してからスタートキー / エマージェンシー OFF スイッチを下位置 ③に押しします。  
始動の際、スロットルは開かないで下さい。  
スタートキー / エマージェンシー OFF スイッチを下位置 ③で最長 5 秒間押し続けます。再度試みるまで最低 5 秒は間隔をおいて下さい。  
本モデルには安全スタートシステムが装備されています。ギアがニュートラルに入っているか、またはニュートラル以外のポジションでクラッチレバーが握られている場合にのみ、エンジンの始動が可能です。サイドスタンドが開いた状態でギアを入れ、クラッチレバーを離すとエンジンが停止します。

## 10.3 発進

- クラッチレバーを握り、ギアを 1 速に入れ、クラッチレバーをゆっくりと離しながら慎重にスロットルを開いていきます。

## 10.4 クイックシフター・プラス ( オプション )



Quickshifter + がオンになっていると、クラッチを操作することなく上下にシフトすることができます。スロットルグリップを閉じる必要がないので、ギアシフトを中断することなく行うことができます。クイックシフター・プラスはシフトシャフト位置に応じシフトが行われるべきか否かを感知し、エンジン制御に適切な信号を送ります。コンビネーションインスツルメントでクイックシフター・プラスが無効な場合は通常通りクラッチを作動しなければなりません。

10.5 シフト操作と走行



**警告**

**事故の危険性** 左右の負荷バランスが突然変わると、車両は制御不可能な状態に陥ることがあります。

- 突然負荷バランスを変更したり強くブレーキを作動することは避けてください。
- 道路状態の変化に合わせた速度で走行して下さい。



**警告**

**事故の危険性** エンジンが高回転中にシフトダウンすると後輪がロックされ、エンジンが過回転します。

- エンジン回転数が高いままシフトダウンする事は避けて下さい。



**警告**

**事故の危険性** イグニッションキーが誤った位置にある場合、不具合の原因となります。

- 走行中にイグニッションキーの位置を変えないで下さい。



**警告**

**事故の危険性** 走行中に車両での設定作業を行うと交通状況に集中することができません。

- 全ての設定作業は車両静止状態で行ってください。



**警告**

**人体への危険** 同乗者が誤った行動をとった場合、車両から落下する危険があります。

- 同乗者がリアシートに正しく乗り、足を同乗者用のフットレストに置いて、ライダーあるいはサイドグリップにしっかりつかまっていることを確認してください。
- 同乗者の最低年齢に関する国内の規則を守って下さい。



**警告**

**事故の危険性** 危険な走行は大きな危険の原因となります。

- 交通規則を守り、危険をできるだけ早く認識できるよう、安全かつ予見的な運転を心がけて下さい。



**警告**

**事故の危険性** タイヤが冷えた状態である場合グリップ力が低下します。

- タイヤが作動温度に達するまで、最初の数キロメートルは常に慎重に速度を抑えて走行して下さい。



**警告**

**事故の危険性** 新しいタイヤのグリップ力はまだ十分なものではありません。

新しいタイヤの接地面はまだ十分に慣らされていません。

- 新しいタイヤの場合は傾きを変えて慎重に慣らし走行を行って下さい。  
慣らし走行期間 200 km



**警告**

**事故の危険性** 総重量および軸重は走行性能に影響を与えます。

総重量は運転準備が整い満タンに給油した状態の車両、保護服とヘルメットを着用したライダーと同乗者、荷物の総重量です。

- 最大許容総重量と最大許容軸重を遵守して下さい。



**警告**

**事故の危険性** 荷物のずれは走行性能に影響を及ぼします。

- 車両に載せている荷物の固定状態を定期的に点検して下さい。



## 警告

**事故の危険性** 転倒した場合、車両には一瞥で確認できる以上に大きな破損がある場合があります。

- 転倒後は初運転操作の前に実施するものと同様の点検を行って下さい。

## 情報

**エンジン損傷** フィルターを通さずに吸い込んだ空気は、エンジンの耐久性に悪影響を与えます。

エアフィルターがないと埃や汚れがエンジンに侵入します。

- 車両はエアフィルターがある状態でのみ使用して下さい。

## 情報

**エンジン損傷** 過熱でエンジンが損傷します。

- クーラント温度の警告表示が点灯したら、すぐに他の交通の妨げにならないように停車して下さい。
- エンジンと冷却システムの温度が下がるまでお待ち下さい。
- 冷却システムの温度が下がった時に、クーラントのレベルを調節ならびに調整して下さい。

## 情報

**ギアの破損** Easy Shift を誤って使用するとギアに損傷をもたらします。

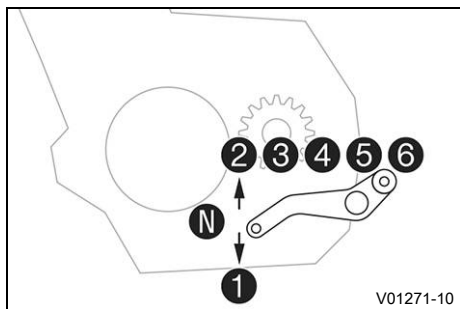
コンビネーションインストルメント上で機能が有効化された場合にのみ Easy Shift を使用することができます。クラッチレバーが引かれている場合、Easy Shift は作動しません。

- Easy Shift は指定され許可されている回転域のみで使用して下さい。



## 参考

作動時に異常なノイズが発生する場合は、交通規制に従った方法で速やかに停車し、エンジンを停止し、認可を受けている KTM 正規ディーラーに連絡して下さい。






- 状況 (勾配や走行状況など)に応じてシフトアップできます。
- スロットルを閉じ、同時にクラッチレバーを握り、次のギアに入れ、クラッチレバーを離してスロットルを開きます。



## 参考

6つの前進ギアのポジションは図の通りです。ニュートラル/アイドルは1速と2速の間にあります。1速は発進または登り坂で使用するギアです。作動温度に達したら温度表示のゲージが5つ点灯します。

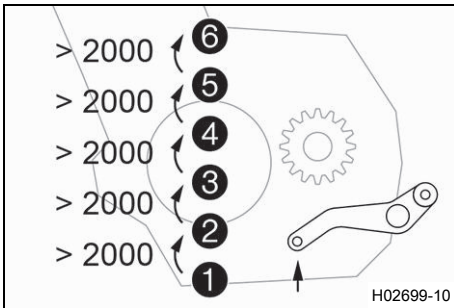
- スロットルグリップを全開にして最高速度に達したら、スロットルを $\frac{3}{4}$ まで戻します。ほとんど減速する事なく燃費を大幅に抑える事ができます。
- 常に車道や天候状態に合わせてスロットルを開くようにして下さい。特にカーブではシフトチェンジをせず、細心の注意を払ってスロットルを開くようにして下さい。
- シフトダウンするには、必要に応じてブレーキをかけながらスロットルを閉じます。
- クラッチレバーを握り、低いギアに入れ、クラッチレバーをゆっくりと離しながらスロットルを開くか、再度ギアチェンジします。
- 例えば交差点でエンストしてしまった場合は、クラッチレバーを引き、スタートキー/エマージェンシーOFFスイッチを下位置③に押すだけです。ギアをニュートラルに入れる必要はありません。

- しばらくアイドルリングや停止状態が続く場合は、エンジンを停止します。
- 走行中にオイル圧力警告ランプ  が点灯し始めたら、すぐに停止し、エンジンを切って下さい。KTM 正規ディーラーに連絡して下さい。
- 走行中に不具合インジケータランプ  が点灯し始めたら、できるだけ早く KTM 正規ディーラーに連絡して下さい。
- 走行中に警告全般を示すランプ  が点灯すると、ディスプレイにメッセージが表示されます。

**i** 参考

特に重要なメッセージについては、メニューWarningに保存されます。

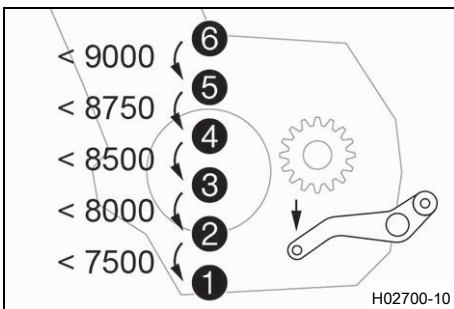
- コンビネーションインストルメントで凍結警告が表示されると、道路が凍結している恐れがあります。道路状態の変化に合わせた速度で走行して下さい。
- コンビネーションインストルメントでクイックシフター・プラス (オプション) がオンになっている場合、規定された回転域でクラッチレバーを引くことなくシフトアップすることができます。



**i** 参考

シフトアップ前の最低エンジン回転数は図に RPM の単位で示されています。スロットルグリップ位置を変えることなくシフトレバーを最後までしっかりと引きます。

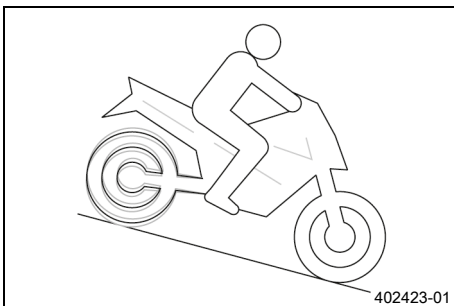
- コンビネーションインストルメントでクイックシフター・プラス (オプション) がオンになっている場合、規定された回転域でクラッチレバーを引くことなくシフトダウンすることができます。



**i** 参考

シフトダウン前の最低エンジン回転数は図に RPM の単位で示されています。スロットルグリップ位置を変えることなくシフトレバーを最後までしっかりと押します。

10.6 MSR(オプション)



このMSRはエンジン制御の機能 (オプション) です。エンジンブレーキの作用が大きくなると、MSRが直進走行中に後輪をブロックしたり、車輪が傾いた状態で滑るのを防ぎます。後輪がスリップするのを防ぐために、絶対に必要なだけMSRがスロットルバルブを開きます。このMSRは摩擦係数が低減した路面でアンチホッピングクラッチを開く際に使用されます。走行安全性をさらに向上させるために、MSRは勾配に応じて異なります。



## 参考

ABS モードOffroadがオンの場合、MSRは作動しません。

### 10.7 ブレーキをかける。



#### 警告

**事故の危険性** 水分や汚れはブレーキシステムに影響を及ぼします。

- ブレーキパッドとブレーキディスクを乾燥させ汚れを落とすために何度か慎重にブレーキをかけてください。



#### 警告

**事故の危険性** 前輪または後輪ブレーキで圧点が安定していない場合、ブレーキ性能が低下します。

- ブレーキシステムを点検し、問題を解決するまでは車両を走行させないでください。(お近くのKTM正規ディーラーにお問い合わせ下さい。)



#### 警告

**事故の危険性** ブレーキシステムは過熱状態では稼働しません。

ブレーキペダルに足をかけたままにすると、ブレーキパッドが常にこすられる状態になります。

- ブレーキを作動しないときはブレーキペダルに足をかけないで下さい。



#### 警告

**事故の危険性** 総重量が高くなると制動距離が長くなります。

- 同乗者や荷物を乗せている場合は、制動距離が長くなる事にご注意下さい。



#### 警告

**事故の危険性** 路上の撒き塩はブレーキシステムに影響を与えます。

- ブレーキパッドとブレーキディスクから撒き塩を落とすために何度か慎重にブレーキをかけてください。



#### 警告

**事故の危険性** ABSは特定の状況によって制動距離を伸ばすことがあります。

- 走行状態や路面状況に応じて適切にブレーキをかけてください。



#### 警告

**事故の危険性** ブレーキを強くかけすぎると車輪がロックします。

ABSはスイッチが入れられてはじめてその効果を発揮することができます。

- この安全機能を利用するために、ABSはオンの状態を維持してください。



#### 警告

**事故の危険性** 後輪はエンジンブレーキでロックされることがあります。

- 緊急ブレーキやフルブレーキをかける場合、または地面が滑りやすい場所でブレーキをかける場合はクラッチを引いてください。



#### 警告

**事故の危険性** 運転支援システムは物理的に可能な範囲内で転倒の確率を抑えるためのものです。

重い荷物の積載、道路舗装の変化、急勾配での発進、クラッチを切らないままのフルブレーキなど極限の走行状態では運転支援が行えない場合があります。

- 道路の状況、運転能力に応じた走行方法で運転しましょう。

- ブレーキをかけるにはスロットルを閉じ、前輪ブレーキと後輪ブレーキを同時に作動します。



**参考**

ABSにより、フルブレーキングではもちろん、砂地、雨で濡れた地面やスリップしやすい場所でグリップ力が低下している場合にも、車輪のロックを心配する事なく制動力をフルに活用できます。



**警告**

**事故の危険性** 斜面や横方向に地面が傾斜している場合、可能な減速力を最大限に発揮することはできません。

- 可能な場合、カーブ開始前にブレーキングを終了してください。

- ブレーキをかけるプロセスは必ずカーブが始まる前までに終了させます。その際、速度に合わせてシフトダウンして下さい。
- 長い下り坂ではエンジンブレーキを利用して下さい。エンジンブレーキを利用するには、エンジンが過回転しないよう注意しながら1段か2段シフトダウンします。これによりブレーキをかける回数があるかに減り、ブレーキシステムが過熱するのを防ぐ事ができます。



**10.8 停止と駐車**



**警告**

**人体への危険** 常識のない行動をとる人物は自身および他の方への危険となります。

- エンジン稼働中には決して車両から目を離さないでください。
- 権限のない人物が車両に近づかないよう注意してください。
- 車両を放置する場合はハンドルをロックし、イグニッションキーを抜いてください。



**警告**

**火傷の危険性** 一部の部品は運転中非常に熱くなります。

- 車両部品が冷めるまで排気装置、ラジエーター、エンジン、ダンパー、ブレーキシステムなどの部品には触らないでください。
- 車両部品を十分に冷ましてから作業を実行してください。

**情報**

**部品の損傷** 誤った方法で駐車を行った場合、車両が破損する恐れがあります。

車両が動いたり倒れたりした場合、大きな破損につながる恐れがあります。

車両を立てる部品はその車両重量のみを考慮して設計されています。

- 車両は安定した平らな地面の上に立ってます。
- 車両がスタンド一本で駐車されている場合、車両に誰も乗っていないことを確かめて下さい。

**情報**

**火事の危険** 高温になった車両部品は火傷や爆発の危険となります。

- 可燃性がある、または爆発の危険がある物付近に車両を設置しないでください。
- 車両を十分に冷ましてから、車両にカバーをかけてください。

- 車両にブレーキをかけます。
- ギアをニュートラル **N** に入れます。
- イグニッションキーをの位置 に回してイグニッションをオフにします。

## **i** 参考

エンジンをエマージェンシーOFFスイッチで停止し、イグニッションがまだ作動している状態では、大部分の電装系部品への電源供給が中断されません。これにより12Vバッテリーが放電します。エンジンは必ずイグニッションで停止し、エマージェンシーOFFスイッチは非常の場合にのみ使用するようにして下さい。

- 車両を安定した地面の上に駐車します。
- 足でサイドスタンドを前に押し完全に開き、車両の重量をかけます。
- ハンドルバーを左に切り、イグニッションキーを⊗の位置で押し込み、Ⓔの位置まで回し入れてハンドルをロックします。ハンドルを少し左右に動かすとロックがはまりやすくなります。イグニッションキーを抜きます。

## 10.9 輸送

### 情報

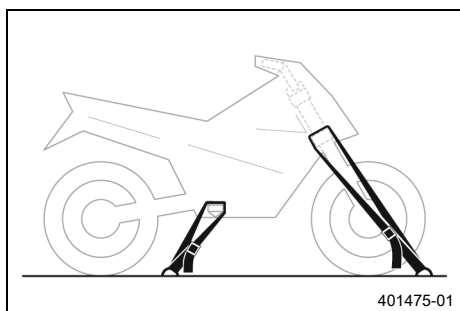
**損傷の危険性** 駐車中の車両が動き出たり倒れる恐れがあります。

- 車両は安定した平らな地面の上に立てます。

### 情報

**火事の危険** 高温になった車両部品は火傷や爆発の危険となります。

- 可燃性がある、または爆発の危険がある物付近に車両を設置しないでください。
- 車両を十分に冷ましてから、車両にカバーをかけてください。



- エンジンを停止します。
- ラッシングベルトか適切な固定器具で、車両が倒れたり動いたりしないよう固定します。

## 10.10 燃料を給油する



### 危険

**火事の危険** 燃料は可燃性です。

フューエルタンク内の燃料は熱により膨張し、溢れ出てしまうことがあります。

- 炎や火のついたタバコの近くで車両に給油しないでください。
- 給油の際にはエンジンを停止してください。
- 特に車両部品に燃料がこぼれることがないように注意してください。
- こぼれた燃料はすぐに拭き取ってください。
- 給油の際には燃料給油に関する注意事項を参照してください。





**警告**

**中毒の危険性** 燃料は毒性で、健康に害を及ぼします。

- 燃料が皮膚、目、衣服に接触しないよう注意してください。
- 燃料を飲み込んでしまった場合、即座に受診してください。
- 気化した燃料を吸い込まないでください。
- 接触した部分の肌は即座に多量の水で洗ってください。
- 燃料が目にはいつてしまった場合、速やかに水で洗い落とし、受診してください。
- 燃料が衣服に付着した場合、衣服を取り替えてください。

**情報**

**部品の損傷** 低品質の燃料を使用すると燃料フィルターが早期に詰まってしまいます。

国や地域によっては入手可能な燃料の品質が不十分であったり、また多くの不純物が混入していることがあります。その結果燃料システムで問題を引き起こす事があります。

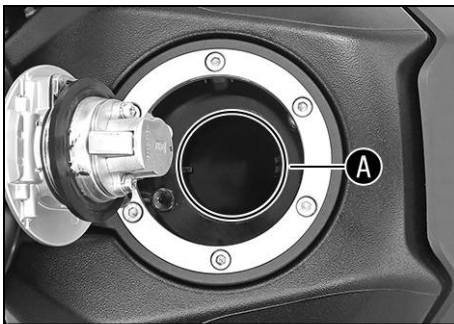
- 指定された規格に適合し不純物の少ない燃料のみを使用してください。(お近くの KTM 正規ディーラーにお問い合わせ下さい。)



**情報**

**環境汚染** 燃料の不適切な取り扱いは、環境汚染の原因となります。

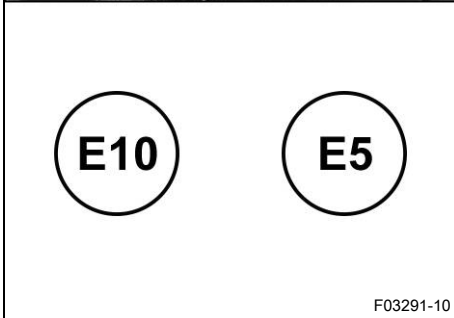
- 燃料を地下水、土壌、下水道に流してはいけません。



- エンジンを停止します。
- フィラーキャップを開けます。(📖 頁 20)
- 注入口の下端 **A** を超えないよう注意しながらフューエルタンクに燃料を注ぎます。

フューエルタンク総容量 (約)	20 L	無鉛ハイオクガソリン (ROZ 95) (📖 頁 165)
-----------------	------	----------------------------------

- フィラーキャップを閉めます。(📖 頁 21)



F03291-10

# 11 サービスプラン

## 11.1 補足情報

必須項目や推奨項目の作業実施により発生した、これら項目以外の作業については、別途注文・請求となります。現地における使用環境によってはサービス頻度が異なってくる場合もあります。技術改良が行われていく中で、個々のサービス頻度および範囲が変わってくる場合があります。最終的なサービスプランは KTM Dealer.net に表示されています。KTM 正規ディーラーまでお気軽にお問い合わせ下さい。

## 11.2 必須作業

	24 カ月 毎				
	12 カ月 毎				
	走行ごと 30,000 km				
	走行ごと 15,000 km				
	走行後 1,000 km				
KTM 診断ツールでエラーメモリーを解読します。🔧	○	●	●	●	●
シフトシャフトセンサーをプログラミングします。🔧	○	●	●	●	●
電装系部品の機能を点検します。	○	●	●	●	●
エンジンオイルとオイルフィルターを交換し、オイルスクリーンを清掃します。🔧 (📖 頁 140)	○	●	●	●	●
前輪ブレーキのブレーキパッドを点検します。(📖 頁 109)	○	●	●	●	●
後輪ブレーキのブレーキパッドを点検します。(📖 頁 112)	○	●	●	●	●
ブレーキディスクを点検します。(📖 頁 107)	○	●	●	●	●
ブレーキホースに損傷や漏れがないかを点検します。🔧	○	●	●	●	●
前輪ブレーキのブレーキフルードのレベルを点検します。(📖 頁 108)	○	●	●	●	●
後輪ブレーキのブレーキフルードのレベルを点検します。(📖 頁 110)	○	●	●	●	●
前輪ブレーキのブレーキフルードを交換します。🔧					●
後輪ブレーキのブレーキフルードを交換します。🔧					●
クラッチレバー遊びを点検します。(📖 頁 143)	○	●	●	●	●
ブレーキペダルの遊びを点検します。(📖 頁 110)	○	●	●	●	●
ショックアブソーバーとフロントフォークに漏れがないか点検します。車両の使用目的および必要に応じてフロントフォークの整備作業を実施します。🔧	○	●	●	●	●
フォークレグのダストシールを清掃します。🔧(📖 頁 99)		●	●		
ステアリングヘッドベアリングの遊びを点検します。🔧	○	●	●	●	●
タイヤの状態を点検します。(📖 頁 119)	○	●	●	●	●
タイヤ空気圧を点検します。(📖 頁 120)	○	●	●	●	●
スポークを締め直します。🔧	○				
スポークの張りを点検します。(📖 頁 121)		●	●	●	●
リムの歪みを点検します。🔧	○	●	●	●	●
チェーン、リアスプロケット、フロントスプロケット、チェーンガイドを点検します。(📖 頁 89)		●	●	●	●
チェーンの遊びを点検します。(📖 頁 88)	○	●	●	●	●
スパークプラグを交換します。🔧				●	
バルブの遊びを点検します。🔧				●	
クーラントのレベルと不凍液を点検します。🔧	○	●	●	●	●
ケーブルに損傷がないか、そして配線折れがないか点検します。🔧		●	●	●	●
エアフィルターを交換し、エアフィルターケースを清掃します。🔧		●	●		
燃圧を点検します。🔧		●	●	●	●

	24 カ月 毎			
	12 カ月 毎			
	走行ごと 30,000 km			
	走行ごと 15,000 km			
	走行後 1,000 km			
ヘッドライトの設定を点検します。( 頁 132)	○	●	●	●
冷却ファンの機能を点検します。🔧	○	●	●	●
最終確認: 車両が道路交通で安全に使用できる状態であることを確認し、試験走行を行います。🔧	○	●	●	●
試験走行後に KTM 診断ツールでエラーメモリーを解読します。🔧	○	●	●	●
サービス時期の表示を設定します。🔧	○	●	●	●
KTM Dealer.netでサービス登録を行います。🔧	○	●	●	●

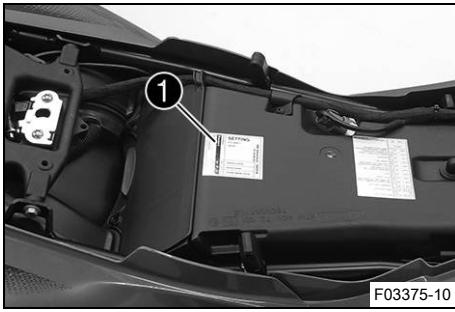
- 一度限りの実施時期
- 定期的な実施時期

### 11.3 推奨作業

	48 カ月 毎			
	12 カ月 毎			
	走行ごと 30,000 km			
	走行ごと 15,000 km			
	走行後 1,000 km			
フレームを点検します。🔧			●	
スイングアームを点検します。🔧			●	
クラッチ潤滑用オイルジェットを点検・清掃します。🔧	○	●	●	
スイングアームのベアリングのガタを点検します。🔧			●	●
ホイールベアリングのガタを点検します。🔧			●	●
クーラントを交換します。🔧				●
排水ホースを空にします。🔧	○	●	●	●
ホース類(燃料、クーラント、エア抜き、排水ホースなど)とワイヤーブーツの全てで、ひびや漏れがないか、正しく取り回されているかを点検します。🔧			●	●
全ての可動部品(サイドスタンド、ハンドレバー、チェーンなど)をグリースアップし、これら部品がスムーズに動くかを点検します。🔧	○	●	●	●
簡単に確認することができ、安全上重要なスクリューとナットがきちんと締められているかを点検します。🔧	○	●	●	●

- 一度限りの実施時期
- 定期的な実施時期

## 12.1 ショックアブソーバー



ショックアブソーバーにより、走行スタイルや積載量に合わせてシャーシを調節することができます。

### i 参考

シャーシ調整における推奨値が表①にまとめられています。この表はフロントシートの下、エアフィルターケースに設置されています。

この設定値を基準値とし、必ずこれらの値を基にしてシャーシ調整を行います。基準値から外れた調整を行うと、特に高速での走行特性に悪影響を与える恐れがあります。

## 12.2 ショックアブソーバーのリバウンドダンパーを調節する



### 注意

**人体への危険** ショックアブソーバーの部品は不適切に分解した場合、様々な方向に動いてしまいます。ショックアブソーバーには高圧縮窒素が充填されています。

- 注意事項に従ってください。(お近くのKTM正規ディーラーにお問い合わせ下さい。)



- 調節スクリュー①を、最後のカチッというクリックが感じられるまで時計回りに回します。
- ショックアブソーバーのタイプに応じた回数カチッとクリックするよう、時計と反対回りに回します。

規定

リバウンドダンパー	
コンフォート	20 クリック
標準	15 クリック
スポーツ	7 クリック
最大積載時	2 クリック

### i 参考

時計回りに回すとスプリングがリバウンドする際のダンパー効果を高め、逆方向に回すとこれを低減します。

## 12.3 ショックアブソーバーのスプリングプリロードを調節する



- ハンドル①を時計と反対回りに最後まで回し切ります。
- ショックアブソーバーのタイプと使用目的に応じた回数、時計回りに回します。

規定

スプリングプリロード-プリロードアジャスター	
コンフォート	3 回転
標準	3 回転
スポーツ	3 回転
最大積載時	10 回転



## 参考

時計回りに回すとスプリングプリロードを高め、逆方向に回すとこれを低減します。

---

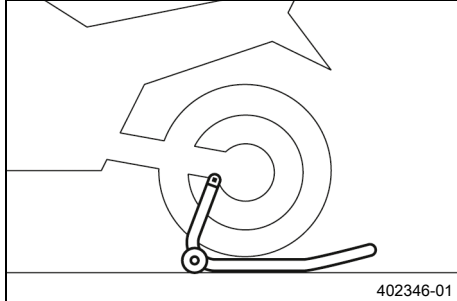


## 13.1 車両をリアスタンドで持ち上げる

### 情報

**損傷の危険性** 駐車中の車両が動き出たり倒れる恐れがあります。

- 車両は安定した平らな地面の上に立てます。



- 固定アダプターをスイングアームに取り付けます。
- アダプターをリアスタンドに差し込みます。

固定アダプター (61029955144)

後輪のメンテナンススタンド (69329955000)

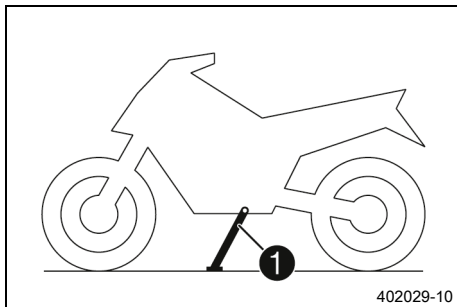
- 車両を垂直に立て、メンテナンススタンドをスイングアームとアダプターに合わせて車両をジャッキアップします。

## 13.2 リアスタンドから車両を降ろす

### 情報

**損傷の危険性** 駐車中の車両が動き出たり倒れる恐れがあります。

- 車両は安定した平らな地面の上に立てます。



- 車両が倒れないように支えます。
- リアスタンドを外し、車両をサイドスタンド①で立てます。
- 固定アダプターをスイングアームから外します。

## 13.3 フロントスタンドで車両を持ち上げる

### 情報

**損傷の危険性** 駐車中の車両が動き出たり倒れる恐れがあります。

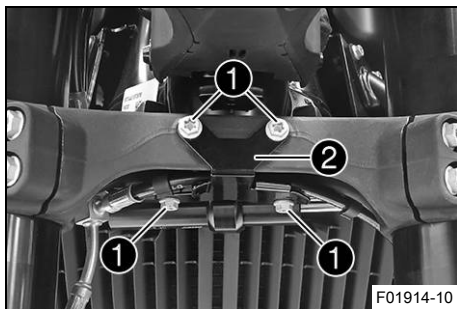
- 車両は安定した平らな地面の上に立てます。

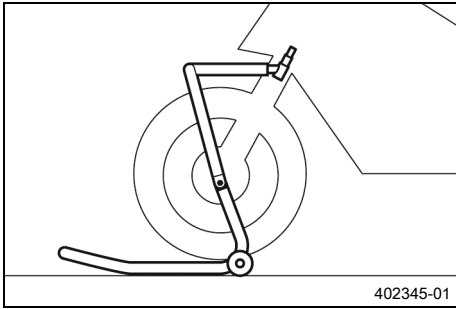
### 準備作業

- 車両をリアスタンドで持ち上げます。(📖 頁 84)

### 主な作業

- スクリュー①を外します。
- ブラケット②を取り外します。





402345-01

- ハンドルバーを直進の状態にします。
- アダプタを取り付けたフロントスタンドをステアリングシステムに取り付けます。

ロケーションボルト (69329965040)

前輪のメンテナンススタンド (大) (69329965100)

- フロントメンテナンススタンドの位置をフォークレグに合わせます。

**i** 参考

車両は必ず後方から先に持ち上げて下さい。

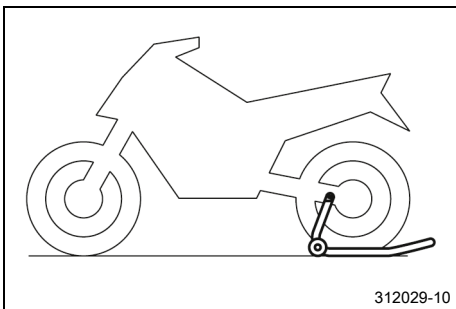
- 車両を持ち上げます。

### 13.4 フロントスタンドから車両を降ろす

#### 情報

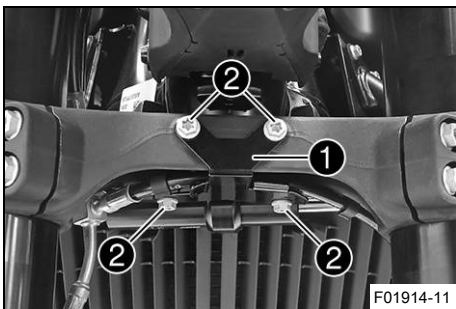
**損傷の危険性** 駐車中の車両が動き出したり倒れる恐れがあります。

- 車両は安定した平らな地面の上に立てます。



312029-10

- 車両が倒れないように支えます。
- フロントスタンドを取り外します。



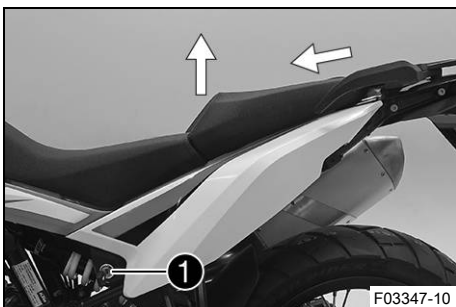
F01914-11

- ブラケット①の位置を調整します。
- スクリュー②を取り付け、しっかりと締めます。

規定

シャーシ用その他の スクリュー	M6	10 Nm
--------------------	----	-------

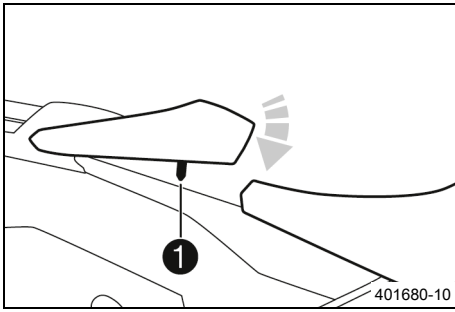
### 13.5 リアシートを取り外す



F03347-10

- イグニッションキーをシートロック①に差し込み、時計回りに回します。
- リアシートの前部を持ち上げ、タンクの方に引いて上向きに取り外します。
- イグニッションキーをシートロックから抜きます。

## 13.6 リアシートを取り付ける



- リアシートの突起部をサブフレームのブッシングに掛け、前方へ下げると同時に後方へ押し込みます。
- ロックピン①をロックケースに通し、カチッという音が聞こえてピンがはまるまでリアシートの前方を下に押しします。



### 警告

**事故の危険性** シートが正しく取り付けられていないと、固定部から飛び出す恐れがあります。

- シート取り付け作業後にはシートが正しくロックされており、上に引き上げることができない状態であることを確認してください。

- 最後にリアシートが正しく取り付けられているかどうかを点検します。

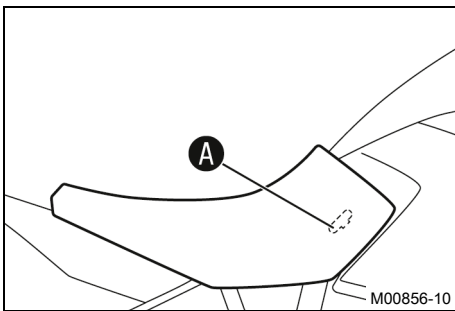
## 13.7 フロントシートを取り外す

### 準備作業

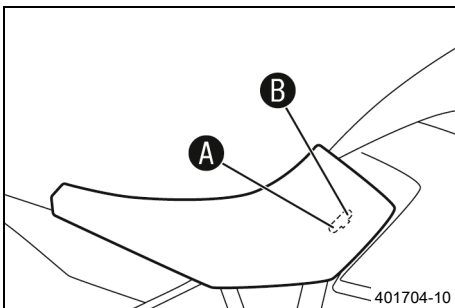
- リアシートを取り外します。(📖 頁 85)

### 主な作業

- フロントシートの後ろを持ち上げ、**A**の部分を外します。



## 13.8 フロントシートを取り付ける



### 主な作業

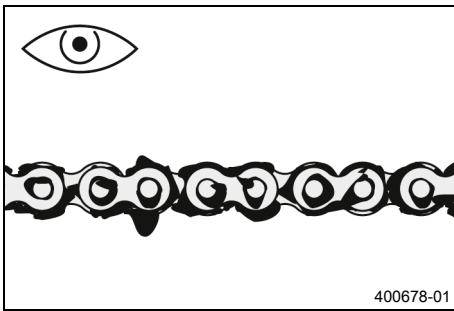
- 好みのライディングポジションに応じ、フロントシートのくぼみをフューエルタンクの**A**または**B**に掛け、フロントシートを前にずらしながら後部を下ろします。
- 最後にフロントシートが正しく取り付けられているかどうかを点検します。

### その後の作業

- リアシートを取り付けます。(📖 頁 86)



## 13.9 チェーンの汚れを点検する



- チェーンに大きな汚れがついていないか点検します。
  - » チェーンがひどく汚れている:
    - チェーンを清掃します。(📖 頁 87)

## 13.10 チェーンを清掃する

**警告**

**事故の危険性** 潤滑剤がタイヤに付着すると、タイヤの粘着力が低下します。

- 潤滑剤を適切な洗浄剤を利用してタイヤから拭き取ってください。

**警告**

**事故の危険性** オイルやグリースがブレーキディスクに付着するとブレーキ性能が低下します。

- ブレーキディスクを常にオイルやグリースから保護してください。
- 必要な場合、ブレーキディスクをブレーキ洗浄剤を使って清掃してください。

**情報**

**環境汚染** 問題物資が環境汚染の原因となります。

- オイル、グリース、フィルター、燃料、洗浄剤、ブレーキフルードなどは、定められた規則に従い正しく廃棄して下さい。

**参考**

チェーンの寿命は手入れの仕方で大きく変わってきます。

**準備作業**

- 車両をリアスタンドで持ち上げます。(📖 頁 84)

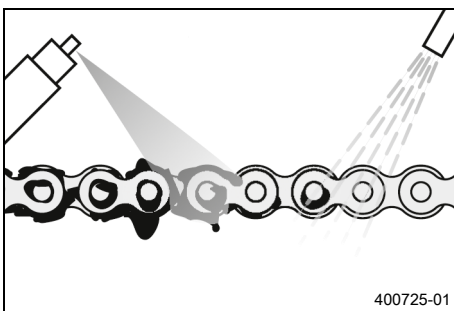
**主な作業**

- 大きな汚れは弱い水流で洗い流します。
- 使用済みグリースの残りはチェーン洗浄剤で落とします。

チェーン洗浄剤 (📖 頁 166)

- 乾かした後、チェーンスプレーを吹き付けます。

チェーンスプレー・ Street (📖 頁 166)

**その後の作業**

- リアスタンドから車両を降ろします。(📖 頁 84)

## 13.11 チェーンの遊びを点検する



### 警告

**事故の危険性** 不適切なチェーンの遊びは部品を破損し、事故の原因となります。

チェーンが貼りすぎているとチェーン、フロントスプロケット、リアスプロケット、そしてギアベアリングおよび後輪ベアリングが早期磨耗してしまいます。部品の中には過負荷により切れたり壊れたりするものもあります。

チェーンが緩すぎるとチェーンがフロントスプロケットまたはリアスプロケットから外れてしまいます。その結果、後輪ロック、またはエンジン破損の原因となります。

- チェーンの遊びを定期的に点検してください。
- チェーンの遊びを規定値に従って設定してください。

### 準備作業

- 車両をリアスタンドで持ち上げます。(📖 頁 84)

### 主な作業

- ギアをニュートラル **N**に入れます。
- チェインスライダーの後方でチェーンを上方に押し、スイングアームとチェーンの上端の間のチェーンの遊び **A**を確認します。

### 規定

チェインスライダーまでの距離 <b>B</b>	2.5 cm
-------------------------	--------

スイングアームの端までの距離ではなく、チェーン真上にあるスイングアームの平らになっている部分までの距離を測定します。

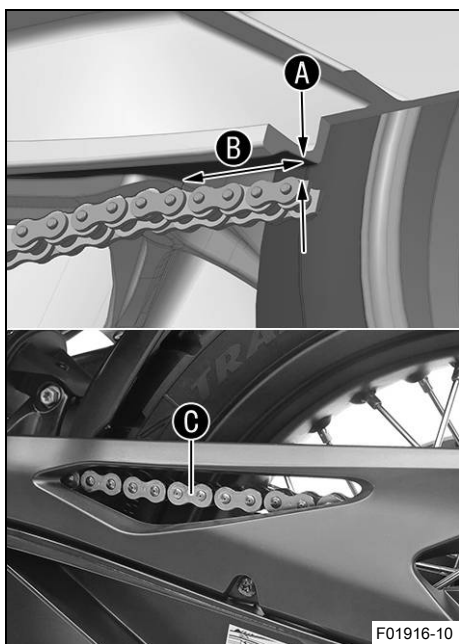
### 参考

その際、チェーン上部 **C** がピンと張っている事を確認して下さい。

チェーンは均等に擦り切れるとは限りません。チェーンの位置を変えて何回か測定を繰り返して下さい。

チェーンの遊び	2 ... 5 mm
---------	------------

- » チェーンの遊びが規定通りになっていない:
  - チェーンの遊びを調節します。(📖 頁 88)
- リアスタンドから車両を降ろします。(📖 頁 84)



F01916-10

## 13.12 チェーンの遊びを調節する



### 警告

**事故の危険性** 不適切なチェーンの遊びは部品を破損し、事故の原因となります。

チェーンが貼りすぎているとチェーン、フロントスプロケット、リアスプロケット、そしてギアベアリングおよび後輪ベアリングが早期磨耗してしまいます。部品の中には過負荷により切れたり壊れたりするものもあります。

チェーンが緩すぎるとチェーンがフロントスプロケットまたはリアスプロケットから外れてしまいます。その結果、後輪ロック、またはエンジン破損の原因となります。

- チェーンの遊びを定期的に点検してください。
- チェーンの遊びを規定値に従って設定してください。

**準備作業**

- 車両をリアスタンドで持ち上げます。(📖 頁 84)
- チェーンの遊びを点検します。(📖 頁 88)

**主な作業**

- ナット①を緩めます。
- ナット②を緩めます。
- 左右の調節スクリュー③を回し、チェーンの遊びを調節します。

**規定**

チェーンの遊び	2 ... 5 mm
左右の調節スクリュー③を回し、両側のチェーンアジャスター④のマーキングが目印Aに対して同じ位置にくるように調節します。これにより後輪の位置が正しく調整されます。	

**参考**

その際、チェーン上部がピンと張っている事を確認して下さい。  
チェーンは均等に擦り切れるとは限りません。チェーンの位置を変えて何回か測定を繰り返して下さい。

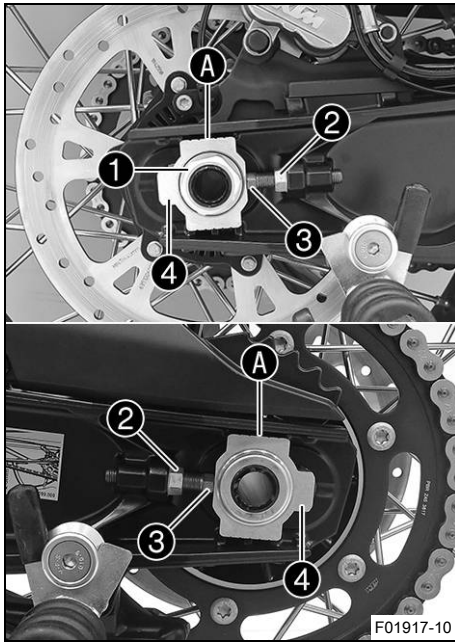
- ナット②をしっかりと締めます。
- チェーンアジャスター④が調節スクリュー③に接触している事を確認します。
- ナット①をしっかりと締めます。

**規定**

後輪アクスル シャフト用ナット	M25x1.5	90 Nm ねじ山とアクスルシャフトの設置面がグリースアップされている
--------------------	---------	--

**その後の作業**

- チェーンの遊びを点検します。(📖 頁 88)



F01917-10

**13.13 チェーン、リアスプロケット、フロントスプロケット、チェーンガイドを点検する**

**準備作業**

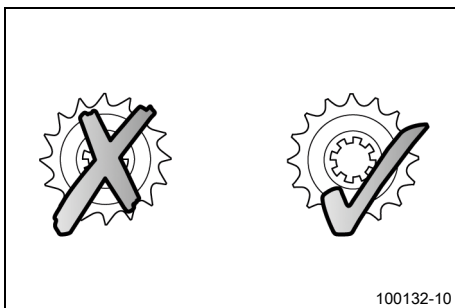
- 車両をリアスタンドで持ち上げます。(📖 頁 84)

**主な作業**

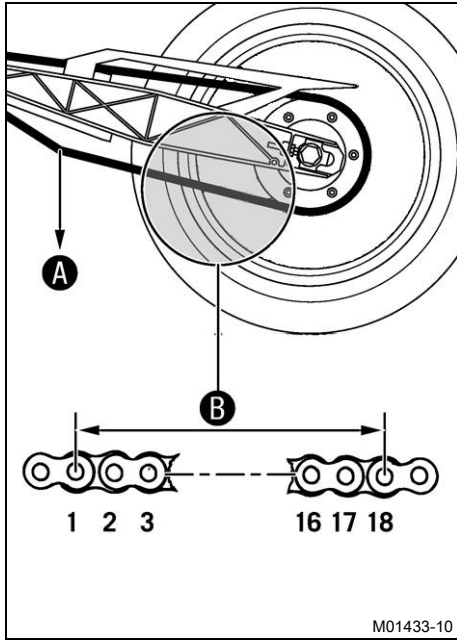
- チェーン、リアスプロケット、フロントスプロケットの磨耗を点検します。
  - » スプロケットまたはチェーンピニオンがスムーズに動く場合：
    - 駆動部品一式を交換します。🔧

**参考**

フロントスプロケット、リアスプロケット、チェーンは必ず一緒に交換して下さい。



100132-10



- ギアをニュートラル **N**に入れます。
- チェーン下部を以下に記載した重量 **A** で引っ張ります。  
規定

チェーンの摩耗測定における重量	15 kg
-----------------	-------

- チェーン下部でローラー 18 個分の長さ **B** を測定します。

**i** 参考

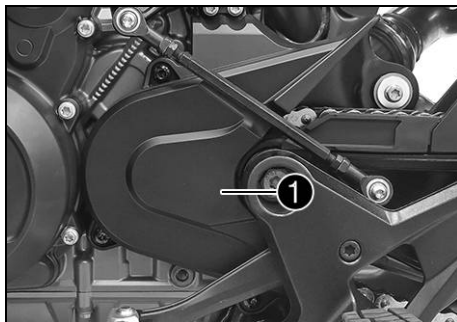
チェーンは均等に擦り切れるとは限りません。チェーンの位置を変えて何回か測定を繰り返して下さい。

チェーンが最も長い部分でのローラー 18 個分の長さ <b>B</b> の最大値	272 mm
--	--------

- » 長さ **B** が規定値より大きい:
  - 駆動部品一式を交換します。↘

**i** 参考

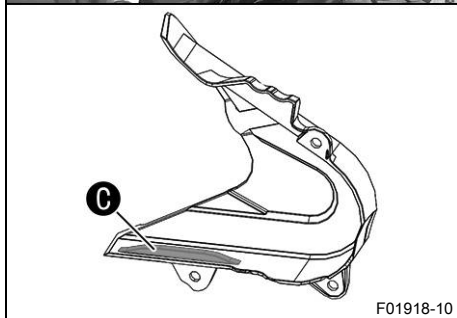
新しいチェーンを取り付ける際は、同時にリアスプロケットとフロントスプロケットも交換して下さい。  
新しいチェーンを摩耗が進んだ古いリアスプロケットまたはフロントスプロケットと一緒に使用すると、早く摩耗してしまいます。  
安全上の理由により、チェーンにはチェーンジョイントがありません。

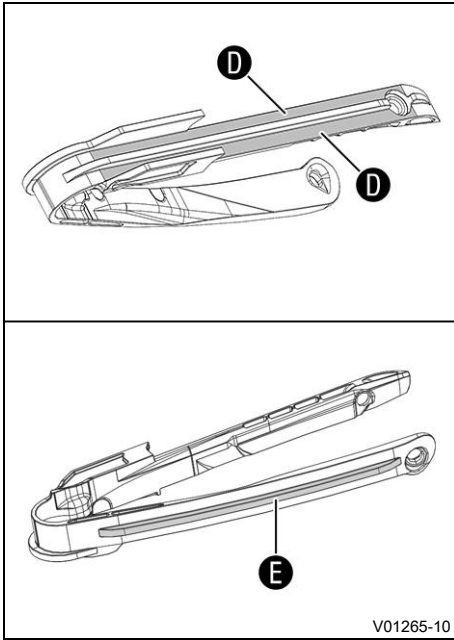


- フロントスプロケットカバー **1** の磨耗を点検します。
  - » フロントスプロケットカバーの **C** で示した部分がひどく磨り減っている場合:
    - フロントスプロケットカバーを交換します。↘
- フロントスプロケットカバー **1** がきちんと固定されているか確認します。
  - » フロントスプロケットカバーがガタついている:
    - フロントスプロケットカバーのスクリューをしっかりと締めます。

規定

フロントスプロケットカバー用スクリュー	M5	5 Nm <b>Loctite®243™</b>
---------------------	----	-----------------------------





- チェーンスライダーガードの磨耗を点検します。
  - » チェーンスライダーとガードの **D** で示した部分全長にチェーンの摩擦跡が見られる場合：
    - チェーンスライダーガードを交換します。🔧
  - » チェーンスライダーとガードの **E** で示した部分がひどく磨り減っている場合：
    - チェーンスライダーガードを交換します。🔧
- チェーンスライダーガードがきちんと固定されているか確認します。
  - » チェーンスライダーガードがガタついている：
    - チェーンスライダーガードのスクリューをしっかりと締めます。

**規定**

シャーシ用その他のスクリュー	M5	5 Nm
----------------	----	------

**その後の作業**

- リアスタンドから車両を降ろします。(📖 頁 84)

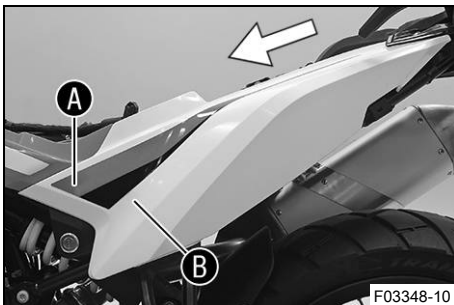
## 13.14 左のサイドカバーを取り外す

**準備作業**

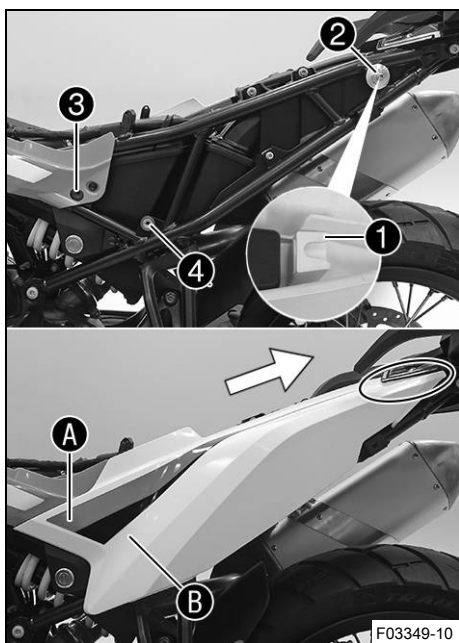
- リアシートを取り外します。(📖 頁 85)
- フロントシートを取り外します。(📖 頁 86)

**主な作業**

- 左のサイドカバーを **A** と **B** の部分でゴムブッシングから引きます。
- 左のサイドカバーを横方向に抜き取り、前方に取り外します。



## 13.15 左のサイドカバーを取り付ける



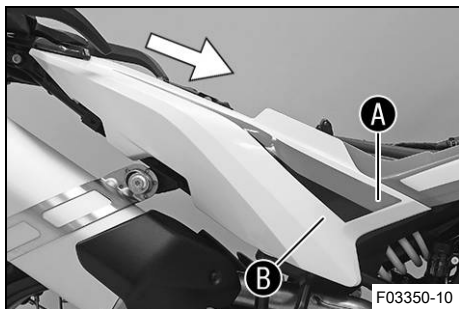
### 主な作業

- 左のサイドカバーの突起部①をブッシング②の位置で調整し、後方へ押し込みます。
- ✓ 左のサイドカバーをリア下部にはめます。
- 左のサイドカバーをAの部分でゴムブッシング③に押し入れ、Bの部分でゴムブッシング④に押し入れます。

### その後の作業

- フロントシートを取り付けます。(📖 頁 86)
- リアシートを取り付けます。(📖 頁 86)

## 13.16 右のサイドカバーを取り外す



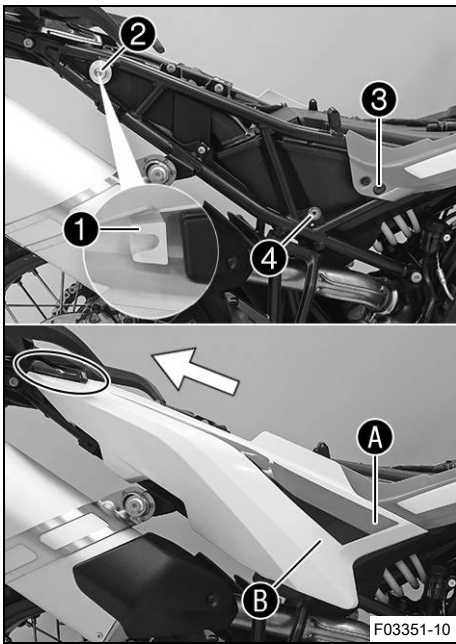
### 準備作業

- リアシートを取り外します。(📖 頁 85)
- フロントシートを取り外します。(📖 頁 86)

### 主な作業

- 右のサイドカバーをAとBの部分でゴムブッシングから引き抜きます。
- 右のサイドカバーを横方向に抜き取り、前方に取り外します。

13.17 右のサイドカバーを取り付ける



主な作業

- 右のサイドカバーの突起部①をブッシング②の位置で調整し、後方へ押し込みます。
- ✓ 右のサイドカバーをリア下部にはめます。
- 右のサイドカバーをAの部分でゴムブッシング③に押し入れ、Bの部分でゴムブッシング④に押し入れます。

その後の作業

- フロントシートを取り付けます。(📖 頁 86)
- リアシートを取り付けます。(📖 頁 86)



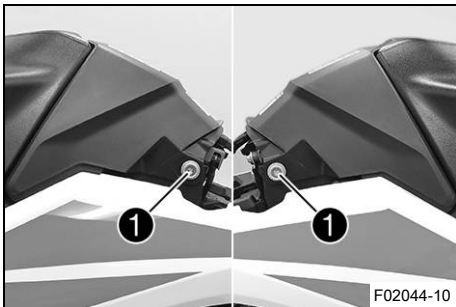
13.18 バッテリーカバーを取り外す

準備作業

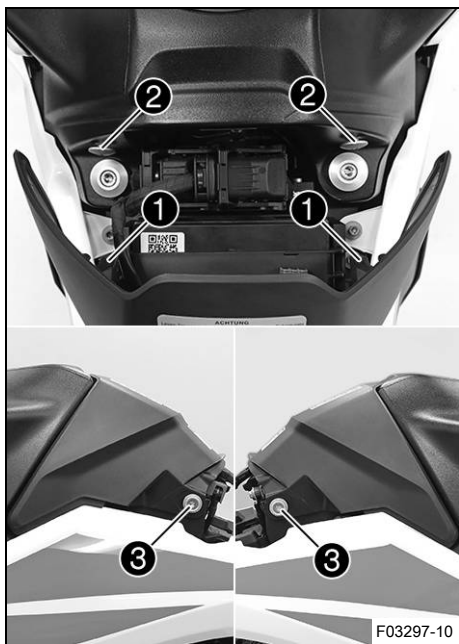
- リアシートを取り外します。(📖 頁 85)
- フロントシートを取り外します。(📖 頁 86)

主な作業

- スクリュー①をブッシングと一緒に外します。
- バッテリーカバーを上に向かって取り出します。



## 13.19 バッテリーカバーを取り付ける



### 主な作業

- バッテリーカバーの突起部①をブッシング②に合わせ、下に向かってスライドさせます。
- ✓ バッテリーカバーがフューエルタンクスポイラー下部の左右にはまります。
- スクリュー③をブッシングと一緒に取り付け、しっかりと締めます。

### 規定

シート取り付け用スクリュー	M6	6 Nm
---------------	----	------

### その後の作業

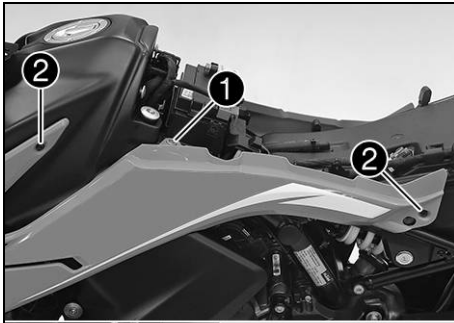
- フロントシートを取り付けます。(📖 頁 86)
- リアシートを取り付けます。(📖 頁 86)

## 13.20 左のフューエルタンクスポイラーを取り外す

### 準備作業

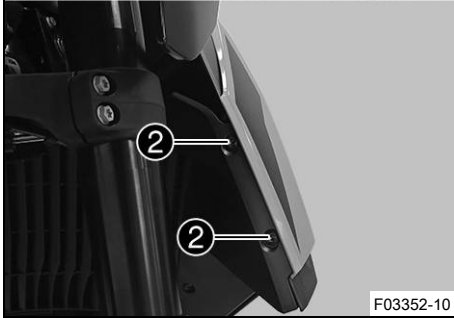
- リアシートを取り外します。(📖 頁 85)
- フロントシートを取り外します。(📖 頁 86)
- 左のサイドカバーを取り外します。(📖 頁 91)
- バッテリーカバーを取り外します。(📖 頁 93)



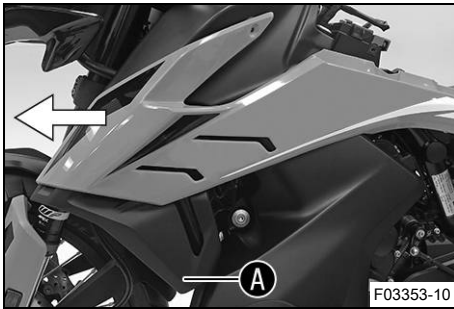


**主な作業**

- スクリュー①を外します。
- スクリュー②を外します。



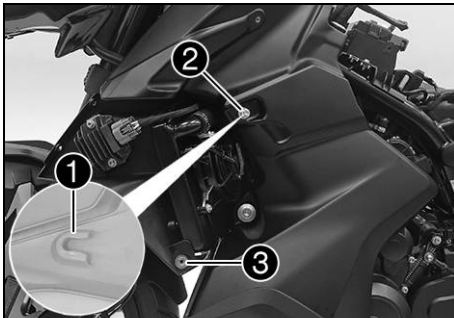
F03352-10



- 左のサイドスポイラーをAの部分でゴムブッシングから引きます。
- 左のサイドスポイラーを横方向に抜き取り、前方に取り外します。

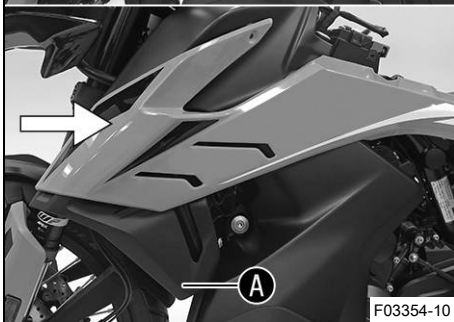


**13.21 左のフューエルタンクスポイラーを取り付ける**

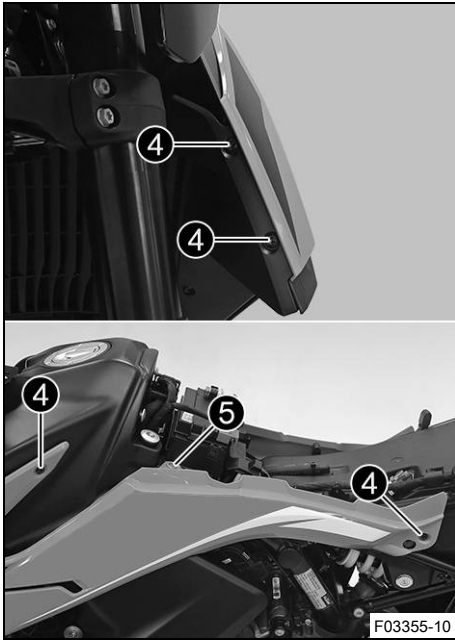


**主な作業**

- 左のフューエルタンクスポイラーの突起部①をブッシング②の位置で調整し、横後方へ押し込みます。
- 左のフューエルタンクスポイラーをAの部分でゴムブッシング③に押し入れます。



F03354-10



- スクリュー④を取り付け、締めないままにしておきます。  
規定

カバー用スクリュー	M5	3 Nm
-----------	----	------

- スクリュー⑤を取り付け、締めないままにしておきます。  
規定

フューエルタンク スポイラー用スクリュー	M6	5 Nm
-------------------------	----	------

- ✓ 左のフューエルタンクスポイラーの前端は均等に調整されています。

- 左のフューエルタンクスポイラーのスクリューを全てしっかりと締めます。

規定

カバー用スクリュー	M5	3 Nm
フューエルタンク スポイラー用スクリュー	M6	5 Nm

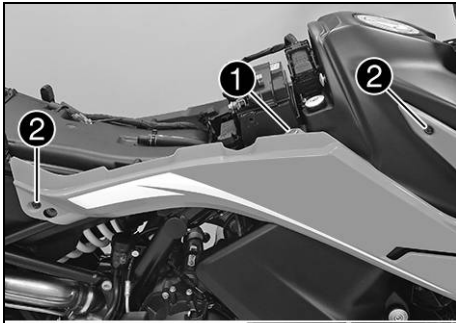
### その後の作業

- バッテリーカバーを取り付けます。(📖 頁 94)
- 左のサイドカバーを取り付けます。(📖 頁 92)
- フロントシートを取り付けます。(📖 頁 86)
- リアシートを取り付けます。(📖 頁 86)

## 13.22 右のフューエルタンクスポイラーを取り外す

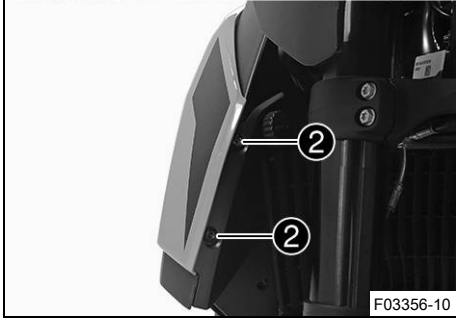
### 準備作業

- リアシートを取り外します。(📖 頁 85)
- フロントシートを取り外します。(📖 頁 86)
- 右のサイドカバーを取り外します。(📖 頁 92)
- バッテリーカバーを取り外します。(📖 頁 93)

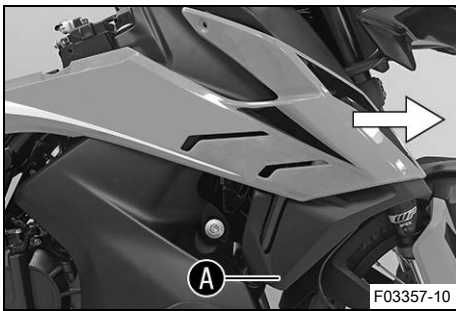


**主な作業**

- スクリュー①を外します。
- スクリュー②を外します。



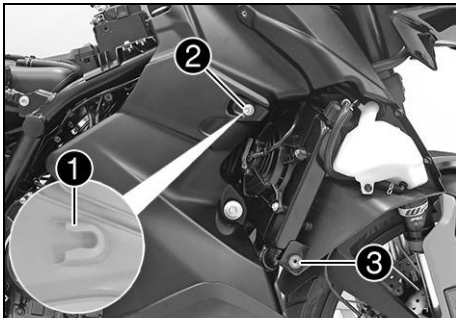
F03356-10



- 右のサイドスポイラーをAの部分でゴムブッシングから引き抜きます。
- 右のサイドスポイラーを横方向に抜き取り、前方に取り外します。

F03357-10

**13.23 右のフューエルタンクスポイラーを取り付ける**



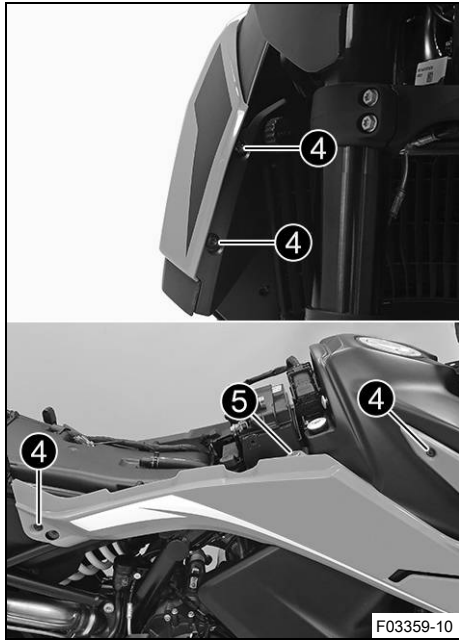
**主な作業**

- 右のフューエルタンクスポイラーの突起部①をブッシング②の位置で調整し、横後方へ押し込みます。
- 右のフューエルタンクスポイラーをAの部分でゴムブッシング③に押し入れます。



F03358-10

# 13 サービス作業シャーシ



- スクリュー④を取り付け、締めないままにしておきます。  
規定

カバー用スクリュー	M5	3 Nm
-----------	----	------

- スクリュー⑤を取り付け、締めないままにしておきます。  
規定

フューエルタンク スポイラー用スクリュー	M6	5 Nm
-------------------------	----	------

- ✓ 右のフューエルタンクスポイラーの前端は均等に調整されています。

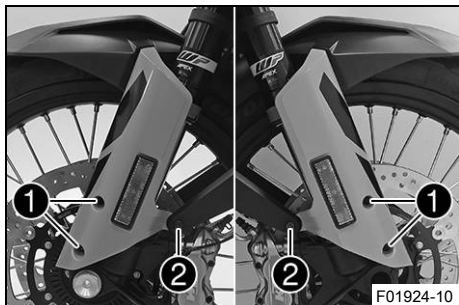
- 右のフューエルタンクスポイラーのスクリューを全てしっかりと締めます。

カバー用スクリュー	M5	3 Nm
フューエルタンク スポイラー用スクリュー	M6	5 Nm

### その後の作業

- バッテリーカバーを取り付けます。(📖 頁 94)
- 右のサイドカバーを取り付けます。(📖 頁 93)
- フロントシートを取り付けます。(📖 頁 86)
- リアシートを取り付けます。(📖 頁 86)

## 13.24 フロントフェンダーを取り外す

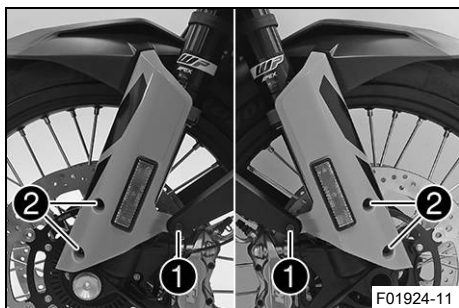


- スクリュー①を外します。
- スクリュー②を外します。
- フェンダーを前方向に取り外します。

### 参考

ブレーキワイヤーとケーブルに注意します。

## 13.25 フロントフェンダーを取り付ける



- フェンダーの位置を調整します。

### 参考

ブレーキワイヤーとケーブルの配線に注意します。

- スクリュー①を取り付け、締めないままにしておきます。  
規定

フォークカバー用スクリュー	M5x12	5 Nm
---------------	-------	------

- スクリュー②を取り付け、締めないままにしておきます。

規定

フォークカバー用スクリュー	M5x17	5 Nm
---------------	-------	------

✓ フェンダーは均等に前方に向いています。

- フェンダーのスクリューを全てしっかりと締めます。

規定

フォークカバー用スクリュー	M5x12	5 Nm
フォークカバー用スクリュー	M5x17	5 Nm



### 13.26 フォークレグのダストシールを清掃する

#### 準備作業

- 車両をリアスタンドで持ち上げます。(📖 頁 84)
- フロントスタンドで車両を持ち上げます。(📖 頁 84)
- フロントフェンダーを取り外します。(📖 頁 98)

#### 主な作業

- 両側のフォークレグで、ダストシール①を下にずらします。



#### 参考

ダストシールはフォークインナーパイプのほこりや汚れをこすり落とします。時間が経つにつれ、汚れがダストシールの裏に入り込むことがあります。この汚れを取り除かないと、その後ろにあるオイルシールリングに漏れが生じる恐れがあります。

#### 警告

**事故の危険性** オイルやグリースがブレーキディスクに付着するとブレーキ性能が低下します。

- ブレーキディスクを常にオイルやグリースから保護してください。
- 必要な場合、ブレーキディスクをブレーキ洗浄剤を使って清掃してください。

- 両側のフォークレグのダストシールとインナーチューブを清掃し、オイルを差します。

汎用オイルスプレー (📖 頁 166)
---------------------

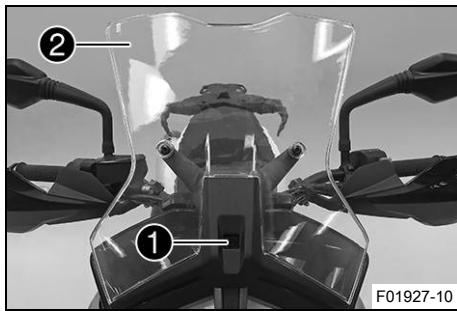
- ダストシールを取付け位置に押し戻します。
- 余分なオイルを取り除きます。

#### その後の作業

- フロントフェンダーを取り付けます。(📖 頁 98)
- フロントスタンドから車両を降ろします。(📖 頁 85)
- リアスタンドから車両を降ろします。(📖 頁 84)

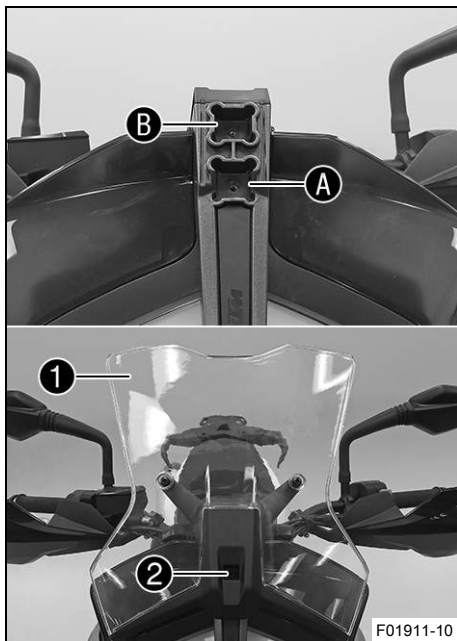


## 13.27 ウインドシールドを取り外す



- スクリュー①を外し、ウインドシールド②を取り外します。

## 13.28 ウインドシールドを取り付ける



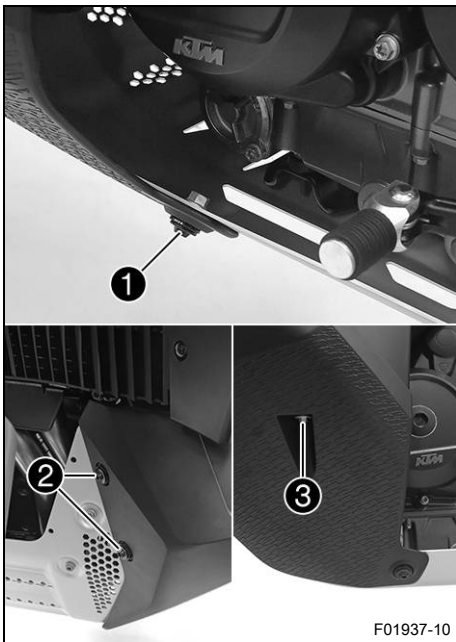
- ウインドシールド①を下の窪みA、または上の窪みBに合わせます。

- スクリュー②を取り付け、しっかりと締めます。

規定

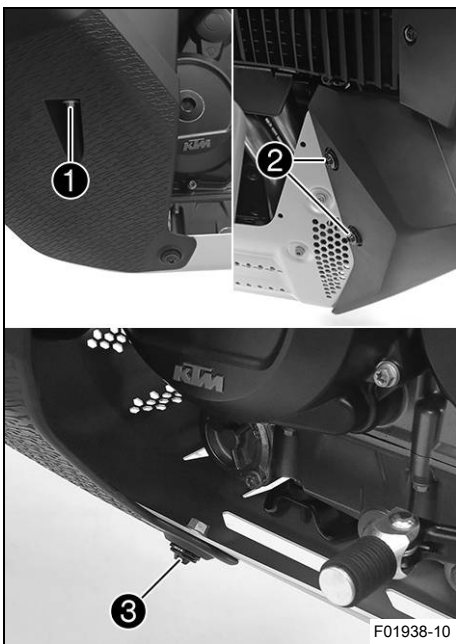
シャーシ用その他の スクリュー	M5	5 Nm
--------------------	----	------

13.29 左のフューエルタンクカバーを取り外す



- スクリューキャップ①を外します。
- スクリュー②を外します。
- スクリュー③を外します。
- 左のフューエルタンクカバーを取り外します。

13.30 左のフューエルタンクカバーを取り付ける



- 左のフューエルタンクカバーの位置を調整します。
- スクリュー①を取り付け、しっかりと締めます。

規定

フューエルタンク フェアリング用スクリュー	M6x12	8 Nm
--------------------------	-------	------

- スクリュー②を取り付け、締めないままにしておきます。

規定

フューエルタンクカ バー用スクリュー	M6x22	8 Nm
-----------------------	-------	------

- スクリュー③を取り付け、締めないままにしておきます。

規定

フューエルタンク カバー用スクリュー キャップ	M6	5 Nm
-------------------------------	----	------

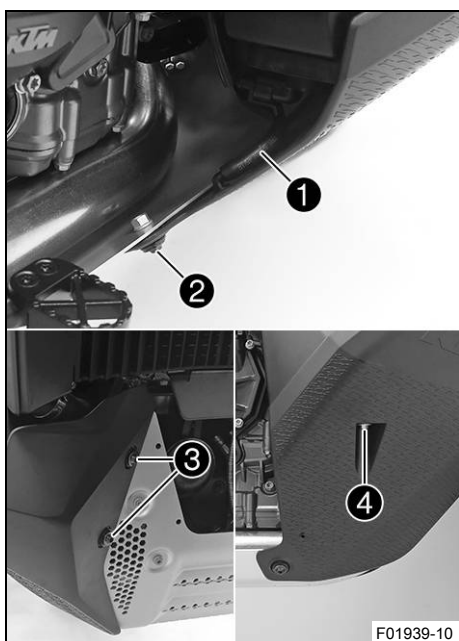
- ✓ 左のフューエルタンクカバーは均等に前方に向いています。

- 左のフューエルタンクカバーのスクリューを全てしっかりと締めます。

## 規定

フューエルタンク フェアリング用スクリュー	M6x12	8 Nm
フューエルタンクカ バー用スクリュー	M6x22	8 Nm
フューエルタンク カバー用スクリュー キャップ	M6	5 Nm

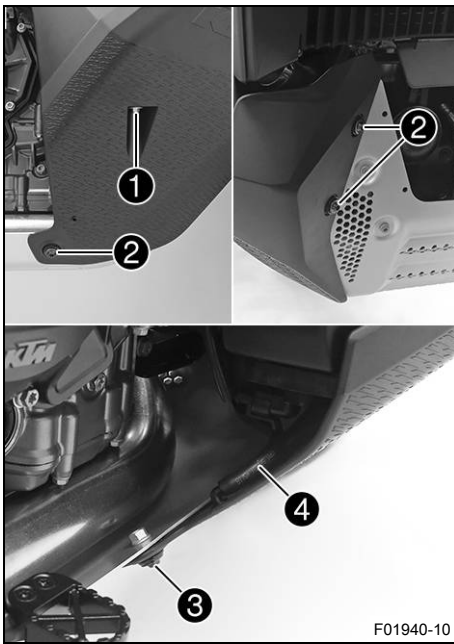
### 13.31 右のフューエルタンクカバーを取り外す



- ホース①をアングルピースから抜きます。
- スクリューキャップ②を外します。
- スクリュー③を外します。
- スクリュー④を外します。
- 右のフューエルタンクカバーを取り外します。



13.32 右のフューエルタンクカバーを取り付ける



- 右のフューエルタンクカバーの位置を調整します。
- スクリュー①を取り付け、しっかりと締めます。

規定

フューエルタンク フェアリング用スク リュー	M6x12	8 Nm
------------------------------	-------	------

- スクリュー②を取り付け、締めないままにしておきます。

規定

フューエルタンクカ バー用スクリュー	M6x22	8 Nm
-----------------------	-------	------

- スクリュー③を取り付け、締めないままにしておきます。

規定

フューエルタンク カバー用スクリュー キャップ	M6	5 Nm
-------------------------------	----	------

- ✓ 右のフューエルタンクカバーは均等に前方に向いています。

- 右のフューエルタンクカバーのスクリューを全てしっかりと締めます。

規定

フューエルタンク フェアリング用スク リュー	M6x12	8 Nm
フューエルタンクカ バー用スクリュー	M6x22	8 Nm
フューエルタンク カバー用スクリュー キャップ	M6	5 Nm

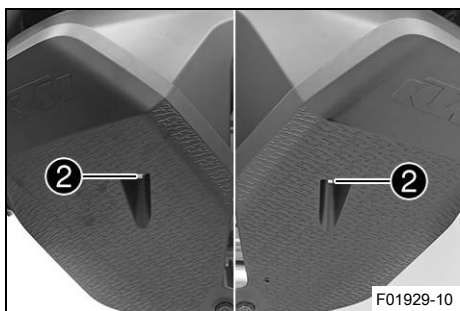
- ホース④をアングルピースに差し込みます。



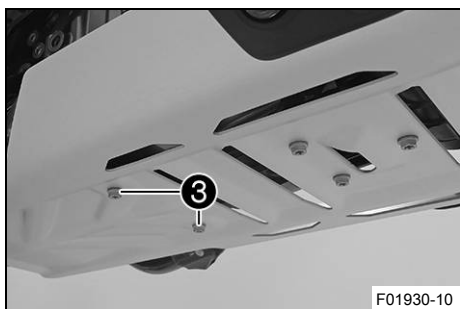
13.33 エンジンガードを取り外す



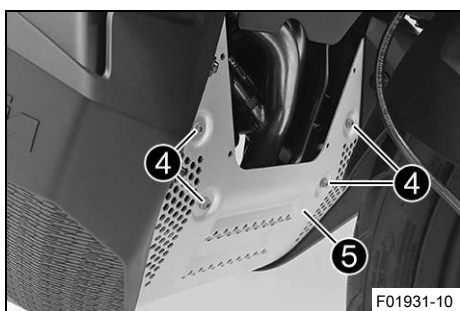
- ホース①をアングルピースから抜きます。



- スクリュー②を外します。

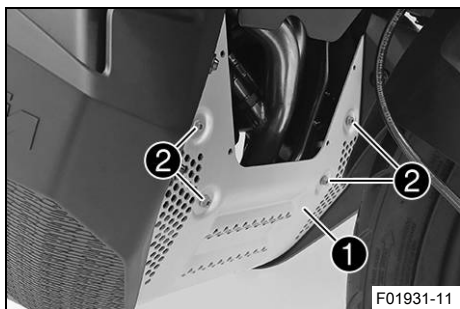


- スクリュー③を外します。



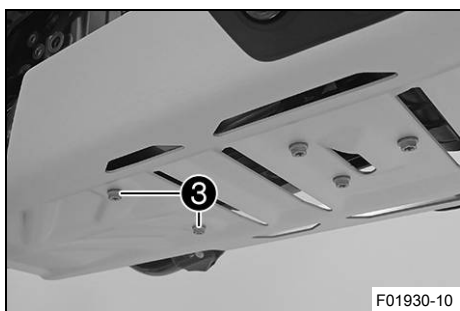
- スクリュー④を外し、エンジンガード⑤を取り外します。

## 13.34 エンジンガードを取り付ける



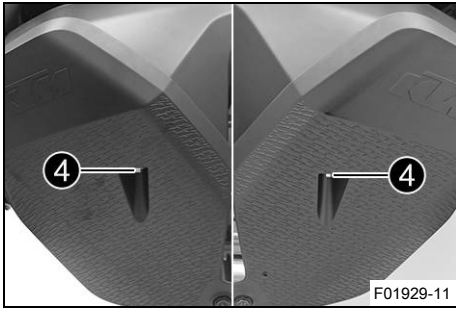
- エンジンガード①の位置を調整します。
- スクリュー②を取り付け、締めないままにしておきます。

エンジンガード用スクリュー	M6x10	10 Nm	Loctite®243™
---------------	-------	-------	--------------



- スクリュー③を取り付け、締めないままにしておきます。

エンジンガード用スクリュー	M6x8	8 Nm	
---------------	------	------	--



- スクリュー④を取り付け、締めないままにしておきます。

規定

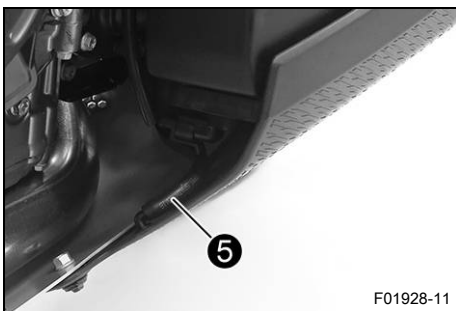
フューエルタンク フェアリング用スクリュー	M6x12	8 Nm
--------------------------	-------	------

✓ エンジンガードは均等に前方に向いています。

- エンジンガードのスクリーンを全てしっかりと締めます。

規定

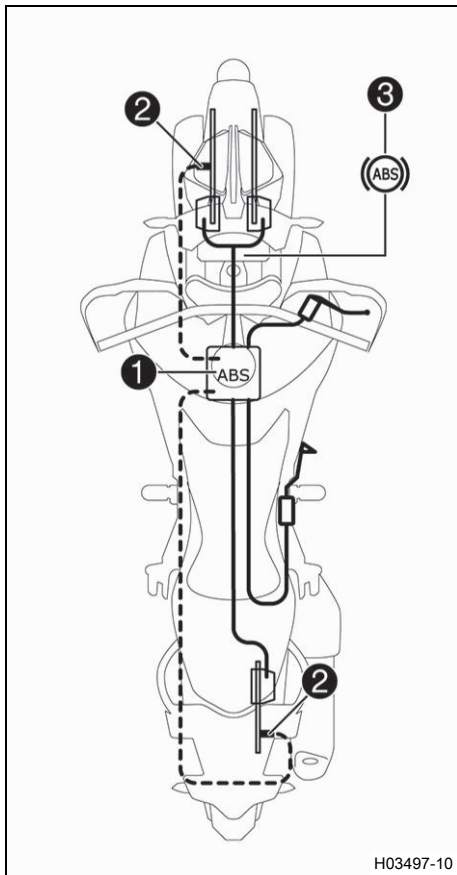
エンジンガード 用スクリュー	M6x8	8 Nm
エンジンガード 用スクリュー	M6x10	10 Nm Loctite®243™
フューエルタンク フェアリング 用スクリュー	M6x12	8 Nm



- ホース⑤をアングルピースに差し込みます。



## 14.1 アンチロック・ブレーキシステム (ABS)



ABSモジュール①は油圧ユニット、ABSコントロールユニット、リターンポンプからなり、フューエルタンクの下に設置されています。前輪と後輪に各1つの車輪速度センサー②が取り付けられています。



### 警告

**事故の危険性** 車両を改造した場合、アンチロック・ブレーキシステムの機能に影響を及ぼします。

- サスペンションストロークに影響を及ぼすような改造を行わないで下さい。
- ブレーキシステムには KTM 純正製品のスペアパーツのみをご使用下さい。
- KTM により承認および推奨された適切な速度記号のタイヤならびに車輪のみを使用して下さい。
- タイヤの規定空気圧を遵守して下さい。
- メンテナンス作業および修理が正しく行われていることを確認して下さい。(お近くの KTM 正規ディーラーにお問い合わせ下さい。)

ABSは安全システムの一つであり、物理的に可能な範囲で直進走行中やコーナー進入中に車輪のブロックや滑りを防ぎます。



### 警告

**事故の危険性** 運転支援システムは物理的に可能な範囲内で転倒の確率を抑えるためのものです。

重い荷物の積載、道路舗装の変化、急勾配での発進、クラッチを切らないままのフルブレーキなど極限の走行状態では運転支援が行えない場合があります。

- 道路の状況、運転能力に応じた走行方法で運転しましょう。



### 警告

**事故の危険性** ABS モードの選択を誤ると、車両の制御が著しく困難になります。

ABS モードは、それぞれ特定の条件にのみ適しています。

- 必ず路面に適した ABS モードを選択してください。

ABS には、ABS モードRoadと ABS モードOffroadの2つの作動モードがあります。

ABS モードRoadでは、ABS が前輪・後輪の両方を制御できます。ABS モードOffroadでは後輪で ABS 制御が行われません。



### 参考

ABS モードOffroadでは後輪がロックし、転倒する恐れがあります。

コーナーに応じた制御は ABS モードRoadの場合のみ有効です。

ABS は 2 つの独立したブレーキ回路で作動します ( 前輪ブレーキと後輪ブレーキ)。車輪のいずれかがロックしている傾向を ABS コントロールユニットで検出すると、ブレーキ圧の調整により ABS が作動し始めます。調整プロセスによりブレーキペダルまたはブレーキレバーにわずかな振動が感じられます。

通常、イグニッションをオンにすると ABS 警告ランプ③が点灯し、発進すると消えます。発進後もランプが消えない場合や走行中に点灯した場合は、ABS でエラーが発生した事を示します。この場合には ABS は作動せず、ブレーキをかけた際に車輪がロックする恐れがあります。その際、ABS による調整は行われませんが、ブレーキシステム自体は通常通り機能します。

ABS 警告ランプは、ウィリーや後輪の空転などの極端な走行状態で、前輪と後輪の回転数に大きな差異がある場合にも点灯する事があります。この場合、ABS はオフとなります。

ABS を再度オンにするには、車両を停止してイグニッションをオフにします。車両を再び作動すると、ABS も再びオンになります。ABS 警告ランプは発進後に消えます。

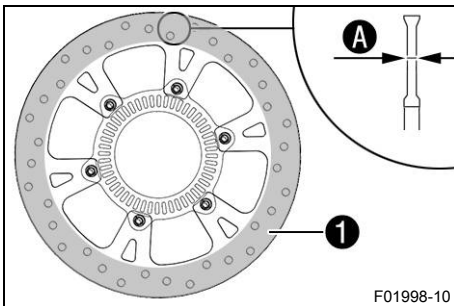
## 14.2 ブレーキディスクを点検する



### 警告

**事故の危険性** 磨耗したブレーキディスクはブレーキ性能を低下させます。

- 磨耗したブレーキディスクは速やかに交換しなければなりません。(お近くの KTM 正規ディーラーにお問い合わせ下さい。)



- 前輪と後輪のブレーキディスクの何箇所かでディスクの厚み A を確認します。



### 参考

ブレーキディスクの厚みは、ブレーキパッドと接触する範囲①が摩耗により減っていきます。

ブレーキディスクの摩耗限界	
前輪	4.5 mm
後輪	4.5 mm

- » ブレーキディスクの厚みが規定値を下回っている:
  - 前輪ブレーキのブレーキディスクを交換します。↘
  - 後輪ブレーキのブレーキディスクを交換します。↘
- 前輪と後輪のブレーキディスクでひび、損傷、変形がないかを点検します。
  - » ブレーキディスクにひび、損傷、変形が見られる:
    - 前輪ブレーキのブレーキディスクを交換します。↘
    - 後輪ブレーキのブレーキディスクを交換します。↘

## 14.3 前輪ブレーキのブレーキフルードのレベルを点検する



### 警告

**事故の危険性** ブレーキシステムはブレーキフルード・レベルが不十分であると稼動しません。ブレーキフルードのレベルが規定のマーキングもしくは規定値を下回っていたら、ブレーキシステムに漏れがあるか、ブレーキパッドが摩耗しています。

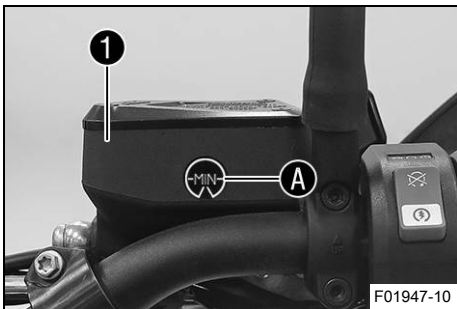
- ブレーキシステムを点検し、問題を解決するまでは車両を走行させないでください。(お近くの KTM 正規ディーラーにお問い合わせ下さい。)



### 警告

**事故の危険性** 老化したブレーキフルードはブレーキ性能を低下させます。

- 前輪および後輪ブレーキのブレーキフルードがサービスプランに従って交換されていることを確認してください。(お近くの KTM 正規ディーラーにお問い合わせ下さい。)



- ハンドルバーに取り付けられているブレーキフルードリザーバーを水平な状態にします。
- ブレーキフルードリザーバー①でブレーキフルードのレベルを確認します。
  - » ブレーキフルードのレベルがMINのマーキングAを下回っている:
    - 前輪ブレーキのブレーキフルードを補給します。👉 (📖 頁 108)

## 14.4 前輪ブレーキのブレーキフルードを補給する👉



### 警告

**事故の危険性** ブレーキシステムはブレーキフルード・レベルが不十分であると稼動しません。ブレーキフルードのレベルが規定のマーキングもしくは規定値を下回っていたら、ブレーキシステムに漏れがあるか、ブレーキパッドが摩耗しています。

- ブレーキシステムを点検し、問題を解決するまでは車両を走行させないでください。(お近くの KTM 正規ディーラーにお問い合わせ下さい。)



### 警告

**皮膚の炎症** ブレーキフルードに接触すると皮膚の炎症の原因となります。

- ブレーキフルードは子供の手の届かないところに保管してください。
- 適切な保護服、保護メガネを着用して下さい。
- ブレーキフルードが皮膚、目、衣服に接触しないよう注意してください。
- ブレーキフルードを飲み込んでしまった場合、即座に受診してください。
- 接触した部分の肌は多量の水で洗ってください。
- ブレーキフルードが目に入ってしまった場合、速やかに水で洗い落とし、受診してください。
- ブレーキフルードが衣服に付着した場合、衣服を取り替えてください。



### 警告

**事故の危険性** 老化したブレーキフルードはブレーキ性能を低下させます。

- 前輪および後輪ブレーキのブレーキフルードがサービスプランに従って交換されていることを確認してください。(お近くの KTM 正規ディーラーにお問い合わせ下さい。)



## 情報

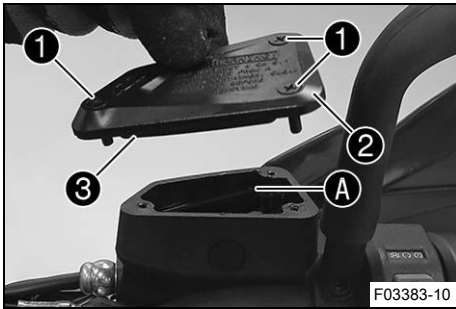
**環境汚染** 問題物資が環境汚染の原因となります。

- オイル、グリース、フィルター、燃料、洗浄剤、ブレーキフルードなどは、定められた規則に従い正しく廃棄して下さい。



## 参考

ブレーキフルード DOT 5 を絶対に使用しないで下さい！ シリコンオイルをベースにしており、紫色に着色してあります。ガスケットとブレーキホースはブレーキフルード DOT 5 での使用に適していません。塗装された部品にブレーキフルードがつかないように注意して下さい。塗装がはげます！ 密閉された容器に保存された、きれいなブレーキフルードのみを使用して下さい！



### 準備作業

- 前輪ブレーキのブレーキパッドを点検します。(📖 頁 109)

### 主な作業

- ハンドルバーに取り付けられているブレーキフルードリザーバーを水平な状態にします。
- スクリュー①を外します。
- カバー②をダイヤフラム③と一緒に外します。
- ブレーキフルードをAのマーキングの位置まで注ぎます。

ブレーキフルード DOT 4 / DOT 5.1 (📖 頁 164)

- カバー②とダイヤフラム③の位置を調整します。
- スクリュー①を取り付け、しっかりと締めます。

### 規定

ブレーキフルードリザーバーカバー、前方	-	1 Nm
---------------------	---	------



## 参考

ブレーキフルードが溢れたりこぼれたりした場合は、すぐに水で洗い流して下さい。

## 14.5 前輪ブレーキのブレーキパッドを点検する



### 警告

**事故の危険性** 磨耗したブレーキパッドはブレーキ性能を低下させます。

- 磨耗したブレーキパッドは速やかに交換しなければなりません。(お近くの KTM 正規ディーラーにお問い合わせ下さい。)

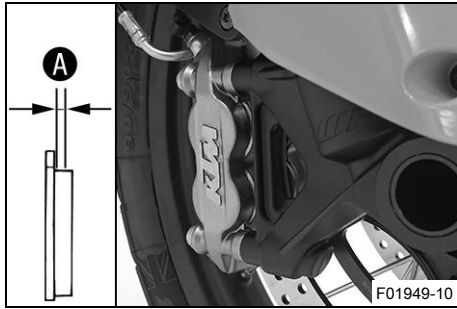


### 警告

**事故の危険性** 破損したブレーキディスクはブレーキ性能を低下させます。

ブレーキパッドの交換が遅れると、ブレーキパッドサポートがブレーキディスクをこすります。その結果、ブレーキ性能が大幅に低下し、ブレーキディスクを破損してしまいます。

- ブレーキパッドを定期的に点検してください。



- 両側のブレーキキャリパーの全てのブレーキパッドで厚み最小値 **A** を確認します。

厚み最小値 <b>A</b>	≥ 1 mm
----------------	--------

» 厚みが最小値を下回っている:

- 前輪ブレーキのブレーキパッドを交換します。🔧
- 両側のブレーキキャリパーの全てのブレーキパッドでひびや損傷がないかを点検します。
- » ひびや損傷がある:
  - 前輪ブレーキのブレーキパッドを交換します。🔧

## 14.6 ブレーキペダルの遊びを点検する

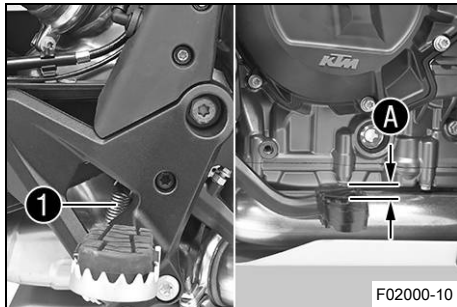


### 警告

**事故の危険性** ブレーキシステムは過熱状態では稼動しません。

ブレーキペダルに遊びがないと、ブレーキシステム内で後輪ブレーキに圧力がかかります。

- ブレーキペダルの遊びを規定値に従って設定してください。



- スプリング **1** を外します。
- ブレーキペダルを、ペダルが上がり切った状態とフットブレーキシリンダーのピストンに触れる間で何度か動かし、遊び **A** を確認します。

規定

ブレーキペダルの遊び	3 ... 5 mm
------------	------------

» 遊びが規定通りになっていない:

- ブレーキペダルの基本位置を調整します。🔧  
(📖 頁 65)
- スプリング **1** を取り付けます。

## 14.7 後輪ブレーキのブレーキフルードのレベルを点検する



### 警告

**事故の危険性** ブレーキシステムはブレーキフルード・レベルが不十分であると稼動しません。

ブレーキフルードのレベルがMINのマーキングを下回っていたら、ブレーキシステムに漏れがあるか、ブレーキパッドが摩耗しています。

- ブレーキシステムを点検し、問題を解決するまでは車両を走行させないでください。(お近くのKTM正規ディーラーにお問い合わせ下さい。)

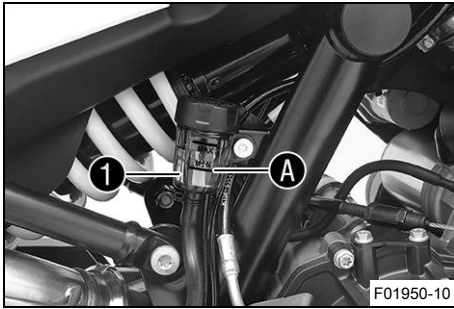


### 警告

**事故の危険性** 老化したブレーキフルードはブレーキ性能を低下させます。

- 前輪および後輪ブレーキのブレーキフルードがサービスプランに従って交換されていることを確認してください。(お近くのKTM正規ディーラーにお問い合わせ下さい。)





- 車両を垂直に立てます。
- ブレーキフルードリザーバー①でブレーキフルードのレベルを確認します。
  - » フルードのレベルがMINのマーキングAまで下がっている:
    - 後輪ブレーキのブレーキフルードを補給します。↘  
(📖 頁 111)

## 14.8 後輪ブレーキのブレーキフルードを補給する ↘



### 警告

**事故の危険性** ブレーキシステムはブレーキフルード・レベルが不十分であると稼動しません。ブレーキフルードのレベルがMINのマーキングを下回っていたら、ブレーキシステムに漏れがあるか、ブレーキパッドが摩耗しています。

- ブレーキシステムを点検し、問題を解決するまでは車両を走行させないでください。(お近くのKTM正規ディーラーにお問い合わせ下さい。)



### 警告

**皮膚の炎症** ブレーキフルードに接触すると皮膚の炎症の原因となります。

- ブレーキフルードは子供の手の届かないところに保管してください。
- 適切な保護服、保護メガネを着用して下さい。
- ブレーキフルードが皮膚、目、衣服に接触しないよう注意してください。
- ブレーキフルードを飲み込んでしまった場合、即座に受診してください。
- 接触した部分の肌は多量の水で洗ってください。
- ブレーキフルードが目に入ってしまった場合、速やかに水で洗い落とし、受診してください。
- ブレーキフルードが衣服に付着した場合、衣服を取り替えてください。



### 警告

**事故の危険性** 老化したブレーキフルードはブレーキ性能を低下させます。

- 前輪および後輪ブレーキのブレーキフルードがサービスプランに従って交換されていることを確認してください。(お近くのKTM正規ディーラーにお問い合わせ下さい。)



### 情報

**環境汚染** 問題物資が環境汚染の原因となります。

- オイル、グリース、フィルター、燃料、洗浄剤、ブレーキフルードなどは、定められた規則に従い正しく廃棄して下さい。

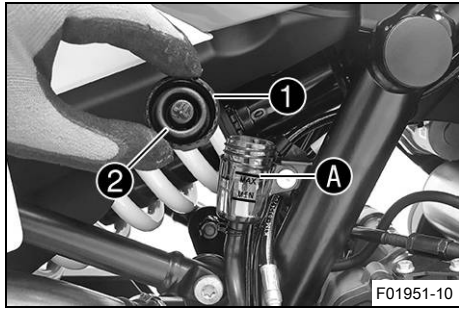


### 参考

ブレーキフルード DOT 5 を絶対に使用しないで下さい！ シリコンオイルをベースにしており、紫色に着色してあります。ガスケットとブレーキホースはブレーキフルード DOT 5 での使用に適していません。塗装された部品にブレーキフルードがつかないように注意して下さい。塗装がはげます！ 密閉された容器に保存された、きれいなブレーキフルードのみを使用して下さい！

### 準備作業

- 後輪ブレーキのブレーキパッドを点検します。(📖 頁 112)



### 主な作業

- 車両を垂直に立てます。
- スクリューキャップ①をインサート、ダイヤフラム②と一緒に外します。
- ブレーキフルードをMAXのマーキングの位置Aまで注ぎます。

ブレーキフルード DOT 4 / DOT 5.1 (📖 頁 164)

- スクリューキャップ①をインサートとダイヤフラム②と一緒に取り付け、しっかりと締めます。

### 規定

ブレーキフルードリザーバーカバー、後方	-	1.5 Nm
---------------------	---	--------

### 参考

ブレーキフルードが溢れたりこぼれたりした場合は、すぐに水で洗い流して下さい。

## 14.9 後輪ブレーキのブレーキパッドを点検する



### 警告

**事故の危険性** 磨耗したブレーキパッドはブレーキ性能を低下させます。

- 磨耗したブレーキパッドは速やかに交換しなければなりません。(お近くの KTM 正規ディーラーにお問い合わせ下さい。)

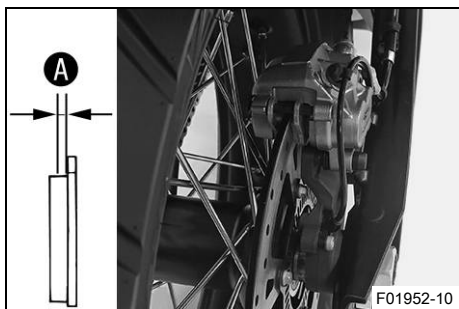


### 警告

**事故の危険性** 破損したブレーキディスクはブレーキ性能を低下させます。

ブレーキパッドの交換が遅れると、ブレーキパッドサポートがブレーキディスクをこすります。その結果、ブレーキ性能が大幅に低下し、ブレーキディスクを破損してしまいます。

- ブレーキパッドを定期的に点検してください。



- ブレーキパッド厚みAの最小値を確認します。

厚み最小値A	≥ 1 mm
--------	--------

» 厚みが最小値を下回っている:

- 後輪ブレーキのブレーキパッドを交換します。↘
- ブレーキパッドにひびや破損がないか点検します。
- » ひびや損傷がある:
  - 後輪ブレーキのブレーキパッドを交換します。↘

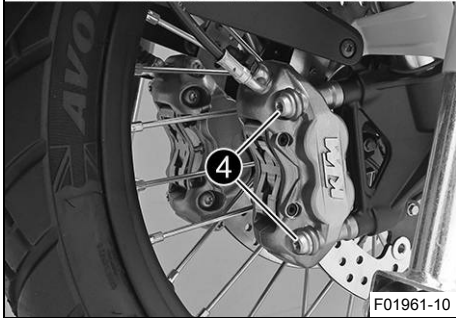
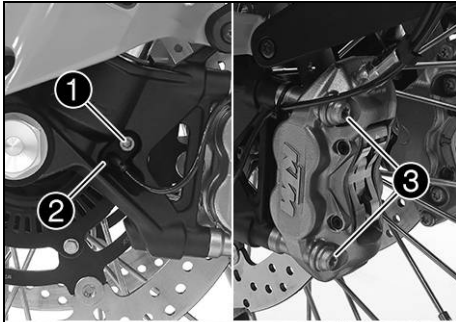
15.1 前輪を取り外す

準備作業

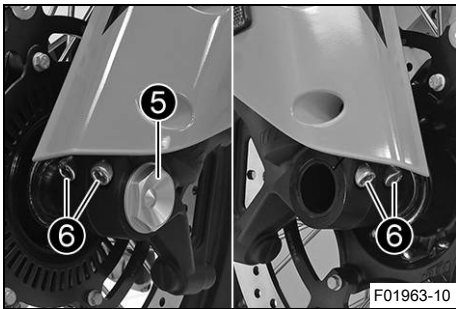
- 車両をリアスタンドで持ち上げます。(📖 頁 84)
- フロントスタンドで車両を持ち上げます。(📖 頁 84)

主な作業

- スクリュー①を外し、車輪速度センサー②を穴から抜きます。
- スクリュー③と④を外します。
- ブレーキディスク上で左右のブレーキキャリパーを軽く横に傾け、ブレーキパッドを押し戻します。左右のブレーキキャリパーを慎重に後ろへ引いてブレーキディスクから外し、脇にかけておきます。



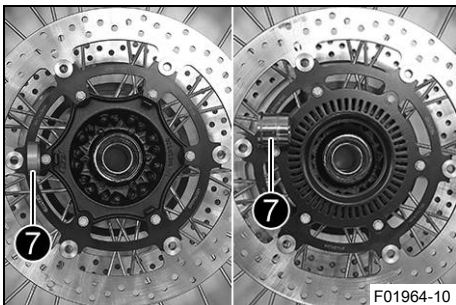
**i 参考**  
ブレーキキャリパーを外した状態でブレーキレバーを作動しないで下さい。



- スクリュー⑤を数回転分緩めます。
- スクリュー⑥を緩めます。
- スクリュー⑤を押し、アクスルシャフトをフォークレッグの穴から押し出します。
- スクリュー⑤を外します。

**⚠ 警告**  
**事故の危険性** 破損したブレーキディスクはブレーキ性能を低下させます。  
- ブレーキディスクが損傷する事のないよう、ホイールの取り外しには注意して下さい。

- 前輪を支え、アクスルシャフトを取り外します。前輪をフロントフォークから取り外します。
- スペーサー⑦を取り外します。



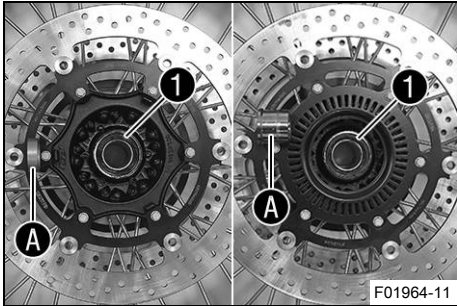
## 15.2 前輪を取り付ける



### 警告

**事故の危険性** オイルやグリースがブレーキディスクに付着するとブレーキ性能が低下します。

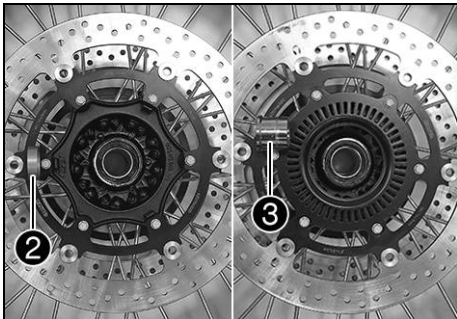
- ブレーキディスクを常にオイルやグリースから保護してください。
- 必要な場合、ブレーキディスクをブレーキ洗浄剤を使って清掃してください。



F01964-11

- ホイールベアリングに磨耗や損傷がないかを点検します。
  - » ホイールベアリングが磨耗または損傷している:
    - 前方ホイールベアリングを交換します。
- シャフトのラジアルシールリング①とスペーサーの接触面Aを清掃し、グリースアップします。

耐久性グリース ( 頁 166 )

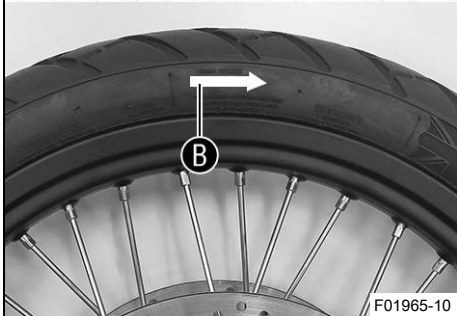


- 幅が小さい方のスペーサー②を進行方向に向かって右に取り付けます。
- 幅が大きい方のスペーサー③を進行方向に向かって左に取り付けます。

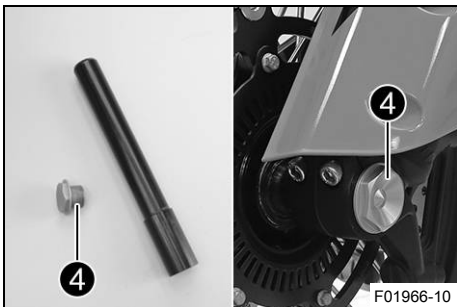


### 参考

矢印Bが前輪の進行方向を示しています。車輪速度センサー付きホイールは進行方向に向かって左側に設置されています。



F01965-10



F01966-10

- スクリュー④とアクスルシャフトを清掃します。
- アクスルシャフトを軽くグリースアップします。

耐久性グリース ( 頁 166 )

- 前輪をフロントフォークの高さまで持ち上げ、位置を調整してアクスルシャフトを差し込みます。
- スクリュー④を取り付け、しっかりと締めます。

### 規定

前方アクスルシャフト用スクリュー	M25x1.5	45 Nm ねじ山にはグリースを塗布
------------------	---------	-----------------------



- 両側のブレーキキャリパーの位置を調整します。  
✓ ブレーキパッドの位置が正しく調整されています。
- 両側のスクリュー⑤を取り付け、締めないままにしておきます。

規定

前方ブレーキキャリパー用スクリュー	M10x1.25	45 Nm	Loctite®243™
-------------------	----------	-------	--------------

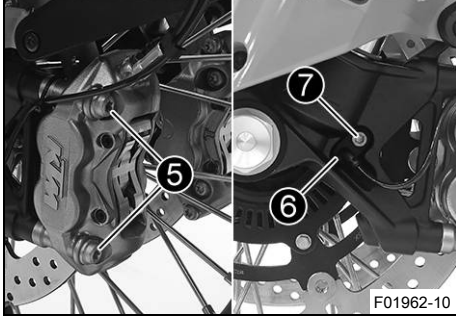
- ブレーキパッドがブレーキディスクに接触して抵抗が感じられるまで、ブレーキレバーを何度か作動します。ブレーキレバーを作動した状態で固定します。

✓ ブレーキキャリパーの位置が調整されます。

- 両側でスクリュー⑤をしっかりと締めます。

規定

前方ブレーキキャリパー用スクリュー	M10x1.25	45 Nm	Loctite®243™
-------------------	----------	-------	--------------



- 車輪速度センサー⑥を穴に差し込み、位置を調整します。
- スクリュー⑦を取り付け、しっかりと締めます。

規定

前輪速度センサー用スクリュー	M6	10 Nm	
----------------	----	-------	--

- ブレーキレバーの固定を解きます。
- フロントスタンドから車両を降ろします。(📖 頁 85)
- リアスタンドから車両を降ろします。(📖 頁 84)

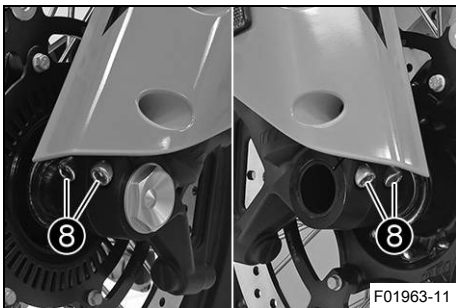
- 前輪のブレーキを作動し、フロントフォークのスプリングを何度か強く圧縮します。

✓ フォークレグの位置が調整されます。

- スクリュー⑧をしっかりと締めます。

規定

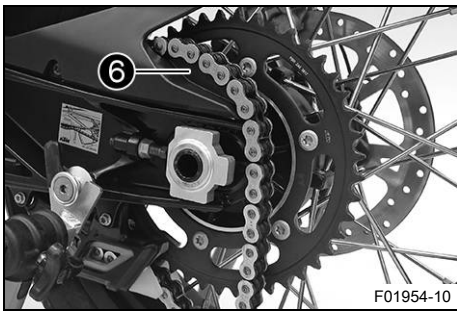
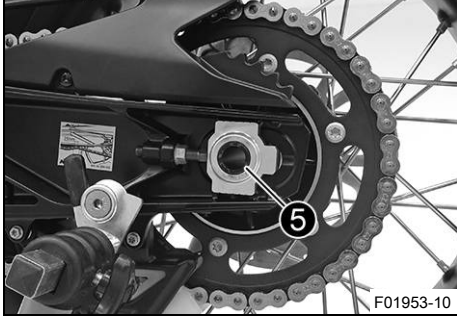
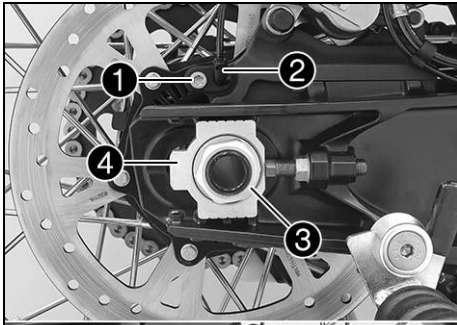
フォークレグのアクスル通し穴用スクリュー	M8	15 Nm	
----------------------	----	-------	--



### 15.3 後輪を取り外す

#### 準備作業

- 車両をリアスタンドで持ち上げます。(📖 頁 84)



### 主な作業

- 手でブレーキキャリパーをブレーキディスクに向かって押し、ブレーキピストンを押し戻します。
- スクリュー①を外し、車輪速度センサー②を穴から抜きます。
- ナット③を外します。チェーンアジャスター④を取り外します。
- 後輪が前方に動かせるところまで、アクスルシャフト⑤を引き出します。

- 後輪をできるだけ前方に押します。チェーンをリアスプロケットから外し、チェーン掛け⑥にかけます。

### 参考

部品を損傷させないように、カバーをかけて保護します。

- 後輪を支え、アクスルシャフトを取り外します。
- キャリパーサポートがブレーキディスクから外れてブレーキディスクとリムの間にくるまで、後輪を後ろに引きます。

### 警告

**事故の危険性** 破損したブレーキディスクはブレーキ性能を低下させます。

- ブレーキディスクが損傷する事のないよう、ホイールの取り外しには注意して下さい。

- スイングアームから後輪を外します。

### 参考

後輪を取り外した状態でブレーキペダルを作動しないで下さい。

## 15.4 後輪を取り付ける

**警告**

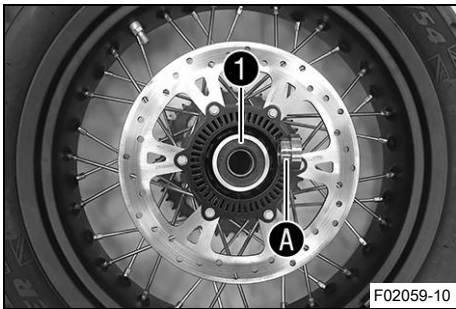
**事故の危険性** オイルやグリースがブレーキディスクに付着するとブレーキ性能が低下します。

- ブレーキディスクを常にオイルやグリースから保護してください。
- 必要な場合、ブレーキディスクをブレーキ洗浄剤を使って清掃してください。

**警告**

**事故の危険性** 後輪取り付け直後には後輪ブレーキにはブレーキ性能がありません。

- 走行を開始する前にしっかりとした圧点を感じることができるようになるまでフットブレーキを何回か作動させてください。

**主な作業**

- 後輪のハブダンパーを点検します。🔧 (📖 頁 118)
- ホイールベアリングに磨耗や損傷がないかを点検します。
  - » ホイールベアリングが磨耗または損傷している:
    - 後輪のホイールベアリングを交換します。🔧
- スペーサーを取り外します。
- シャフトのラジアルシールリング ❶ とスペーサーの接触面 ❷ を清掃し、グリースアップします。

耐久性グリース (📖 頁 166)

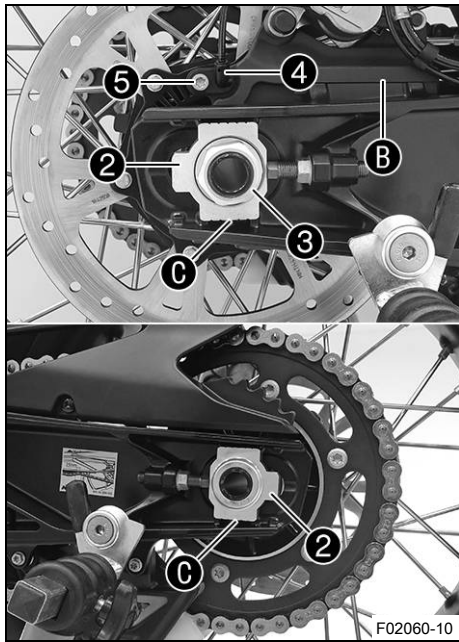
- スペーサーを取り付けます。
- アクスルシャフトとナットのねじ山を清掃してグリースアップします。

耐久性グリース (📖 頁 166)

- アクスルシャフトを清掃し、軽くグリースアップします。

耐久性グリース (📖 頁 166)

- ブレーキキャリパーとスイングアームのかみ合わせ部を清掃します。



- キャリパーサポートのベアリング **B** とスイングアームをかみ合わせます。
- 後輪をスイングアームの位置まで持ち上げ、位置を調整し、アクスルシャフトを差し込みます。  
✓ ブレーキパッドの位置が正しく調整されています。
- チェーンをスプロケットにかけます。
- チェーンアジャスター **2** の位置を調整します。ナット **3** を取り付け、締めないままにしておきます。

### **i** 参考

左右のチェーンアジャスターを同じポジションで取り付けして下さい。

- チェーンアジャスター **2** が調節スクリーに接触している事を確認します。ナット **3** をしっかりと締めます。

#### 規定

後輪の位置が正しく調整されるよう、左右のチェーンアジャスターに付けられたマーキングが目印 **C** に対して同じ位置にくるように取り付けして下さい。

後輪アクスルシャフト用ナット	M25x1.5	90 Nm ねじ山とアクスルシャフトの設置面がグリースアップされている
----------------	---------	--

- 車輪速度センサー **4** を穴に差し込み、位置を調整します。
- スクリュー **5** を取り付け、しっかりと締めます。

#### 規定

後輪速度センサー用スクリュー	M6	6 Nm
----------------	----	------

- ブレーキパッドがブレーキディスクに接触して抵抗が感じられるまで、ブレーキペダルを何度か作動します。

#### その後の作業

- チェーンの遊びを点検します。(📖 頁 88)
- リアスタンドから車両を降ろします。(📖 頁 84)

## 15.5 後輪のハブダンパーを点検する

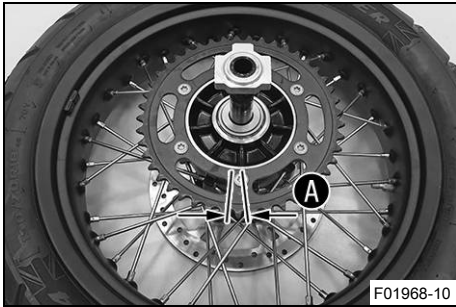
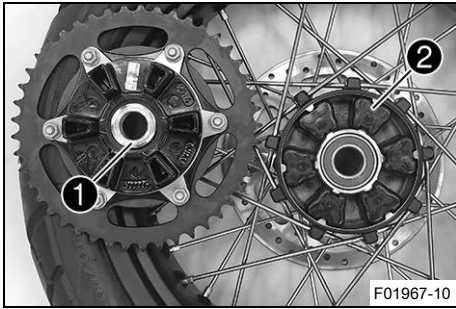
### **i** 参考

エンジンの力はリアスプロケットから6つのハブダンパーを通して後輪に伝えられます。車両の使用によりハブダンパーは摩耗していきます。ハブダンパーを適時に交換しないと、リアスプロケットサポートと後輪ハブを損傷してしまいます。

#### 準備作業

- 車両をリアスタンドで持ち上げます。(📖 頁 84)
- 後輪を取り外します。(📖 頁 115)





**主な作業**

- ベアリング①を点検します。
  - » ベアリングが破損または磨耗している：
    - リアスプロケットサポートのベアリングを交換します。↘
- 後輪のハブダンパー②に破損・摩耗が無い点検します。
  - » 後輪のハブダンパーが摩耗または損傷している：
    - 後輪のハブダンパー全てを交換します。
- リアスプロケットを上にして後輪を作業台の上に置き、アクスルシャフトをハブに差し込みます。
- 遊びAを確認するため、後輪を押さえた状態でリアスプロケットを手で回してみます。



**参考**

遊びはリアスプロケットの外側で測定して下さい。

後輪のハブダンパーの遊び	≤ 5 mm
--------------	--------

- » 遊びAが記載された値より大きい：
  - 後輪のハブダンパー全てを交換します。↘

**その後の作業**

- 後輪を取り付けます。↘ (📖 頁 117)
- チェーンの遊びを点検します。(📖 頁 88)
- リアスタンドから車両を降ろします。(📖 頁 84)

**15.6 タイヤの状態を点検する**



**警告**

**事故の危険性** タイヤが走行中にパンクしてしまった場合、車両をコントロールすることができなくなります。

- 破損した、またはすり減ったタイヤが速やかに交換されていることを確認してください。(お近くのKTM正規ディーラーにお問い合わせ下さい。)



**警告**

**転倒の危険性** 前輪と後輪のトレッドが異なると走行性能に影響を及ぼします。

異なるトレッドのタイヤを使用すると車両のコントロールが大幅に難しくなります。

- 前輪と後輪に同様のトレッドのタイヤが装着されていることを確認してください。



**警告**

**事故の危険性** 承認または推奨されていないタイヤならびに車輪を装着した場合、走行性能が損なわれます。

- KTMにより承認および推奨された適切な速度記号のタイヤならびに車輪のみを使用して下さい。



## 警告

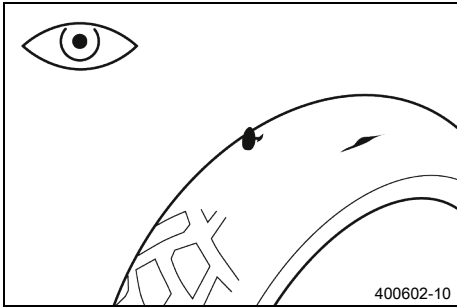
**事故の危険性** 新しいタイヤのグリップ力はまだ十分なものではありません。  
新しいタイヤの接地面はまだ十分に慣らされていません。

- 新しいタイヤの場合は傾きを変えて慎重に慣らし走行を行って下さい。  
慣らし走行期間 200 km



## 参考

タイヤの種類、状態、空気圧は車両の制動性能および走行性能に影響を与えます。  
タイヤがすり減っていると、路面が濡れている場合などは特に走行性能に悪影響を与えます。



- 前輪・後輪のタイヤに亀裂がないか、異物が刺さっていないか、その他損傷がないかを点検します。
  - » タイヤに亀裂や損傷がある、または異物が刺さっている:
    - タイヤを交換します。↘
- 溝の深さを点検します。

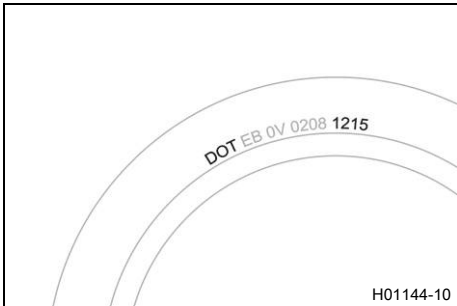


## 参考

各国法律により定められている溝の深さの最小値を守ってください。

溝の深さ最小値	≥ 2 mm
---------	--------

- » 溝の深さが最小値を下回っている:
  - タイヤを交換します。↘
- タイヤの製造日を確認します。



## 参考

通常、タイヤの製造日はタイヤに記載されており、DOTコードの下4桁の数字で表されています。最初の2桁が製造週を、残りの2桁が製造年を示しています。KTMでは、実際の磨耗状態にかかわらず、遅くとも製造日から5年を経過したらタイヤ交換する事をお勧めしています。

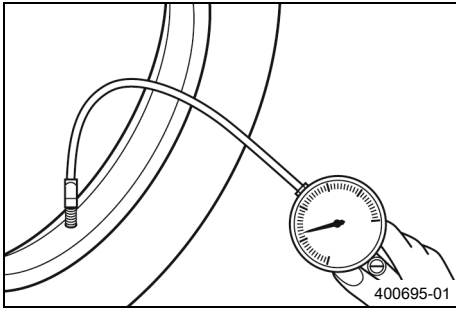
- » タイヤの製造日が5年以上前である:
  - タイヤを交換します。↘

## 15.7 タイヤ空気圧を点検する



## 参考

タイヤの空気圧が低過ぎると異常な磨耗が発生し、タイヤが過熱します。  
適正な空気圧により快適な走行が可能となり、タイヤの寿命も延びます。



- カバーキャップを外します。
- タイヤが冷えた状態で空気圧を点検します。

同乗者なし / 同乗者ありでのタイヤの空気圧	
前輪	2.4 bar
後輪	2.4 bar

最大積載量でのタイヤの空気圧	
前輪	2.6 bar
後輪	2.9 bar

- » タイヤの空気圧が規定通りになっていない:
  - タイヤの空気圧を調節します。
- カバーキャップを取り付けます。



## 15.8 スポークの張りを点検する

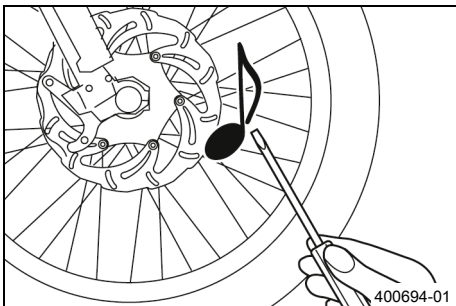


### 警告

**事故の危険性** スポークの張りが不適切な場合、走行性能に影響を及ぼし、その結果として損害を招くことがあります。

スポークを張り過ぎた場合、過負荷によりスポークが折れます。スポークが緩すぎる場合、ホイールが横または縦方向に歪みやすくなります。その結果その他のスポークが緩んでしまいます。

- 特に新しい車両など、スポークの張りを定期的に点検してください。(お近くの KTM 正規ディーラーにお問い合わせ下さい。)



- ドライバーの刃先で各スポークを軽くたたきます。

### i 参考

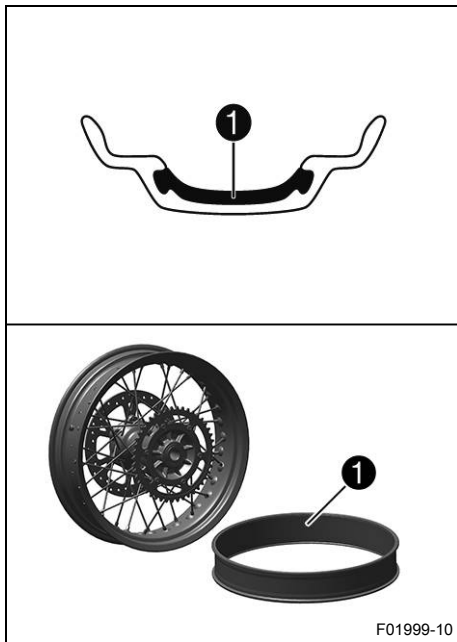
スポークの長さとおさによって音の響きが違います。長さとおさが同じスポークで異なった響きがある場合は、張り状態が異なります。

明るい響きがすれば良い状態です。

- » スポークの張りが均等でない:
  - スポークの張りを調整します。↩

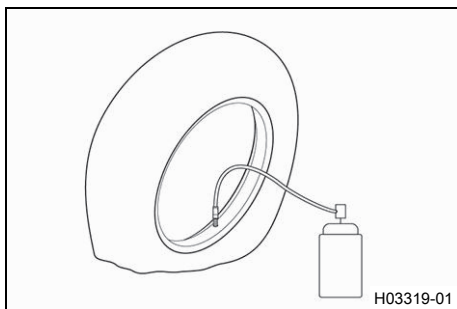


## 15.9 チューブレスタイヤシステム



この車両は従来のタイヤのチューブの役目を果たすインナーライナー①を使ったチューブレスタイヤシステムを使用しています。チューブレスシステムの特長はチューブ破損の危険性が軽減されることです。急激な減圧の危険性が大幅に減少します。従来のワイヤースポークホイールを使用するよりも慣性モーメントが小さくなります。その結果、ハンドリング性能や快適性の向上につながります。頑丈なリム設計によりワイヤースポークホイールはほぼメンテナンスフリーです。KTM では、実際の磨耗状態にかかわらず、遅くとも製造日から5年を経過したらインナーライナーを交換する事をお勧めしています。

## 15.10 パンク修理剤の使用法



### 警告

**事故の危険性** パンク修理剤を誤って使用すると、タイヤの空気圧を低下させてしまいます。

パンク修理剤は全てのタイヤの損傷を修理できるものではありません。

- パンク修理剤メーカーからの注意事項や指示に従ってください。
- パンク修理剤で修繕を行った場合、低速度で注意深く走行してください。
- 修繕後は最寄の修理工場まで走行し、そこでタイヤを交換してください。それ以上の距離は走行しないで下さい。

パンク修理剤は緊急時のみに使用してください。パンクした車両を修理剤を使って修理するよりも、できれば、最寄の修理工場へ車両を輸送してください。

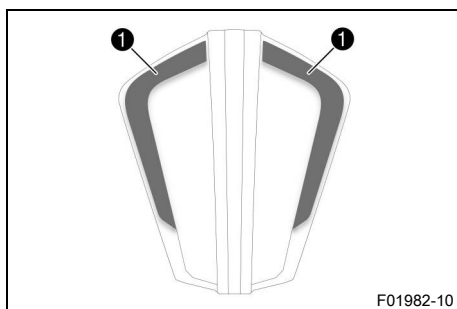
(選択オプション: TPMS を搭載)

### 情報

**部品の損傷** パンク修理剤はタイヤ圧センサーに損傷を与えます。

- パンク修理剤使用後は、タイヤ圧センサーの交換しなければならない場合がある点に注意してください。

## 16.1 デイライト (DRL)

**警告**

**事故の危険性** デイライトは視界が悪い場合ヘッドライトを代替するものではありません。

霧、降雪、雨により視界が極めて悪い場合、デイライトとヘッドライトの自動切換えがその機能を十分に発揮できない場合があります。

- 常に適切な照明方法が選択されていることを確認してください。
- 場合によっては走行前に、または静止状態で、ヘッドライトが常に点灯状態であるようにメニューを利用してデイライトをオフにしてください。
- ロービームが必要にもかかわらずメニュー項目が利用できない場合は、診断ツールでデイライトが無効化されていることを確認してください。(お近くのKTM正規ディーラーにお問い合わせ下さい。)
- デイライトに関する法規定に従って下さい。

デイライト (DRL) はメインヘッドライトに統合されています。デイライト (DRL) は視界のよい状況でのみ使用できます。デイライト (DRL) はコンビネーションインストルメントでオンにされています。

制御はコンビネーションインストルメントの周囲光センサーにより行われます。主に視界が良好な状態ではロービームが停止し、デイライトが作動します。

**参考**

ポジションライト ① はどの照明が選択されていても点灯します。

## 16.2 12V バッテリーを取り外す

**警告**

**人体への危険** バッテリー液、バッテリーから発生する気体は重大な化学火傷を引き起こす恐れがあります。

- 12V バッテリーは子供の手の届かないところに保管して下さい。
- 適切な保護服、保護メガネを着用して下さい。
- バッテリー液やバッテリーからの発生ガスとの接触は避けてください。
- 12-V バッテリーを火花や炎に近づけないで下さい。
- 12-V バッテリーの充電は必ず換気の良い場所で行って下さい。
- 接触した部分の肌は即座に多量の水で洗ってください。
- バッテリー液やバッテリーからの発生ガスが目にはいつてしまった場合、少なくとも 15 分間水で洗い落とし、速やかに受診してください。



## 注意

**事故の危険性** 12Vバッテリーがあがった状態、または12Vバッテリー無しでは電子部品および安全関連装置を破損してしまいます。

12Vバッテリーがあがっていたり、故障している場合、特にエンジン始動時に車両の電気系統の不具合が発生する可能性があります。

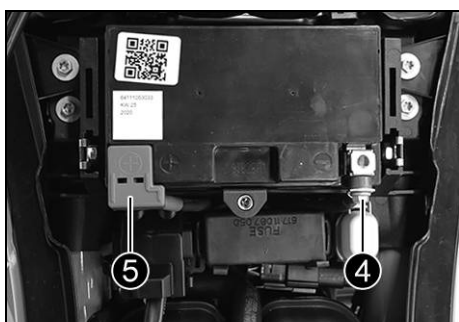
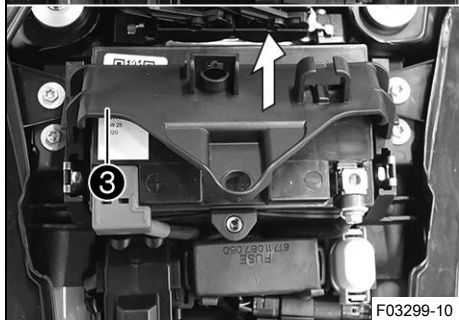
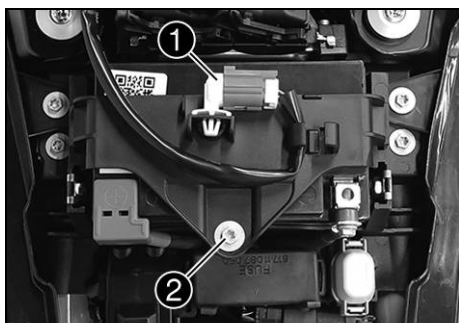
- 12Vバッテリーがあがった状態、もしくは12Vバッテリー無しで車両を運転する事は絶対に避けて下さい。

## 準備作業

- リアシートを取り外します。(📖 頁 85)
- フロントシートを取り外します。(📖 頁 86)
- バッテリーカバーを取り外します。(📖 頁 93)

## 主な作業

- 診断プラグ①をホルダーから外し、脇に垂らしておきます。
- スクリュー②を外します。
- バッテリーサポートブラケット③の後方を持ち上げ、上方に取り外します。



- 12Vバッテリーからマイナスケーブル④を外します。
- プラス極のカバー⑤を外します。
- 12Vバッテリーからプラスケーブル⑥を外します。
- 12Vバッテリーを上へ引いてバッテリーコンパートメントから外します。

## 16.3 12V バッテリーを取り付ける

**警告**

**人体への危険** バッテリー液、バッテリーから発生する気体は重大な化学火傷を引き起こす恐れがあります。

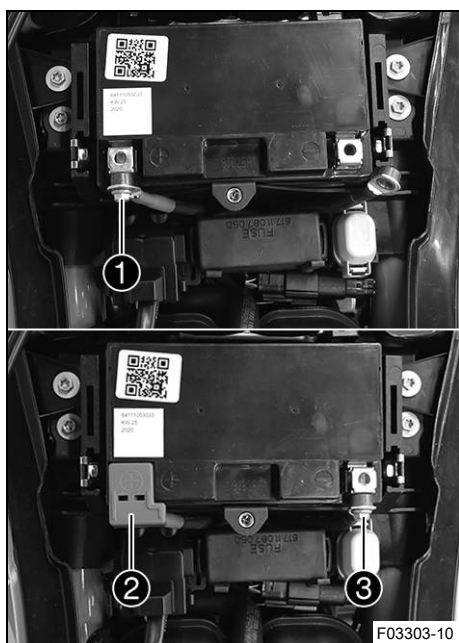
- 12V バッテリーは子供の手の届かないところに保管して下さい。
- 適切な保護服、保護メガネを着用して下さい。
- バッテリー液やバッテリーからの発生ガスとの接触は避けてください。
- 12-V バッテリーを火花や炎に近づけないで下さい。
- 12-V バッテリーの充電は必ず換気の良い場所で行って下さい。
- 接触した部分の肌は即座に多量の水で洗ってください。
- バッテリー液やバッテリーからの発生ガスが目にはいつてしまった場合、少なくとも 15 分間水で洗い落とし、速やかに受診してください。

**注意**

**事故の危険性** 12V バッテリーがあがった状態、または 12V バッテリー無しでは電子部品および安全関連装置を破損してしまいます。

12V バッテリーがあがっていたり、故障している場合、特にエンジン始動時に車両の電気系統の不具合が発生する可能性があります。

- 12V バッテリーがあがった状態、もしくは 12V バッテリー無しで車両を運転する事は絶対に避けて下さい。

**主な作業**

- 12V バッテリーをバッテリーコンパートメントに配置します。

12V バッテリー (HTZ12A-BS) (📖 頁 155)

- ✓ 電極が進行方向の反対に向いています。

- プラスケーブル ①と 12V バッテリーを接続します。

規定

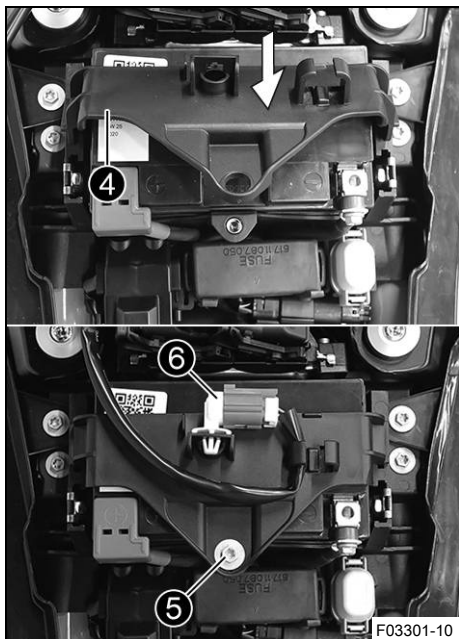
バッテリー電極用スクリュー	M6	4.5 Nm
---------------	----	--------

- プラス極のカバー ②を取り付けます。

- マイナスケーブル ③と 12V バッテリーを接続します。

規定

バッテリー電極用スクリュー	M6	4.5 Nm
---------------	----	--------



- 左右のバッテリーサポートブラケット④を突起部にはめ、後方および下に向かって押し込みます。
- スクリュー⑤を取り付け、しっかりと締めます。

規定

バッテリーサポートブラケット用スクリュー	M6	5 Nm
----------------------	----	------

- 診断プラグ⑥をホルダーに合わせて調整します。

### その後の作業

- バッテリーカバーを取り付けます。(📖 頁 94)
- フロントシートを取り付けます。(📖 頁 86)
- リアシートを取り付けます。(📖 頁 86)
- 時刻と日付を設定します。

## 16.4 12V バッテリーを充電する



### 警告

**人体への危険** バッテリー液、バッテリーから発生する気体は重大な化学火傷を引き起こす恐れがあります。

- 12V バッテリーは子供の手の届かないところに保管して下さい。
- 適切な保護服、保護メガネを着用して下さい。
- バッテリー液やバッテリーからの発生ガスとの接触は避けてください。
- 12-V バッテリーを火花や炎に近づけないで下さい。
- 12-V バッテリーの充電は必ず換気の良い場所で行って下さい。
- 接触した部分の肌は即座に多量の水で洗ってください。
- バッテリー液やバッテリーからの発生ガスが目にはいつてしまった場合、少なくとも 15 分間水で洗い落とし、速やかに受診してください。



### 情報

**環境汚染** 12V バッテリーには環境に悪影響を与える物質が含まれています。

- 12V バッテリーは家庭用ゴミとして廃棄しないで下さい。
- 12V バッテリーを廃棄する場合、使用済みバッテリーの回収場所に持ち込んで下さい。



### 情報

**環境汚染** 問題物資が環境汚染の原因となります。

- オイル、グリス、フィルター、燃料、洗浄剤、ブレーキフルードなどは、定められた規則に従い正しく廃棄して下さい。



**i 参考**

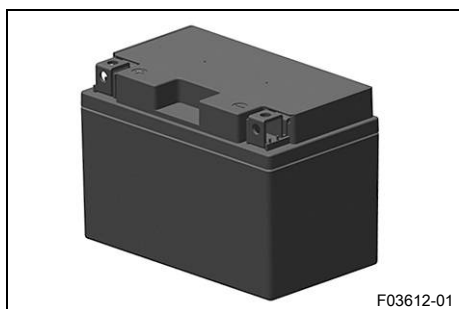
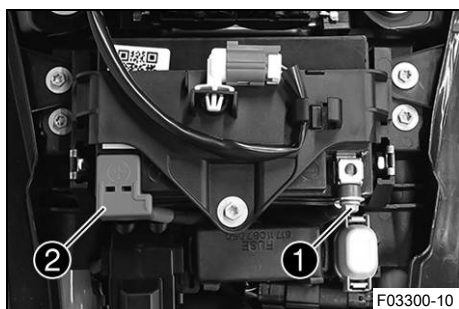
12V バッテリーは使用しなくても毎日放電しています。  
 12V バッテリーの寿命は充電量と充電方法に大きく左右されます。  
 大きな電流により短時間で充電すると寿命に悪影響を与えます。  
 充電電流、充電電圧、充電時間が規定値を超えると、電解液が安全バルブから漏れ出ます。これにより12V バッテリーの容量が減ってしまいます。  
 エンジン始動で12V バッテリーがあがってしまった場合は、すぐに充電して下さい。  
 放電し切った状態で長く放置すると過放電と硫酸化が起こり、12V バッテリー容量が失われ、バッテリーが破損します。  
 この12V バッテリーはメンテナンスフリーです。電解液レベルの点検を行う必要はありません。

**準備作業**

- リアシートを取り外します。(📖 頁 85)
- フロントシートを取り外します。(📖 頁 86)
- バッテリーカバーを取り外します。(📖 頁 93)

**主な作業**

- 車載電子部品を破損しないよう、12V バッテリーのマイナスケーブル①を外します。
- プラス極のカバー②を外します。



- 充電器と12V バッテリーを接続します。充電器を電源に接続します。

バッテリー充電器 (58429074200)

この充電器では12V バッテリーの過充電はできません。  
 この充電器はリチウムイオンバッテリーに適したものではありません。

**i 参考**

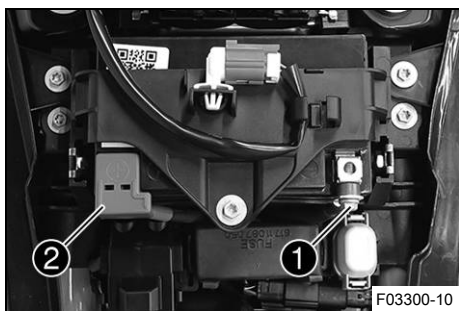
バッテリーケースに記載された容量の最大10%で12V バッテリーを充電します。

- 充電が終了したら充電器を電源と12V バッテリーから外します。

**規定**

充電電流、充電電圧、充電時間が規定値を超えないよう注意して下さい。

車両を使用しないときは、12V バッテリーを定期的に充電して下さい	3ヶ月
-----------------------------------	-----



- プラス極のカバー**②**を取り付けます。
- マイナスケーブル**①**と 12V バッテリーを接続します。

規定

バッテリー電極用スクリュー	M6	4.5 Nm
---------------	----	--------

### その後の作業

- バッテリーカバーを取り付けます。(📖 頁 94)
- フロントシートを取り付けます。(📖 頁 86)
- リアシートを取り付けます。(📖 頁 86)
- 時刻と日付を設定します。

## 16.5 メインヒューズを交換する



### 警告

**火災の危険性** 不適切なヒューズは電気装置に過負荷をかけます。

- 指定されたアンペア値のヒューズのみを使用してください。
- 切れたヒューズをつないだり修理しないで下さい。



### 参考

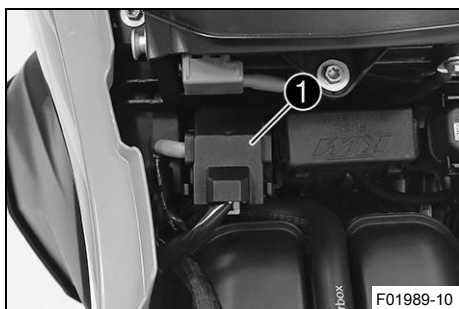
メインヒューズが車両上の全ての電装系部品を保護しています。メインヒューズはリアシートの下に設置されています。

### 準備作業

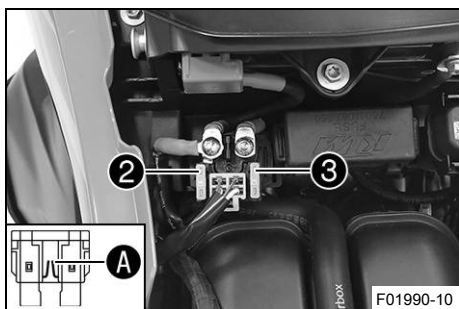
- リアシートを取り外します。(📖 頁 85)

### 主な作業

- 保護キャップ**①**を外します。



- 損傷したメインヒューズ**②**を取り外します。



### 参考

ヒューズワイヤが壊れている場合**Ⓐ**はヒューズに欠陥があります。

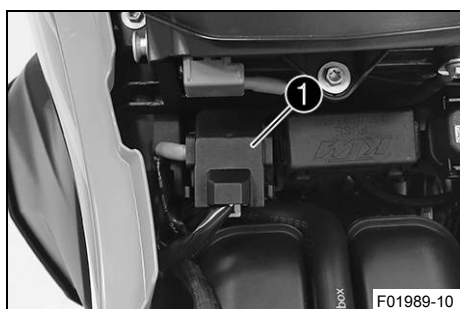
セルフスターターリレーにスペアヒューズ**③**が差し込んであります。

- 新しいメインヒューズを取り付けます。

ヒューズ (58011109130) (📖 頁 155)

**i** ヒント

新しいスペアヒューズをセルフスターターリレーに取り付け、必要な場合に使用できるようにしておきます。



- 保護キャップ**①**を取り付けます。

**その後の作業**

- フロントシートを取り付けます。(📖 頁 86)
- リアシートを取り付けます。(📖 頁 86)
- 時刻と日付を設定します。

**16.6 ABS のヒューズを交換する****警告**

**火災の危険性** 不適切なヒューズは電気装置に過負荷をかけます。

- 指定されたアンペア値のヒューズのみを使用してください。
- 切れたヒューズをつないだり修理しないで下さい。

**参考**

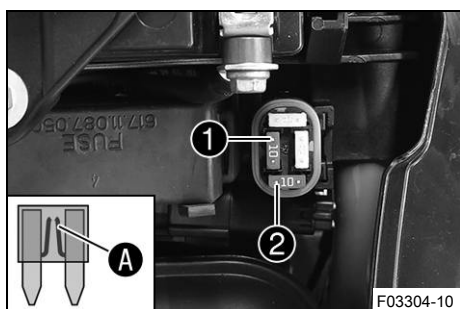
ABS 用の 2 つのヒューズはリアシートの下にあります。この 2 つのヒューズで ABS のリターンポンプと油圧ユニットを保護します。ABS コントロールユニットを保護している 3 つ目のヒューズは、ヒューズボックス内に設置されています。

**準備作業**

- リアシートを取り外します。(📖 頁 85)
- フロントシートを取り外します。(📖 頁 86)

**ABS 油圧ユニットのヒューズを交換する:**

- カバーキャップを外し、ヒューズ**①**を取り外します。

**i** 参考

ヒューズワイヤが壊れている場合 **A** はヒューズに欠陥があります。

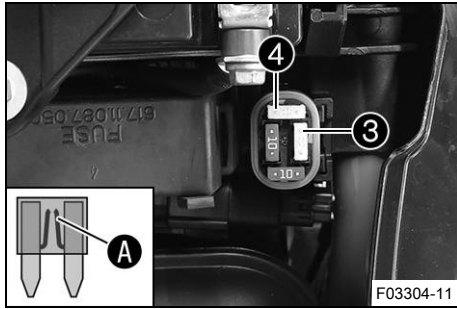
- 対応する容量のスペアヒューズを取り付けます。

ヒューズ (75011088010) (📖 頁 155)

**i** ヒント

新しいスペアヒューズ**②**をヒューズボックスに取り付け、必要な場合に使用できるようにしておきます。

- カバーキャップを取り付けます。



### ABS リターンポンプのヒューズを交換する:

- カバーキャップを外し、ヒューズ③を取り外します。

**i 参考**  
ヒューズワイヤが壊れている場合 A はヒューズに欠陥があります。

- 対応する容量のスペアヒューズを取り付けます。

ヒューズ (75011088025) (📖 頁 155)

**i ヒント**  
新しいスペアヒューズ④をヒューズボックスに取り付け、必要な場合に使用できるようにしておきます。

- カバーキャップを取り付けます。

### その後の作業

- フロントシートを取り付けます。(📖 頁 86)
- リアシートを取り付けます。(📖 頁 86)

## 16.7 各電装系部品のヒューズを交換する



### 警告

**火災の危険性** 不適切なヒューズは電気装置に過負荷をかけます。

- 指定されたアンペア値のヒューズのみを使用してください。
- 切れたヒューズをつないだり修理しないで下さい。



### 参考

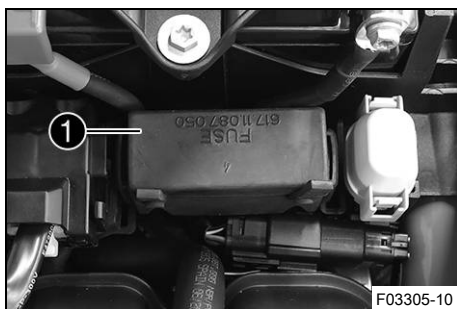
各電装系部品のヒューズが設置されたヒューズボックスはシートの下に設置されています。

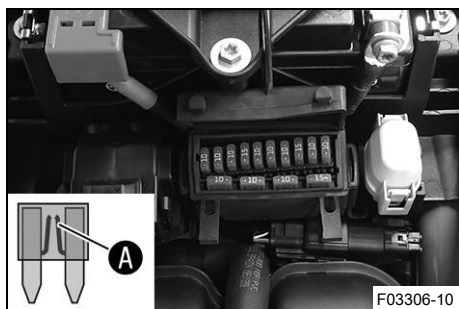
### 準備作業

- リアシートを取り外します。(📖 頁 85)
- フロントシートを取り外します。(📖 頁 86)

### 主な作業

- ヒューズボックスのカバー①を開きます。





- 損傷したヒューズを取り外します。

#### 規定

ヒューズ1 - 10 A - イグニッション、アラーム装置 (オプション)
ヒューズ2 - 10 A - イグニッション、エンジン制御ユニット、電子フューエルインジェクション、燃料蒸気リテンションシステム、ラムダセンサー、盗難防止システム
ヒューズ3 - 10 A - 燃料ポンプ
ヒューズ4 - 15 A - 冷却ファン
ヒューズ5 - 10 A - ホーン、コンビネーションインストルメント、ブレーキライト
ヒューズ6 - 10 A - ヘッドライトのハイビームとロービーム、ポジションライト、テールライト、ナンバープレートライト
ヒューズ7 - 10 A - ACC1
ヒューズ8 - 15 A - ACC2、HCU (オプション)
ヒューズ9 - 10 A - ABS コントロールユニット、診断プラグ、5D センサー、TPMS (オプション)
ヒューズ10 - 10 A - ライトコントローラ
ヒューズSPARE - 10A - スペアヒューズ
ヒューズSPARE - 15A - スペアヒューズ



#### 参考

ヒューズワイヤが壊れている場合 **A** はヒューズに欠陥があります。

- 対応する容量のスペアヒューズを取り付けます。

ヒューズ (75011088010) (📖 頁 155)
ヒューズ (75011088015) (📖 頁 155)



#### ヒント

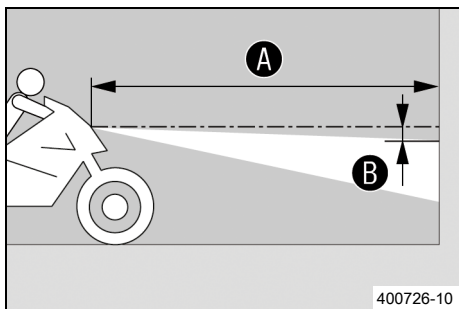
新しいスペアヒューズをヒューズボックスに取り付け、必要な場合に使用できるようにしておきます。

- 電装系部品の機能を点検します。
- ヒューズボックスのカバーを閉じます。

#### その後の作業

- フロントシートを取り付けます。(📖 頁 86)
- リアシートを取り付けます。(📖 頁 86)

16.8 ヘッドライトの設定を点検する



400726-10

- 明るい壁が前にある水平な地面の上に車両を立て、ヘッドライトの中心の高さで壁に印を付けます。
- その印の下、**B**の距離にもう1つ印を付けます。

規定

距離 <b>B</b>	5 cm
-------------	------

- 壁から **A**の距離に車両を垂直に立て、ロービームを点灯します。

規定

距離 <b>A</b>	5 m
-------------	-----

- ここでライダーが (必要に応じて荷物および同乗者と一緒に) 車両に乗ります。
- ヘッドライトの設定を点検します。

走行準備の整った車両に運転者が (必要に応じて荷物および同乗者と一緒に) 乗った状態で、明暗の境界が下側のマーキングとぴったり一致する事を確認して下さい。

- » 明暗の境界が規定通りになっていない:
  - ヘッドライトの照明距離を調節します。( 頁 132)

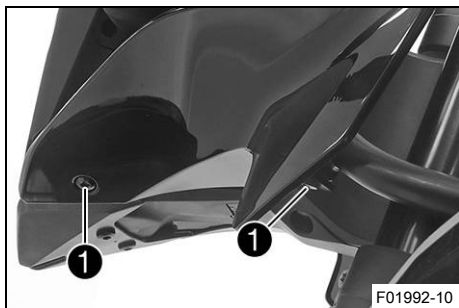
16.9 ヘッドライトの照明距離を調節する

準備作業

- ヘッドライトの設定を点検します。( 頁 132)

主な作業

- スクリュー**①**を外します。
- 左のフロントマスクスポイラーを取り外します。



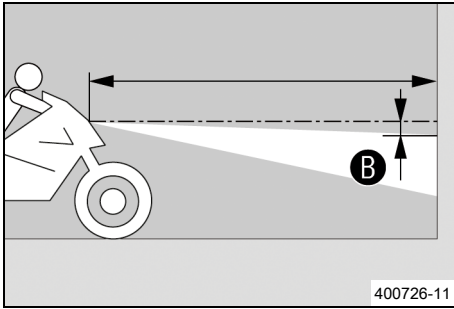
F01992-10

- 調節スクリュー**②**でヘッドライトの照明距離を調節します。



F01993-10

**i 参考**  
時計回りに回すと照明距離が短くなり、逆方向に回すと長くなります。  
積載物があると、ヘッドライト照明距離の再調節が必要となる事があります。

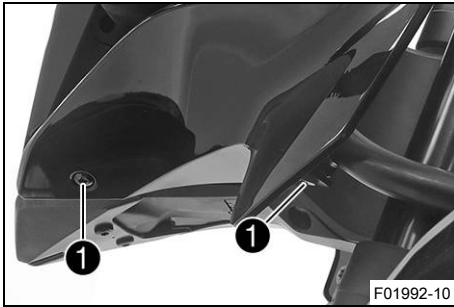


400726-11

- **B**のマーキングに合わせてヘッドライトを調整します。

規定

走行準備の整った車両に運転者が(必要に応じて荷物および同乗者と一緒に乗った状態で、明暗の境界が下側の印**B**とぴったり一致する事を確認して下さい。



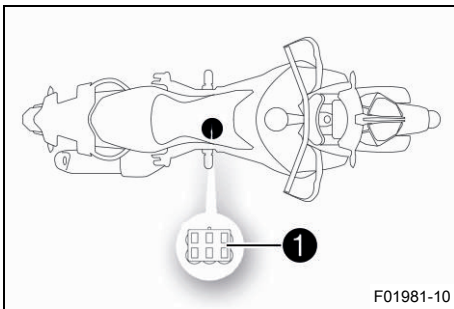
F01992-10

- 左のフロントマスクスポイラーの位置を調整します。
- スクリュー**1**を取り付け、しっかりと締めます。

規定

シャーシ用その他の スクリュー	M5	5 Nm
--------------------	----	------

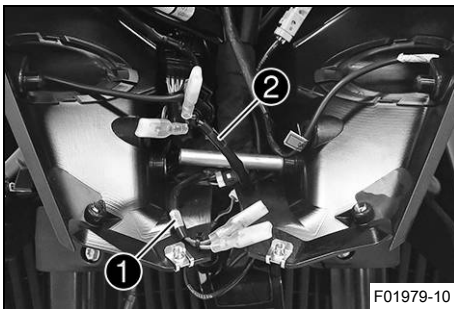
### 16.10 診断プラグ



F01981-10

診断プラグ**1**はバッテリーカバーの下にあります。

### 16.11 ACC1 および ACC2 前方



F01979-10

取り付け位置

- 前方の電源 ACC1**1**と ACC2**2**はヘッドライトの裏にあります。

**i** 参考

前方の電源 ACC1 と ACC2 にはヘッドライトマスクのケーブルカバーの下から届きます。

## 16.12 ACC1 と ACC2 後方

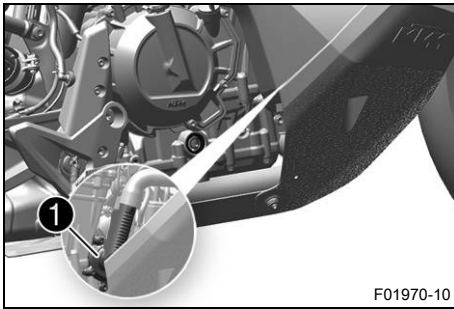


### 取り付け位置

- 後方の電源 ACC1 ① と ACC2 ② はリアシートの下にあります。



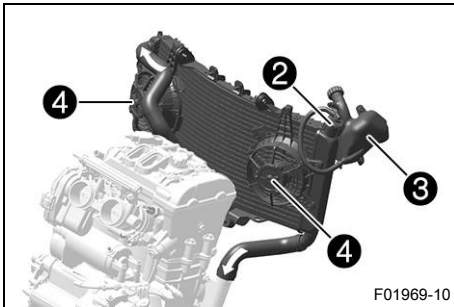
## 17.1 冷却システム



エンジン内のウォーターポンプ①により、クーラントが強制循環します。

熱により発生した冷却システム内の圧力は、ラジエーターキャップ②にあるバルブにより調整されます。熱膨張により余分となったクーラントが調節タンク③に流れ込みます。流れ込んだクーラントは、温度が下がるとまた冷却システムに吸い込まれます。これにより、クーラントが記載された温度まで上昇しても不具合を起こす事はありません。

115 °C



冷却は走行風と、高温になるとオンになる2基の冷却ファン④によって行われます。

速度が遅いほど冷却効果は低くなります。同様に、ラジエーターのフィンが汚れていると冷却効果が低くなります。

## 17.2 調節タンクのクーラントのレベルを点検する



### 警告

**火傷の危険性** クーラントは運転中、非常に熱く、圧力がかかっています。

- エンジンまたは冷却システムが作動温度状態にある場合、ラジエーター、冷却管その他冷却システムの構成部品を開けないでください。
- 冷却システムとエンジンを冷ましてから、ラジエーター、冷却管その他冷却システムの構成部品を開けてください。
- 火傷した場合、速やかにその部位をぬるま湯に浸して下さい。



### 警告

**中毒の危険性** クーラントは毒性で、健康に害を及ぼします。

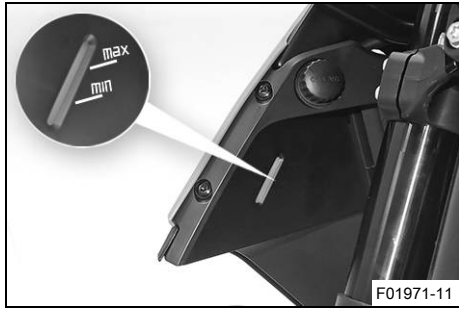
- クーラントは子供の手の届かないところに保管してください。
- クーラントが皮膚、目、衣服に接触しないよう注意してください。
- クーラントを飲み込んでしまった場合、即座に受診してください。
- 接触した部分の肌は即座に多量の水で洗ってください。
- クーラントが目にはいつてしまった場合、速やかに水で洗い落とし、受診してください。
- クーラントが衣服に付着した場合、衣服を取り替えてください。

### 条件

エンジンが冷えている。

ラジエーターがクーラントで満たされている。

- 車両を水平な地面の上に立てます。



- 調節タンクのクーラントのレベルを点検します。

クーラントのレベルがMINとMAXの間にある事を確認して下さい。

- » 調節タンクにクーラントが入っていない:
  - 冷却システムに漏れがないか点検します。🔧



### 参考

車両を使用しないで下さい！

- 冷却システムにクーラントを注入してエア抜きをします。🔧
- » 調節タンクのクーラントのレベルは規定通りではないが、タンクはまだ空になっていない:
  - 調節タンクでクーラントのレベルを調整します。  
(📖 頁 136)

## 17.3 調節タンクでクーラントのレベルを調整する



### 警告

**火傷の危険性** クーラントは運転中、非常に熱く、圧力がかかっています。

- エンジンまたは冷却システムが作動温度状態にある場合、ラジエーター、冷却管その他冷却システムの構成部品を開けないでください。
- 冷却システムとエンジンを冷ましてから、ラジエーター、冷却管その他冷却システムの構成部品を開けてください。
- 火傷した場合、速やかにその部位をぬるま湯に浸して下さい。



### 警告

**中毒の危険性** クーラントは毒性で、健康に害を及ぼします。

- クーラントは子供の手の届かないところに保管してください。
- クーラントが皮膚、目、衣服に接触しないよう注意してください。
- クーラントを飲み込んでしまった場合、即座に受診してください。
- 接触した部分の肌は即座に多量の水で洗ってください。
- クーラントが目にはいつてしまった場合、速やかに水で洗い落とし、受診してください。
- クーラントが衣服に付着した場合、衣服を取り替えてください。

### 条件

エンジンが冷えている。

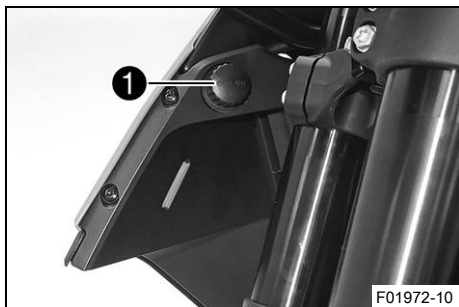
ラジエーターがクーラントで満たされている。

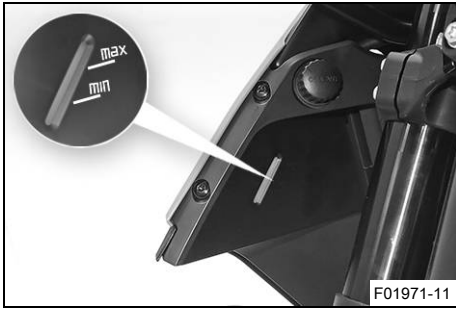
### 準備作業

- 調節タンクのクーラントのレベルを点検します。(📖 頁 135)

### 主な作業

- 調節タンクのキャップ①を外します。





- 規定のレベルに達するまで、クーラントを注入します。

規定

クーラントのレベルがMINとMAXの間にある事を確認して下さい。
----------------------------------

クーラント (📖 頁 164)
-----------------

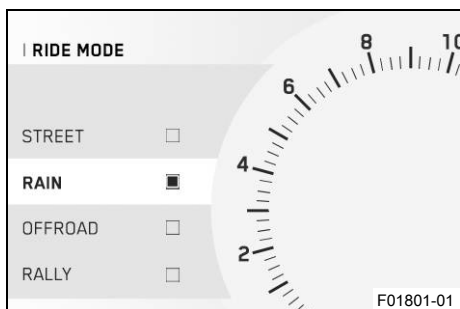
- 調節タンクのキャップ ❶ を取り付けます。

規定

調節タンクカバー	-	1.1 Nm
----------	---	--------



## 18.1 Ride Mode



### 確認すべき状態

- Street – 後輪のスリップに対するバイクトラクションコントロールの許容範囲が標準の、安定した反応の認可出力。アンチウィリーモードがオフになっています。
- Rain – 後輪のスリップに対するバイクトラクションコントロールの許容範囲が小さい、ドライバビリティに優れた制限認可出力。アンチウィリーモードがオフになっています。
- オフロード – 後輪のスリップに対するバイクトラクションコントロールの許容範囲が大きい、ドライバビリティに優れた制限認可出力。アンチウィリーモードがオフになっています。
- Rally ( オプション ) – 認可出力での極めてダイレクトな反応特性の設定バイクトラクションコントロールと吸気作動特性を個別に調節することができます。アンチウィリーモードがオフになっています。



### 警告

**事故の危険性** 走行モードの選択を誤ると、車両の制御が著しく困難になります。

走行モードは、それぞれ特定の条件にのみ適しています。

- 常に路面、天候、走行状態に適した走行モードを選択してください。

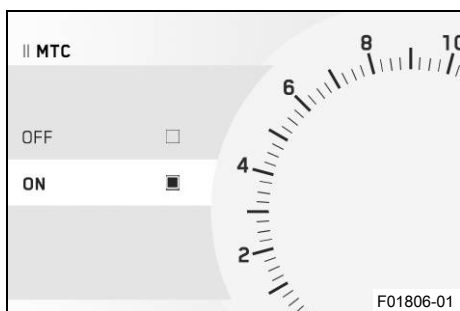
コンビネーションインスツルメント上のサブメニューRide Modeから様々な車両調整を選択することができます。**Street**、**Rain**、**Offroad**、**Rally** ( オプション ) があります。最後に選択した走行モードがディスプレイに表示されます。スロットルグリップが閉じられた状態の場合、走行中でも、走行モードを切り替えることができます。



### 参考

走行モードを変更してもABSには影響しません。

## 18.2 バイクトラクションコントロール (コーナリング MTC)



後輪でトラクションが失われると、モーターサイクルトラクションコントロール (MTC)がエンジントルクを低減します。トラクションコントロールが有効である場合、スリップの度合は**走行モード** ( 頁 138 ) に応じて上下します。





### 参考

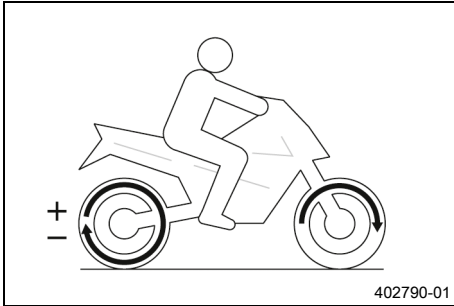
モーターサイクルトラクションコントロールがオフの状態では、大きく加速した場合や路面へのグリップ力が低下している場合には、後輪が空転し、転倒する恐れがあります。イグニッションをオンにすると、バイクトラクションコントロールが再びオンになります。

コンビネーションインスツルメント上のサブメニューMTCからバイクトラクションコントロールをオン/オフに切り替えることができます。

**i** 参考

バイクトラクションコントロールによる制御中は、TCランプが点滅します。  
バイクトラクションコントロールがオフになっていると、TCインジケータランプが点灯します。

## 18.3 スリップ調整 ( オプション )

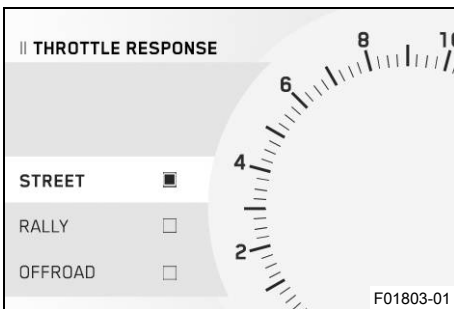


スリップ調整はバイクトラクションコントロールの機能です。スリップ調整ではバイクトラクションコントロールを9段階で希望の作動特性に調整することができます。第1段階では後輪に最大の、第9段階では最小のスリップが可能です。スリップ調整は走行中にメニューが閉まった状態でUPまたはDOWNキーを使って設定することができます。

**i** 参考

スリップ調整は走行モードRally ( オプション ) でのみ利用することができます。

## 18.4 Throttle Response( オプション )



**確認すべき状態**

- Street - 安定した反応特性。
- ラリー - 極めてダイレクトな反応特性
- オフロード - 非常にダイレクトな反応特性。

コンビネーションインストルメント上サブメニューThrottle responseから吸気特性を調整することができます。スロットルグリップが閉じられた状態の場合、走行中でも、Throttle responseを調整することができます。

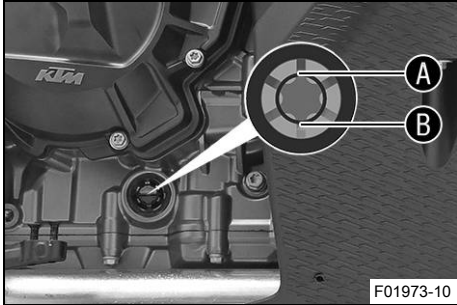
**i** 参考

Throttle responseは走行モードRally ( オプション ) でのみ利用することができます。

## 19.1 エンジンオイルのレベルを点検する

### **i** 参考

エンジンオイルのレベルはエンジンが作動温度に達した状態で点検します。



- 車両を水平な地面の上で垂直に立てます。
- エンジンオイルのレベルを点検します。

### **i** 参考

エンジンを停止した後、1分待ってから確認します。

エンジンオイルのレベルが **A** と **B** の間にあるように調整します。

- » エンジンオイルのレベルがマーキング **B** の下にある:
  - エンジンオイルを補給します。(📖 頁 142)
- » エンジンオイルのレベルがマーキング **A** の上にある:
  - エンジンオイルのレベルを修正します。

## 19.2 エンジンオイルとオイルフィルターを交換し、オイルスクリーンを清掃する



### 警告

**火傷の危険性** エンジンオイル並びにミッションオイルは運転中非常に熱くなっています。

- 適切な保護服、保護手袋を着用して下さい。
- 火傷した場合、速やかにその部位をぬるま湯に浸して下さい。



### 情報

**環境汚染** 問題物資が環境汚染の原因となります。

- オイル、グリース、フィルター、燃料、洗浄剤、ブレーキフルードなどは、定められた規則に従い正しく廃棄して下さい。



### 参考

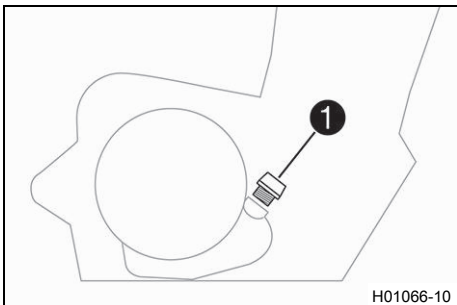
エンジンオイルをエンジン暖機状態で排出します。

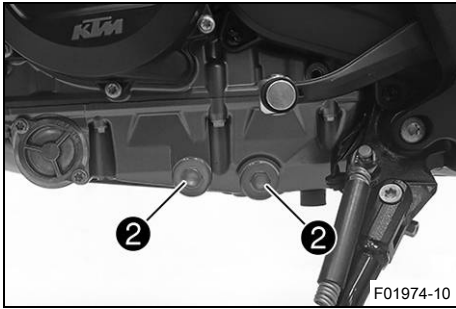
### 準備作業

- エンジンガードを取り外します。(📖 頁 103)

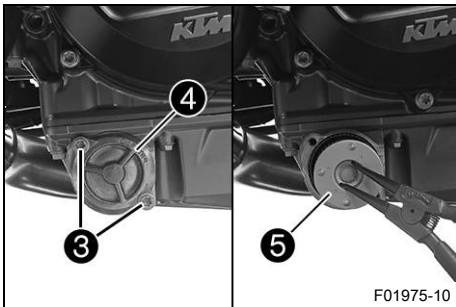
### 主な作業

- 車両をサイドスタンドで水平な地面の上に立てます。
- 適切な容器をエンジンの下に置きます。
- オイルフィルターボルト **1** を O リングと共に外します。





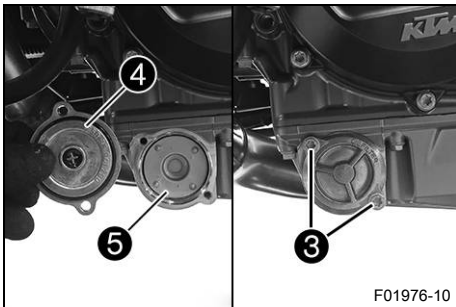
- マグネットオイルドレインボルト②をOリング、オイルスクリーンと一緒に取り外します。



- スクリュー③を外します。オイルフィルターカバー④をOリングと一緒に取り外します。
- オイルフィルター⑤をフィルターケースから取り出します。

ロックリング用ペンチ (51012011000)

- エンジンオイルが完全に流れ出るまで待ちます。
- 部品とシール面を念入りに清掃します。



- 新しいオイルフィルター⑤を取り付けます。



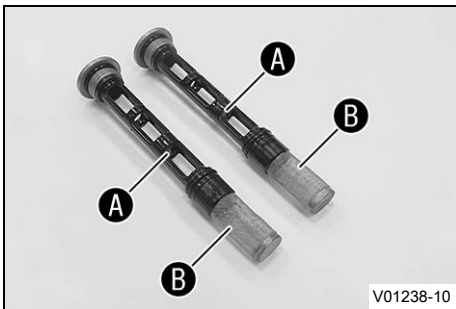
### 参考

オイルフィルターは必ず手で取り付けて下さい。

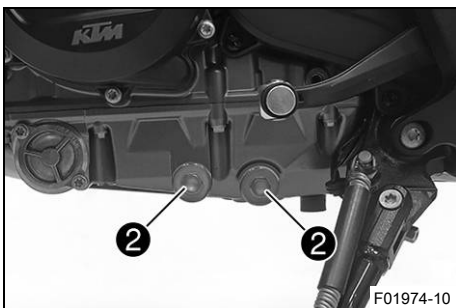
- オイルフィルターカバーの新しいOリングにオイルを差します。オイルフィルターカバー④の位置を調整します。
- スクリュー③を取り付け、しっかりと締めます。

### 規定

オイルフィルターカバー用スクリュー	M5	6 Nm
-------------------	----	------



- オイルドレインボルトのマグネットAとオイルスクリーンBを念入りに清掃します。



- マグネットオイルドレインボルト②を新しいシールリングと一緒に取り付け、しっかりと締めます。

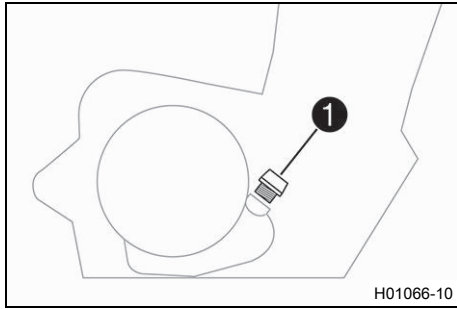
### 規定

オイルスクリーン用スクリュープラグ	M20x1.5	20 Nm
-------------------	---------	-------

- クラッチカバーの部分にエンジンオイルを注入します。

エンジンオイル	2.8 L	エンジンオイル (SAE 10W/50) (📖 頁 164)
---------	-------	--------------------------------

# 19 エンジンで行うサービス作業



- オイルフィルターボルト①をOリングと一緒に取り付け、しっかりと締めます。



## 危険

**中毒の危険性** 排気ガスは毒性があり、意識不明や死亡の原因となる恐れがあります。

- エンジンを稼働する際は十分に換気が行えるように常に確認してください。
- 閉め切った室内でエンジンを始動したり、稼働状態にする場合は、適切な排気ガス抽出装置を使用してください。

- エンジンをかけ、漏れがないか確認します。

## その後の作業

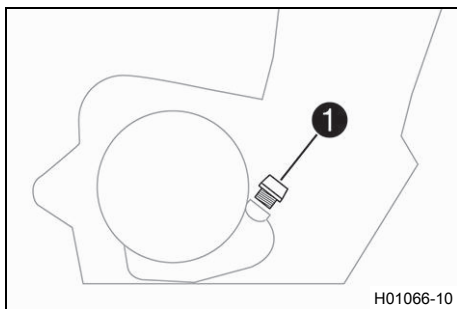
- エンジンオイルのレベルを点検します。(📖 頁 140)
- エンジンガードを取り付けます。(📖 頁 104)

## 19.3 エンジンオイルを補給する



### 参考

エンジンオイルが少な過ぎる場合やエンジンオイルの質が悪いと、エンジンの摩耗を早める事になります。



## 主な作業

- オイルフィルターボルト①をOリングと一緒に外します。
- エンジンオイルを点検窓の中心まで注入します。

エンジンオイル (SAE 10W/50) (📖 頁 164)



### 参考

エンジンオイルの性能を最大限に引き出す上で、異なったエンジンオイルを混ぜて使用する事は望ましくありません。

KTM では、必要に応じてエンジンオイルを交換する事をお勧めしています。

- オイルフィルターボルト①をOリングと一緒に取り付け、しっかりと締めます。



## 危険

**中毒の危険性** 排気ガスは毒性があり、意識不明や死亡の原因となる恐れがあります。

- エンジンを稼働する際は十分に換気が行えるように常に確認してください。
- 閉め切った室内でエンジンを始動したり、稼働状態にする場合は、適切な排気ガス抽出装置を使用してください。

- エンジンをかけ、漏れがないか確認します。

## その後の作業

- エンジンオイルのレベルを点検します。(📖 頁 140)



## 19.4 クラッチレバー遊びの点検

### 注意

**クラッチの損傷** クラッチレバーに遊びがないとクラッチが滑り出します。

- 車両運転前に必ずクラッチレバーの遊びを点検してください。
- 必要に応じクラッチレバーの遊びを規定に従って調整してください。



- クラッチレバーがスムーズに動くか確認します。
- ハンドルバーを直進の状態にします。
- クラッチレバーを抵抗が感じられるまで引き、遊び **A** を確認します。

クラッチレバーの遊び <b>A</b>	5 mm
---------------------	------

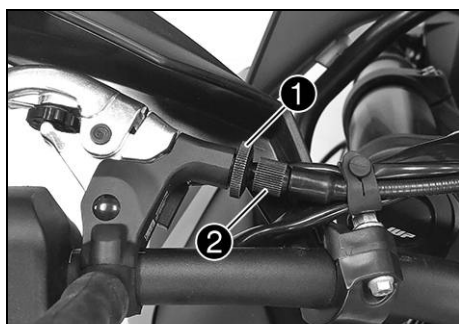
- » クラッチレバーの遊びが規定通りになっていない:
  - クラッチレバー遊びを設定します。🔧 (📖 頁 143)
- ハンドルバーをハンドル限界全体にわたり左右に動かします。

クラッチレバーの遊びが変わらないことを確認します。
---------------------------

- » クラッチレバーの遊びが変わる場合:
  - クラッチワイヤー取り回しを点検します。



## 19.5 クラッチレバー遊びを設定する 🛠️



- ハンドルバーを直進の状態にします。
  - カウンターナット **1** を緩めます。
  - 遊び **A** を調節スクリュー **2** で調節します。
- 規定

クラッチレバーの遊び <b>A</b>	5 mm
---------------------	------

- カウンターナット **1** をしっかりと締めます。



## 20.1 洗車をする

## 情報

**部品の損傷** 高圧洗浄機の誤った使用により部品が破損することがあります。

高圧により水分が電気部品、プラグ、ケーブル、ベアリングに侵入します。  
圧力が高すぎるとエラーや部品破損の原因となります。

- 水流が直接電気部品、プラグ、ケーブル、ベアリングにあたらないように注意してください。
- 高圧洗浄機のジェットと部品間の最低間隔を維持してください。

最低間隔

60 cm



## 情報

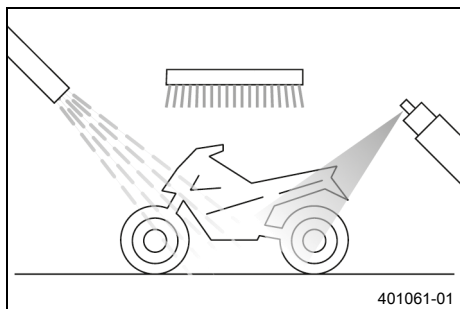
**環境汚染** 問題物資が環境汚染の原因となります。

- オイル、グリース、フィルター、燃料、洗浄剤、ブレーキフルードなどは、定められた規則に従い正しく廃棄して下さい。



## 参考

品質や外観を長く保持するため、洗車は定期的に行って下さい。  
洗車中は車両に直射日光が当たらないよう注意して下さい。



- 水が入らないように排気装置をふさぎます。
- 大きな汚れはあらかじめ弱い水流で落としておきます。
- 汚れがひどい箇所には市販のモーターサイクル洗浄剤を吹きつけ、ブラシで汚れを落とします。

モーターサイクル用洗浄剤 (📖 頁 166)



## 参考

洗車には市販のモーターサイクル洗浄剤を入れた温水と柔らかいスポンジを使用して下さい。

乾燥した車両に直接モーターサイクル洗浄剤を付けることは絶対にせず、必ず事前に車両を水ですすいで下さい。

凍剤防止用の塩が散布された道路を走行した後は、冷水で洗車して下さい。温水を使うと塩の作用を促進してしまいます。

- 弱い水流で念入りにすすいだ後、車両をよく乾燥させます。
- 排気装置をふさいでいる栓を外します。



## 警告

**事故の危険性** 水分や汚れはブレーキシステムに影響を及ぼします。

- ブレーキパッドとブレーキディスクを乾燥させ汚れを落とすために何度か慎重にブレーキをかけてください。

- 洗車後、エンジンが作動温度に達するまで短い距離を走行します。

**i** 参考

熱によりエンジンやブレーキシステムの手の届かない場所にある水分も蒸発します。

- 車両の温度が下がったら全てのスライド部とベアリング部をグリースアップします。
- チェーンを清掃します。(📖 頁 87)
- 塗装されていない金属製部品(ブレーキディスクと排気装置を除く)には、腐食防止剤を塗布します。

ラッカー塗装、金属、ゴム用手入れ剤(📖 頁 166)

- 塗装されている部品に刺激の少ない塗装面用の手入れ剤を塗布します。

Perfect Finish およびラッカー塗装用光沢剤(📖 頁 166)

**i** 参考

部品の品質が著しく損なわれるため、納車状態で光沢のないプラスチック部品は磨かないで下さい。

- プラスチック部品およびパウダーコーティングされている部品は刺激の少ない洗剤・手入れ剤で手入れをします。

ラッカー塗装(光沢、非光沢)、金属、プラスチック専用洗浄剤(📖 頁 166)

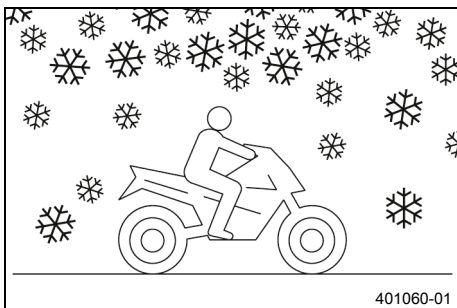
- イグニッション/ハンドルロック、タンクキャップロック、シートロックにオイルを注します。

汎用オイルスプレー(📖 頁 166)

20.2 冬季運転における点検・メンテナンス作業

**i** 参考

冬季にも車両を使用する場合は、凍結防止のために路上に散布された塩の存在を考慮しなければなりません。刺激が強い塩に対する予防対策を講じておく必要があります。塩が撒かれた道路を走行した後は、必ず冷たい水で洗浄し、良く乾かしてください。温水の使用は塩の作用を促進します。



- 洗車をします。(📖 頁 144)
- ブレーキシステムを清掃します。

**i** 参考

撒き塩された道路を走行する毎に、ブレーキキャリアとブレーキパッド(冷えており、取り付けられたままの状態)を冷たい水で入念に洗浄し、よく乾かしてください。

塩が撒かれた道路を走行した後は、車輛を必ず冷たい水で洗浄し、良く乾かしてください。

- エンジンやスイングアームをはじめ、塗装されていない部品や亜鉛メッキ加工された部品(ブレーキディスクを除く)には全てワックス系腐食防止剤を塗布します。

---

**i** 参考

ブレーキディスクには腐食防止剤が付かないよう注意して下さい。ブレーキ性能が大幅に低下します。

---

- チェーンを清掃します。(📖 頁 87)

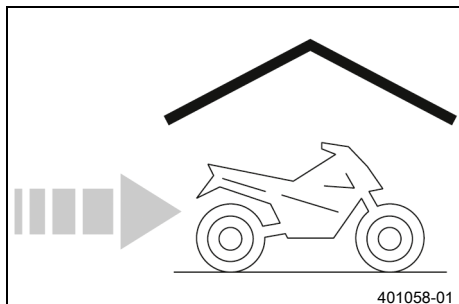


## 21.1 保管

### **i** 参考

車両を長期にわたって使用しない場合は、以下に挙げた処置をご自身または正規ディーラーで行って下さい。

車両の保管前に全ての部品が機能するか、摩耗していないかを点検します。サービス作業、修理、改造が必要な場合は、ディーラーのサービスセンターが空いている保管時期に行う事をお勧めします。シーズン開始の混雑時を避ける事ができます。



- シーズンオフで使用を停止する前の最後の給油時に、燃料添加剤を加えます。

燃料添加剤 (📖 頁 166)
-----------------

- 燃料を給油します。(📖 頁 78)
- 洗車をします。(📖 頁 144)
- エンジンオイルとオイルフィルターを交換し、オイルスクリーンを清掃します。🔧 (📖 頁 140)
- クーラントのレベルと不凍液を点検します。🔧
- タイヤ空気圧を点検します。(📖 頁 120)
- 12V バッテリーを取り外します。🔧 (📖 頁 123)

規定

12V バッテリーの保管温度 (直射日光を避ける)	0 ... 35 °C
------------------------------	-------------

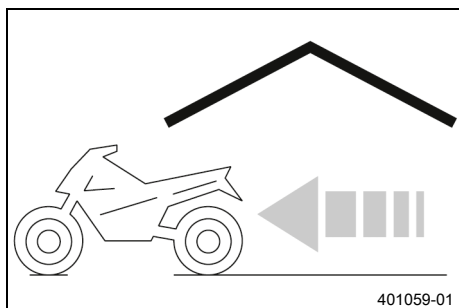
- 12V バッテリーを充電します。🔧 (📖 頁 126)
- 乾燥し、急激な温度変化のない場所に車両を駐車します。
- 通気性の良い防水シートかカバーで車両を覆います。

### **i** 参考

空気を通さないカバーは湿気が逃げず、腐食の原因となりますので絶対に使用しないで下さい。

保管中にエンジンを短時間のみ作動すると、車両に非常に悪い影響を与えます。エンジンが十分に暖まらないため、燃焼の際に生じた水蒸気が結露し、バルブや排気装置のさびの原因となります。

## 21.2 保管後、運転操作の前に。



- フロントスタンドから車両を降ろします。(📖 頁 85)
- リアスタンドから車両を降ろします。(📖 頁 84)
- 12V バッテリーを取り付けます。🔧 (📖 頁 125)
- 時刻と日付を設定します。
- 運転操作の前に必ず行う点検・メンテナンス作業を実施します。(📖 頁 71)
- 試験走行を行います。

不具合	考えられる原因	対応
スタートキーを作動してもエンジンが回転しない	操作ミス	- エンジン始動の作業ステップに従って下さい。(📖 頁 71)
	12V バッテリーが放電される	- 12V バッテリーを充電します。👉 (📖 頁 126) - スタンバイ電流を点検します。👉
	ヒューズ1、2、3のいずれかが飛んでいる	- 各電装系部品のヒューズを交換します。(📖 頁 130)
	メインヒューズが飛んだ	- メインヒューズを交換します。(📖 頁 128)
	正しくアース接続されていない	- アース接続を点検します。
クラッチレバーを握らないとエンジンが回転しない	ギアが入っている	- ギアをニュートラル <b>N</b> に入れます。
	ギアが入っており、サイドスタンドが出ている	- ギアをニュートラル <b>N</b> に入れます。
エンジンが回転しているのにかからない	操作ミス	- エンジン始動の作業ステップに従って下さい。(📖 頁 71)
	ヒューズ3が飛んでいる	- 各電装系部品のヒューズを交換します。(📖 頁 130)
	クイックカップリングが差し込まれていない	- クイックカップリングを差し込みます。
	電子フューエルインジェクションの不具合	- KTM 診断ツールでエラーメモリーを解読します。👉
	エンジン始動時にスロットルグリップを開いた	- エンジン始動の際、スロットルは <b>開かない</b> で下さい。 - エンジン始動の作業ステップに従って下さい。(📖 頁 71)
エンジンの出力が低過ぎる	エアフィルターがひどく汚れている	- エアフィルターを取り外します。👉 - エアフィルターを取り付けます。👉
	燃料フィルターがひどく汚れている	- 燃圧を点検します。👉
	電子フューエルインジェクションの不具合	- KTM 診断ツールでエラーメモリーを解読します。👉
エンジンが異常に熱くなる	冷却システムのクーラントが少な過ぎる	- 冷却システムに漏れがないか点検します。👉 - 調節タンクのクーラントのレベルを点検します。(📖 頁 135)
	ラジエーターのフィンがひどく汚れている	- ラジエーターのフィンを清掃します。
	冷却システム内に気泡が発生している	- クーラントを排出します。👉 - 冷却システムにクーラントを注入してエア抜きをします。👉
	ラジエーターホースが折れ曲がっている、または損傷している	- ラジエーターホースを交換します。👉
	サーモスタットが故障している	- サーモスタットを点検します。👉
	ヒューズ4が飛んでいる	- 各電装系部品のヒューズを交換します。(📖 頁 130)

不具合	考えられる原因	対応
エンジンが異常に熱くなる	冷却ファン装置が故障している	- 冷却ファン装置を点検します。👉
不具合インジケータランプが点灯または点滅	電子フューエルインジェクションの不具合	- KTM 診断ツールでエラーメモリーを解読します。👉
ギアがニュートラルに入っているのに、ニュートラルインジケータランプNが点灯しない	ギアセンサーがプログラムされていない	- KTM 診断ツールでエラーメモリーを解読します。👉
走行中にエンジンが停止する	燃料不足	- 燃料を給油します。(📖 頁 78)
	ヒューズ1、2、3のいずれかが飛んでいる	- 各電装系部品のヒューズを交換します。(📖 頁 130)
ABS 警告ランプが点灯している	ABS のヒューズが飛んでいる	- ABS のヒューズを交換します。(📖 頁 129)
	前輪と後輪の回転数に大きな差がある	- 停車してイグニッションを停止し、再スタートします。
	ABS の不具合	- KTM 診断ツールで ABS エラーメモリーを解読します。👉
オイル消費量が多い	エンジンのエア抜きホースが折れ曲がっている	- エア抜きホースを折れないように配置し、必要に応じて交換します。
	エンジンオイルのレベルが高過ぎる	- エンジンオイルのレベルを点検します。(📖 頁 140)
	エンジンオイルの濃度(粘度)が低過ぎる	- エンジンオイルとオイルフィルターを交換し、オイルスクリーンを清掃します。👉(📖 頁 140)
ヘッドライトとポジションライトが機能しない	ヒューズ6が飛んでいる	- 各電装系部品のヒューズを交換します。(📖 頁 130)
ターンシグナル、ブレーキライト、ホーンが機能しない	ヒューズ5が飛んでいる	- 各電装系部品のヒューズを交換します。(📖 頁 130)
時計が表示されない、または正しく表示されない	ヒューズ1が飛んでいる	- 各電装系部品のヒューズを交換します。(📖 頁 130)
12V バッテリーが放電される	車両を停止した際、イグニッションをオフにしなかった	- 12V バッテリーを充電します。👉(📖 頁 126)
	12V バッテリーがジェネレーターで充電されない	- 充電電圧を点検します。👉
コンビネーションインストルメントの画面に何も表示されない	ヒューズ1、2のいずれかが飛んでいる	- 各電装系部品のヒューズを交換します。(📖 頁 130) - 時刻と日付を設定します。

## 23.1 エンジン

構造	2気筒、4ストローク直列エンジン、水冷
排気量	890 cm <sup>3</sup>
ストローク	68.8 mm
ボア	90.7 mm
圧縮比	13.5:1
駆動方式	DOHC、シリンダー毎4バルブ、カムレバーによる制御、チェーンによる駆動
吸気バルブ直径	37 mm
排気バルブ直径	30 mm
冷えた状態でのバルブの遊び	
吸気: 20 °C	0.10 ... 0.15 mm
排気: 20 °C	0.15 ... 0.20 mm
クランクシャフトベアリング	スライドベアリング
コンロッドベアリング	スライドベアリング
ピストンピンベアリング	ブロンズコーティングのピストンピン
ピストン	軽合金、鍛造
ピストンリング	1コンプレッションリング、1テーパフェースリング、1コイルスプリング付きオイルリング
エンジン潤滑方式	トロコイドポンプ2台によるセミドライサンプ潤滑
一次減速比	39:75
クラッチ	アンチホッピング湿式クラッチ、機械式作動
ギア	6速ギア常時噛合式
変速比	
1速	13:37
2速	17:34
3速	20:31
4速	22:28
5速	24:26
6速	23:22
混合気生成	電子フューエルインジェクション
イグニッション	非接触制御電子イグニッション、デジタルイグニッションコントローラー
ジェネレーター	12 V, 400 W
スパークプラグ	NGK LMAR9AI-10
スパークプラグ電極間のクリアランス	1.0 mm
冷却システム	水冷式、ウォーターポンプによるクーラントの常時循環
アイドリング回転数	1,400 ± <sub>50</sub> rpm
エンジンスタート装置	セルフスターターモーター



## 23.2 締付けトルク、エンジン

ウォーターポンプ排水口用スク リュープラグ	EJOTALtracs®Plus 60x14	8 Nm	Loctite®243™
エア抜きアダプター用スクリュー	EJOTALtracs® M6x12	8 Nm	Loctite®243™
インテークフランジのホースクラ ンプ	M4	2.5 Nm	
エンジンのエア抜き用ジェット	M5	2 Nm	
オイルフィルターカバー用スク リュー	M5	6 Nm	
カムレバー軸方向サポート用スク リュー	M5	6 Nm	Loctite®243™
ギアセンサー用スクリュー	M5	6 Nm	Loctite®243™
クランクシャフト回転数センサー 用スクリュー	M5	6 Nm	Loctite®243™
サーモスタットケース用スク リュー	M5	6 Nm	Loctite®243™
シフトシャフトセンサー用スク リュー	M5	6 Nm	Loctite®243™
シフトドラム固定ブラケット用ス クリュー	M5	6 Nm	Loctite®243™
シリンダーヘッド内オイルジェッ ト	M5	2 Nm	
スイングアーム角度センサー用ス クリュー	M5	6 Nm	Loctite®243™
その他エンジン用スクリュー	M5	6 Nm	
バランスーシャフト固定用スク リュー	M5	5 Nm	Loctite®243™
ピストン冷却用オイルジェット	M5	2 Nm	
圧カプレート用スクリュー	M5	3 Nm	Loctite®243™
イグニッションコイル用スク リュー	M6	8 Nm	
ウォーターポンプカバー用スク リュー	M6	10 Nm	Loctite®243™
ウォーターポンプホイール用スク リュー	M6	10 Nm	Loctite®243™
エンジンケース用スクリュー	M6x30	12 Nm	
エンジンケース用スクリュー	M6x60	12 Nm	
オイルパン用スクリュー	M6x30	10 Nm	
オイルパン用スクリュー	M6x35	10 Nm	
オイルポンプカバー用スクリュー	M6	10 Nm	Loctite®243™
オイルポンプユニット用スク リュー	M6	10 Nm	
ガイドレール(上)用スクリュー	M6	8 Nm	Loctite®243™

カムシャフトベアリングブラケット用スクリュー	M6	10 Nm
クラッチカバー用スクリュー	M6	10 Nm
クラッチスプリング用スクリュー	M6	10 Nm
クラッチリリースレバー用スクリュー	M6	10 Nm Loctite®243™
クラッチワイヤー固定ブラケット用スクリュー	M6	10 Nm Loctite®243™
ジェネレーターカバー用スクリュー	M6x30	10 Nm
ジェネレーターカバー用スクリュー	M6x35	10 Nm
シフトシャフト固定ブラケット用スクリュー	M6	10 Nm Loctite®243™
シフトレバー用スクリュー	M6	14 Nm Loctite®243™
シフトロック用スクリュー	M6	10 Nm Loctite®243™
シリンダーヘッド用スクリュー	M6	10 Nm
セルフスターターモーターのケーブル用ナット	M6	5 Nm
セルフスターターモーター用スクリュー	M6	10 Nm
その他エンジン用スクリュー	M6	10 Nm
タイミングチェーンシャフト用スクリュー	M6	10 Nm
バルブカバー用スクリュー	M6	10 Nm
フリーホイールリング用スクリュー	M6	14 Nm Loctite®243™
メインシャフトベアリングホルダー用スクリュー	M6	10 Nm Loctite®243™
ロックレバー用スクリュー	M6	10 Nm Loctite®243™
固定子用スクリュー	M6	10 Nm Loctite®243™
水/油熱交換器用スクリュー	M6	10 Nm Loctite®243™
エンジンケース用スクリュー	M8x45	25 Nm スクリューの設置面がグリースアップされている
エンジンケース用スクリュー	M8x55	25 Nm スクリューの設置面がグリースアップされている
エンジンケース用スクリュー	M8x65	25 Nm スクリューの設置面がグリースアップされている
エンジンケース用スクリュー	M8x90	25 Nm スクリューの設置面がグリースアップされている

クラッチ潤滑用オイルジェット	M8	5 Nm	Loctite®243™
その他エンジン用スクリュー	M8	20 Nm	
テンショナーレール用スクリュー	M8	15 Nm	Loctite®243™
ノックセンサー用スクリュー	M8	20 Nm	
ロックスクリュー用スクリュープラグ	M8	15 Nm	
燃料ポンプアイドルギア用スクリュー	M8	15 Nm	Loctite®243™
排気管フランジ用スタッドボルト	M8	15 Nm	Loctite®243™
排気管フランジ用ナット	M8	15 Nm	コパペースト
コンロッドベアリング用スクリュー	M8x0.75	レベル 1 5 Nm レベル 2 20 Nm レベル 3 90° スクリューの設置面とねじ山が注油されている	
スパークプラグ	M10	11 Nm	
カムレバー用スクリュープラグ	M10x1	8 Nm	
タイミングチェーンテンショナーロック解除用スクリュー	M10x1	8 Nm	
ベアリングブラケット用スクリュープラグ	M10x1	12 Nm	Loctite®243™
油圧スイッチ	M10x1	10 Nm	
クーラント温度センサー	M10x1.25	10 Nm	
シリンダーヘッド用スクリュー	M10x1.25	締付け順序: 締付け順序に注意してください。 レベル 1 5 Nm レベル 2 15 Nm レベル 3 90° レベル 4 90° スクリューの設置面がグリースアップ / ねじ山が注油されている	
シリンダーヘッドオイル排出用スクリュープラグ	M12x1.5	15 Nm	
ローター用スクリュー	M12x1.5	90 Nm	ねじ山にはグリースを塗布
ウォータージャケット用スクリュープラグ	M16x1.5	20 Nm	Loctite®243™
オイルスクリーン用スクリュープラグ	M20x1.5	20 Nm	
クラッチハブ用ナット	M20x1.5	135 Nm	

フロントスプロケット用ナット	M20x1.5	100 Nm <b>Loctite®243™</b>
ジェネレーターカバー用スク リュープラグ	M24x1.5	8 Nm
タイミングチェーンテンショナー 用スクリュープラグ	M24x1.5	25 Nm

## 23.3 容量

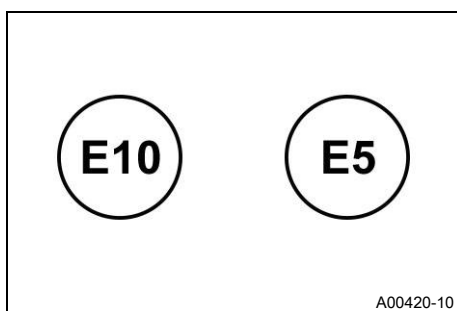
### 23.3.1 エンジンオイル

エンジンオイル	2.8 L	エンジンオイル (SAE 10W/50) (📖 頁 164)
---------	-------	-----------------------------------

### 23.3.2 クーラント

クーラント	1.60 L	クーラント (📖 頁 164)
-------	--------	-----------------

### 23.3.3 燃料



EU ガソリンスタンドのマーキングに注意して下さい。

フューエルタンク総容量 (約)	20 L	無鉛ハイオクガソリン (ROZ 95) (📖 頁 165)
-----------------	------	----------------------------------

予備燃料 (約)	3 L
----------	-----

## 23.4 シャーシ

フレーム	クロムモリブデン鋼スペースフレーム、パウダーコーティング
フロントフォーク	WP APEX 3043
ショックアブソーバー	WP APEX 5446
サスペンションストローク	
前	195 mm
後輪	195 mm
ブレーキシステム	
前方	4ピストン式固定ラジアルブレーキキャリア付きダブルディスクブレーキ、フローティングマウントブレーキディスク
後輪	2ピストンブレーキキャリア付きシングルディスクブレーキ、フローティングマウントブレーキディスク
ブレーキディスク直径	
前輪	320 mm

後輪	260 mm
ブレーキディスクの摩耗限界	
前輪	4.5 mm
後輪	4.5 mm
同乗者なし / 同乗者ありでのタイヤの空気圧	
前輪	2.4 bar
後輪	2.4 bar
最大積載量でのタイヤの空気圧	
前輪	2.6 bar
後輪	2.9 bar
二次減速比	16:45
チェーン	5/8 x 1/4" (520) X リング
ステアリングヘッドアングル	64.1°
ホイールベース	1,509 mm
負荷がない状態でのシート高	
下の位置	830 mm
上の位置	850 mm
負荷がない状態での最低地上高	233 mm
燃料を除いた重量 (約)	200 kg
前方許容最大軸重	175 kg
最大許容軸重 後輪	275 kg
最大許容重量	450 kg

### 23.5 電装系

12 V バッテリー	HTZ12A-BS	バッテリー電圧: 12 V 定格容量: 10 Ah メンテナンスフリー
ヒューズ	75011088010	10 A
ヒューズ	75011088015	15 A
ヒューズ	75011088025	25 A
ヒューズ	58011109130	30 A

ヘッドライト、ロービーム / ハイビーム	LED
デイライト / ポジションライト	LED
コンビネーションインストルメントの照明及びインジケータランプ	LED
ターンシグナル	LED
ブレーキライト / テールライト	LED
ナンバープレートライト	LED

## 23.6 タイヤ

フロントタイヤ	リアタイヤ
90/90 - 21 M/C 54V M+S TL Avon TrailRider	150/70 R 18 M/C 70V M+S TL Avon TrailRider
ここに示されるタイヤは標準装備が予定されているタイヤの一例です。下記アドレスのサービスで詳細をご確認下さい: KTM.COM	

## 23.7 フロントフォーク

フロントフォークタイプナンバー	05.58.6S.29	
フロントフォーク	WP APEX 3043	
スプリング長 (プリロードスパーサーを含む)	485.5 mm	
スプリング係数		
ミドル (標準)	6.5 N/mm	
フロントフォーク長	855 mm	
各フォークレグのフロント フォークオイル	480 ± 5 ml	フロントフォークオイル (SAE 4) (48601166S1) (📖 頁 165)

## 23.8 ショックアブソーバー

ショックアブソーバータイプナンバー	0637C429U313000	
ショックアブソーバー	WP APEX 5446	
リバウンドダンパー		
コンフォート	20 クリック	
標準	15 クリック	
スポーツ	7 クリック	
最大積載時	2 クリック	
スプリングプリロード - プリロードアジャスター		
コンフォート	3 回転	
標準	3 回転	
スポーツ	3 回転	
最大積載時	10 回転	
取り付け時の全長	364 mm	
スプリング長	188 mm	
ばね定数		
ミドル (標準)	115 N/mm	
ガス圧	20 bar	
ダンパーオイル	ダンパーオイル (SAE 2.5) (50180751S1) (📖 頁 164)	

## 23.9 締付けトルク、シャーシ

シャーシ用その他のスクリュー	EJOTPT® K45x12	1 Nm	
シャーシ用その他のスクリュー	EJOTPT® K50x12	1 Nm	
シャーシ用その他のスクリュー	EJOTPT® K50x14	1 Nm	
シャーシ用その他のスクリュー	EJOTPT® K50x16	2 Nm	
シャーシ用その他のスクリュー	EJOTPT® K50x18	2 Nm	
スロットルバルブ本体ホースクラ ンプ	-	2.8 Nm	
テールライト用スクリュー	EJOT DELTA PT® 45x12-Z	1.5 Nm	
バルブ用ナット	ISO 10V2	12 Nm	Loctite®2701™
ブレーキフルードリザーバーカ バー、後方	-	1.5 Nm	
ブレーキフルードリザーバーカ バー、前方	-	1 Nm	
調節タンクカバー	-	1.1 Nm	
電装系アクセサリ用コンセント	-	4 Nm	
シャーシ用その他のスクリュー	M4	3 Nm	
シャーシ用その他のナット	M4	3 Nm	
固定グリップ用スクリュー(左)	M4	3 Nm	
エアフィルターケース用スク リュー	M5	3 Nm	
カバー用スクリュー	M5	3 Nm	
コンビネーションインスツルメン ト用スクリュー	M5	4 Nm	
サイドスタンドセンサー用スク リュー	M5	2 Nm	Loctite®243™
シャーシ用その他のスクリュー	M5	5 Nm	
シャーシ用その他のナット	M5	5 Nm	
スブラッシュガード用スクリュー	M5	2.8 Nm	
スポークニップル	M5	6 Nm	
スロットルグリップ用スクリュー	M5	3.5 Nm	
ナンバープレートホルダー用スク リュー	M5	5 Nm	Loctite®243™
ヒートシールド用スクリュー	M5	5 Nm	Loctite®243™
フォークカバー用スクリュー	M5x12	5 Nm	
フォークカバー用スクリュー	M5x17	5 Nm	
フューエルタンクインサート用ス クリュー	M5	3 Nm	
ブレーキペダルステップ用スク リュー	M5	10 Nm	Loctite®243™
フロントsprocketカバー用ス クリュー	M5	5 Nm	Loctite®243™
フロントフォークに取り付けるブ レーキワイヤーホルダー用スク リュー	M5	1 Nm	

ヘッドライトマスク中間部用スクリュー	M5	3.5 Nm	
ヘッドライトマスク用スクリュー	M5	3.5 Nm	
マスクサポートカバー用スクリュー	M5	3.5 Nm	
マスクサポート用スクリュー	M5	3.5 Nm	
リアエンド下部用スクリュー	M5	3 Nm	
右コンビネーションスイッチ用スクリュー	M5	5 Nm	
後方マスクサポートへのインストールメントサポート取り付け用スクリュー	M5	5 Nm	
後輪ブレーキのブレーキフルードリザーバー用スクリュー	M5	5 Nm	Loctite®243™
左コンビネーションスイッチ用スクリュー	M5	2 Nm	
前方マスクサポートへのインストールメントサポート取り付け用スクリュー	M5	3.5 Nm	
燃料レベルセンサー用スクリュー	M5	3 Nm	
6D センサー用スクリュー	M6	5 Nm	
ABS モジュール用スクリュー	M6	8 Nm	
イグニッション用スクリュー (ワンウェイスクリュー)	M6	ヘッドが引きちぎれるまで締め付けます。	Loctite®243™
エンジンガードの固定ブラケット用スクリュー	M6	10 Nm	Loctite®243™
エンジンガード用スクリュー	M6x8	8 Nm	
エンジンガード用スクリュー	M6x10	10 Nm	Loctite®243™
クラッチ操作部用スクリュー	M6	5 Nm	
サイドスタンドのマグネットホルダー用スクリュー	M6	2 Nm	Loctite®243™
サブサイレンサーへの排気管クランプ用スクリュー	M6	8 Nm	コパペースト
シートロック用スクリュー	M6	10 Nm	Loctite®243™
シート取り付け用スクリュー	M6	6 Nm	
シフトシャフトへのシフトシャフトリンケージ取り付け用スクリュー	M6	10 Nm	Loctite®243™
シフトロッド用スクリュー	M6	10 Nm	Loctite®243™
シフトロッド用ナット	M6	6 Nm	
シフトロッド用ナット	M6LH	6 Nm	
シャーシ用その他のスクリュー	M6	10 Nm	
シャーシ用その他のナット	M6	10 Nm	



ステアリングヘッドへのマスクサポート取り付け用スクリュー	M6	10 Nm	Loctite®243™
セルフスターターモーターのアー 스케ーブル取付け用スクリュー	M6	10 Nm	
セルフスターターモーターのケーブル用スクリュー	M6	5 Nm	
セルフスターターリレーのケーブル用スクリュー	M6	4.5 Nm	
バッテリーサポートブラケット用スクリュー	M6	5 Nm	
バッテリー電極用スクリュー	M6	4.5 Nm	
ハンドブレーキフィッティング用スクリュー	M6	5 Nm	
ハンドプロテクター用スクリューキャップ	M6	6 Nm	
フットブレーキシリンダーのプッシュロッドボールジョイント用スクリュー	M6	10 Nm	Loctite®243™
フットブレーキシリンダー用スクリュー	M6	10 Nm	Loctite®243™
フューエルタンクカバー用スクリュー	M6x22	8 Nm	
フューエルタンクカバー用スクリューキャップ	M6	5 Nm	
フューエルタンククランプ用スクリュー	M6	3 Nm	
フューエルタンクスポイラー取り付け用スクリュー	M6	3 Nm	
フューエルタンクフェアリング用スクリュー	M6x12	8 Nm	
ブレーキペダルのプッシュロッド用ナット	M6	6 Nm	
ブレーキペダル調節用ナット	M6	6 Nm	
ブレーキレバー用ナット	M6	トルクはナットにかけてください。 10 Nm	
フレームへのアー 스케ーブル取付け用スクリュー	M6	6 Nm	
マスクサポート補強用スクリュー	M6	10 Nm	Loctite®243™
ラジエーター取り付け部下用スクリュー	M6	5 Nm	
リアクロスバー用スクリュー	M6x13	10 Nm	Loctite®243™
リアクロスバー用スクリュー	M6x12	6 Nm	Loctite®243™
リアシートのフットレストサポート用スクリュー	M6	9 Nm	Loctite®243™
レギュレーター用スクリュー	M6	6 Nm	

活性炭フィルターの固定ブラケット用スクリュー	M6	8 Nm	
後輪ブレーキディスク用スクリュー	M6	14 Nm	Loctite®243™
後輪速度センサー用スクリュー	M6	6 Nm	
前方ブレーキディスク用スクリュー	M6	14 Nm	Loctite®243™
前輪速度センサー用スクリュー	M6	6 Nm	
燃料コック用スクリュー	M6	6 Nm	
燃料ポンプ用スクリュー	M6	6 Nm	
アッパートリプルクランプ用スクリュー	M8	15 Nm	
エンジンガードフレーム用スクリュー	M8	25 Nm	Loctite®243™
エンジンホルダーフレーム接続サポート用スクリュー	M8	25 Nm	Loctite®243™
サイドグリップ用スクリュー	M8	25 Nm	Loctite®243™
サイドスタンド取り付けアームのスプリングホルダー用スクリュー	M8	15 Nm	Loctite®2701™
サブフレーム用スクリュー	M8	25 Nm	Loctite®243™
シフトレバー用スクリュー	M8	25 Nm	Loctite®2701™
シャーシ用その他のスクリュー	M8	25 Nm	
シャーシ用その他のナット	M8	25 Nm	
シリンダーヘッドへのマニホールド取り付け用ナット	M8	ナットを均等に締めます。プレートを曲げないように注意。 20 Nm	コパベースト
ステアリングステム用スクリュー	M8	20 Nm	Loctite®243™
トリプルクランプへのステアリングダンパー取り付け用スクリュー	M8	8 Nm	Loctite®243™
ハンドプロテクター用スクリュー	M8	25 Nm	
ハンドルパークランプ用スクリュー	M8	20 Nm	
フォークレグのアクスル通し穴用スクリュー	M8	15 Nm	
ブレーキパッド用安全ボルト	M8	10 Nm	
ブレーキペダル戻しばねボルト用スクリュー	M8	12 Nm	Loctite®2701™
ブレーキペダル用スクリューキャップ	M8	25 Nm	Loctite®2701™
フレームへのサブサイレンサー用スクリュー	M8	25 Nm	Loctite®243™
ホルダーへのステアリングダンパー取り付け用スクリュー	M8	8 Nm	Loctite®243™

メインサイレンサーホルダー用スクリュー	M8	25 Nm	
メインサイレンサー固定用スクリュー	M8	15 Nm	
リアシートブラケット用スクリュー	M8	25 Nm	Loctite®243™
リアスプロケットスクリュー用ナット	M8	35 Nm	Loctite®2701™
口アートリプルクランプ用スクリュー	M8	12 Nm	
後方フットレストサポート用スクリュー	M8	25 Nm	Loctite®243™
後方ブレーキキャリパー用ボルト	M8	22 Nm	Loctite®243™
前方ブレーキキャリパー用スクリュー	M8	25 Nm	
エンジン取付けスクリュー	M10	45 Nm	Loctite®243™
サイドスタンド用スクリュー	M10	40 Nm	Loctite®243™
サブフレーム用スクリュー	M10	50 Nm	Loctite®243™
シャーシ用その他のスクリュー	M10	45 Nm	
シャーシ用その他のナット	M10	45 Nm	
ハンドルアダプター用スクリュー	M10	45 Nm	Loctite®243™
前方フットレストサポート用スクリュー	M10x30	45 Nm	Loctite®243™
前方フットレストサポート用スクリュー	M10x40	45 Nm	Loctite®243™
前方フットレストサポート用スクリュー	M10x65	45 Nm	Loctite®243™
ブレーキホース用バンジョーボルト	M10x1	25 Nm	
ターンシグナル用ナット	M10x1.25	4 Nm	
前方ブレーキキャリパー用スクリュー	M10x1.25	45 Nm	Loctite®243™
ショックアブソーバー用下部スクリュー	M12	80 Nm	Loctite®2701™
ショックアブソーバー用上部スクリュー	M12	80 Nm	Loctite®2701™
スイングアームピボット用スクリュー	M12	100 Nm	
ラムダセンサー	M18x1.5	50 Nm	
スイングアーム用調節スクリュー	M20LHx1.5	10 Nm	
ステアリングヘッド用スクリュー	M25x1.5	18 Nm	
後輪アクスルシャフト用ナット	M25x1.5	90 Nm	ねじ山とアクスルシャフトの設置面がグリースアップされている

前方アクスルシャフト用スク リュー	M25x1.5	45 Nm ねじ山にはグリースを塗布
----------------------	---------	-----------------------

24.1 適合宣言

**i** 参考

機能および装備内容はモデルにより異なり、場合によっては記載されている無線装置や適用範囲が含まれない場合があります。





JNS Instruments Ltd.は無線装置タイプ252M1100が該当するガイドラインに適合していることを宣言します。適合宣言の全文は以下のインターネットアドレスで閲覧することができます。  
認定ウェブサイト: <http://www.ktm.com/252m1100>

KTM AGは無線装置タイプImmo641が該当するガイドラインに適合していることを宣言します。適合宣言の全文は以下のインターネットアドレスで閲覧することができます。  
認定ウェブサイト: <http://www.ktm.com/immo641>

Schrader Electronics Ltdは無線装置タイプTyre Pressure Monitoring Systemが該当するガイドラインに適合していることを宣言します。適合宣言の全文は以下のインターネットアドレスで閲覧することができます。  
認定ウェブサイト: <http://www.ktm.com/tpms>

24.2 各国適合宣言

**Immo641**

TRA  
REGISTERED No:  
ER63251/18  
DEALER No:  
DA74519/18


Complies with  
IMDA Standards  
DA103787

ictQATAR  
Type Approval reg. No.:  
CRA/SA/2018/R-7050

RTIKTM18-0315, KTM, Minda Immo641  
La operación de este equipo está sujeta a las siguientes dos condiciones: (1) es posible que este equipo o dispositivo no cause interferencia perjudicial y (2) este equipo o dispositivo debe aceptar cualquier interferencia, incluyendo la que pueda causar su operación no deseada.

57743/SDPPI/2018  
PLG ID: 7757

Company Name: KTM AG  
Equipment Name: Immobilizer System  
Model Name: Minda Immo641  
Manufactured Date:  
Manufacturer / Country: Minda Corporation Limited / India


  

UA.TR.109

**Israel 51-65016**

מוצר זה פטור מרישיון הפעלה אלהותי.  
המוצר אסור לשימוש למתן שירות לצד ג'.  
אסור להחליף אנטנת המכשיר המקוריית.  
אסור לעשות במכשיר כל שינוי טכני.

This product contains radio equipment (125 kHz transmitter) which is conform with the regulations for communications equipment (extremely low-power radio station) specified in article 6, paragraph 1 of the Radio Law Enforcement Regulations.

03469-18-11400

This product does not need an Israeli wireless operation license.  
It is forbidden to use this product for service to third party.  
It is forbidden to replace the original antenna  
It is forbidden to make any technical change in this product.

AGREE PAR L'ANRT MAROC  
Numéro d'agrément: MR 16565 ANRT 2018  
Date d'agrément: 15/05/2018

"Este equipamento opera em caráter secundário, isto é, não tem direito a proteção contra interferência prejudicial, mesmo de estações do mesmo tipo, e não pode causar interferência a sistemas operando em caráter primário."

V01514-01

## エンジンオイル (SAE 10W/50)

### 規格 / 分類

- JASO T903 MA2 (頁 167)
- SAE (頁 167) (SAE 10W/50)

### 規定

- 指定された規格 (タンク記載を参照) に適合し、これに応じた特性を有するエンジンオイルのみを使用して下さい。

100%化学合成エンジンオイル
-----------------

### 推奨製品

- MOTOREX®
- Power Synt 4T

## クーラント

### 規定

- アルミニウム製エンジン用腐食防止剤が混合され珪酸を含有しない高品質のクーラントのみを使用して下さい。低品質で不適切な不凍液は腐食、沈着、発泡の原因となります。
- 腐食防止や潤滑特性などはクーラントによってのみ可能なものですので、純水は使用しないで下さい。
- 指定された規格 (タンク記載を参照) に適合し、これに応じた特性を有するクーラントのみを使用して下さい。

耐凍結効果有効期間	-25 °C
-----------	--------

必要となる耐凍結効果得るために配合割合を調整しなければなりません。クーラントを薄める必要がある場合は蒸留水を使用して下さい。

事前調査されているクーラントの使用が推奨されています。

耐凍結効果、薄め方、他のクーラントとの混和性 ( 互換性 ) に関してはクーラントメーカーの指示に従って下さい。

### 推奨製品

- MOTOREX®
- COOLANT M3.0

## ダンパーオイル (SAE 2.5) (50180751S1)

### 規格 / 分類

- SAE (頁 167) (SAE 2.5)

### 規定

- 指定された規格 (タンク記載を参照) に適合し、これに応じた特性を有するオイルのみを使用して下さい。

## ブレーキフルード DOT 4 / DOT 5.1

### 規格 / 分類

- DOT

### 規定

- 指定された規格 (タンク記載を参照) に適合し、これに応じた特性を有するブレーキフルードのみを使用して下さい。

### 推奨製品

- Castrol
- REACT PERFORMANCE DOT 4
- MOTOREX®
- Brake Fluid DOT 5.1

**フロントフォークオイル (SAE 4) (48601166S1)****規格 / 分類**

- SAE (📖 頁 167) (SAE 4)

**規定**

- 指定された規格 (タンク記載を参照)を満たし、使用環境に応じた品質のオイルのみを使用して下さい。

**無鉛ハイオクガソリン (ROZ 95)****規格 / 分類**

- DIN EN 228 (ROZ 95)

**規定**

- 指定内容に該当するまたは同等の無鉛プレミアムガソリンのみを使用して下さい。
- 最大 10%のエタノールを含む混合ガソリン (E10)を使用しても問題ありません。

**参考**

メタノール燃料 (M15、M85、M100 など)および 10%以上のエタノールを混合した燃料 (E15、E25、E85、E100 など)は**使用しない**で下さい。

### Perfect Finish およびラッカー塗装用光沢剤

- 推奨製品  
MOTOREX®  
- Moto Shine

### チェーンスプレー・ Street

- 規定  
推奨製品  
MOTOREX®  
- Chainlube Road Strong

### チェーン洗浄剤

- 推奨製品  
MOTOREX®  
- Chain Clean

### モーターサイクル用洗浄剤

- 推奨製品  
MOTOREX®  
- Moto Clean

### ラッカー塗装 ( 光沢、非光沢 )、金属、プラスチック専用洗浄剤

- 推奨製品  
MOTOREX®  
- Quick Cleaner

### ラッカー塗装、金属、ゴム用手入れ剤

- 推奨製品  
MOTOREX®  
- Moto Protect

### 耐久性グリース

- 推奨製品  
MOTOREX®  
- Bike Grease 2000

### 燃料添加剤

- 推奨製品  
MOTOREX®  
- Fuel Stabilizer

### 汎用オイルスプレー

- 推奨製品  
MOTOREX®  
- Joker 440 Synthetic



## JASO T903 MA2

多岐にわたる技術開発を受け、モーターサイクル専用の規格、**JASO T903 MA2**が生まれました。以前はモーターサイクル専用の仕様がなく、モーターサイクルには乗用車のエンジンオイルが使われていました。

乗用車ではエンジンのサービス頻度を下げる事が重要である一方、モーターサイクルエンジンでは何よりも高回転数で高い出力を引き出す事が要求されます。

モーターサイクルでは、ギアやクラッチにエンジンと同じオイルが使用される事が珍しくありません。

**JASO T903 MA2**規格はこれら特殊な事象を考慮に入れた内容となっています。


## SAE

SAE 粘度は米国の自動車技術者協会 (Society of Automotive Engineers)によって定められたもので、オイルをその粘度によってクラス分けするものです。粘度はオイルの一特性に過ぎず、その品質を表すものではありません。

-	KTM MY RIDE	通話とオーディオ用携帯とヘッドセットを利用した無線コミュニケーションシステム
ABS	アンチロック・ブレーキシステム	直進走行中に車輪がロックしてハンドルが効かなくなってしまうのを防ぐ安全システム
MSR	エンジンスリップコントロール	エンジンブレーキの作用が大きい場合、スロットルバルブを少し開けることで後輪のブロックを防ぐエンジン制御の補助機能
OBD( オンボード・ダイアグノーシス)	オンボード診断	車両の電気系統の数値を監視する車両システム
-	クイックシフター・プラス	クラッチ操作を必要としないシフトのためのエンジン制御ユニットの機能
TPMS	タイヤ空気圧コントロールシステム ( Tire Pressure Monitoring System )	タイヤに装着されたセンサーでタイヤ空気圧を監視し運転者に表示する安全システム
DRL	デイライト	日中での車両の視認性を高め、ヘッドライトのロービームとは異なり、光が一点に集束することなく、路面を照射しないライト
MTC	バイクトラクションコントロール ( モーターサイクルトラクションコントロール )	空転している後輪のエンジントルクを低減させるエンジン制御の補助機能






## 29.1 赤のマーク

赤のマークは直ちに対処すべきエラー状態を示します。

	オイル圧力警告ランプが赤く点灯-油圧が低過ぎます。交通規制に従った方法で速やかに停車し、エンジンを止めます。
---	--





## 29.2 黄色とオレンジ色のマーク

黄色とオレンジ色のマークはできるだけ早く対処すべきエラー状態を示します。運転支援システムが作動している場合も同様に黄色またはオレンジ色のマークが表示されます。

	不具合インジケータランプが黄色に点灯- OBD( オンボード・ダイアグノーシス)が車両の電気系統で不具合を検出しました。交通規制に従った方法で速やかに停車し、KTM 正規ディーラーに連絡して下さい。
	ABS 警告ランプが黄色に点灯- ABSの状態メッセージまたはエラーメッセージ。
	TC インジケータランプが黄色に点灯 / 点滅- MTC ( 頁 138) が作動していないか制御中です。TC インジケータランプは不具合が検出された場合にも点灯します。KTM 正規ディーラーに連絡して下さい。MTC または MSR ( オプション ) が稼動すると TC インジケータランプが点滅します。
	速度制御システムインジケータランプ ( オプション ) が黄色に点灯- 速度制御システムの機能はオンになっていますが速度制御していません。
	一般警告ランプが黄色に点灯- 使用上の安全性に関する注意 / 警告事項が検出されました。これはディスプレイにも表示されます。

## 29.3 緑と青のマーク

緑と青のマークは情報を表示しています。

	ターンシグナルインジケータランプがターンシグナルのリズムで緑に点滅- ターンシグナルが作動しています。
	ニュートラルインジケータランプが緑に点灯- ギアがニュートラルに入っています。
	速度制御システムインジケータランプ ( オプション ) が緑に点灯- 速度制御システムの機能はオンで、速度制御しています。
	ハイビームインジケータランプが青く点灯- ハイビームが点灯しています。

<b>1</b>		<b>エンジンナンバー</b> . . . . .	14
<b>12V バッテリー</b>		<b>お</b>	
充電する . . . . .	126	<b>オイルスクリーン</b>	
取り付ける . . . . .	125	清掃する . . . . .	140
取り外す . . . . .	123	<b>オイルフィルター</b>	
<b>A</b>		交換する . . . . .	140
<b>ABS</b> . . . . .	106	<b>オーナーズマニュアル</b> . . . . .	9
<b>ABS のヒューズ</b>		<b>か</b>	
交換する . . . . .	129	<b>各部の名称</b>	
<b>ACC1</b>		左前方 . . . . .	11
後方 . . . . .	134	右後方 . . . . .	12
前方 . . . . .	133	<b>カスタマーサービス</b> . . . . .	10
<b>ACC2</b>		<b>環境</b> . . . . .	9
後方 . . . . .	134	<b>き</b>	
前方 . . . . .	133	<b>キーナンバー</b> . . . . .	13
<b>M</b>		<b>技術アクセサリ</b> . . . . .	10
<b>MSR</b> . . . . .	75	<b>キャリアプレート</b> . . . . .	25
<b>あ</b>		<b>給油する</b>	
<b>アンチロック・ブレーキシステム</b> . . . . .	106	燃料 . . . . .	78
<b>い</b>		<b>く</b>	
<b>イグニッション</b> . . . . .	19	<b>クイックシフター・プラス</b> . . . . .	72
<b>インジケータランプ</b> . . . . .	30	<b>クーラントのレベル</b>	
<b>う</b>		(調節タンク)調整する . . . . .	136
<b>ウインドシールド</b>		(調節タンク)点検する . . . . .	135
設定する . . . . .	63	<b>クラッチレバー</b> . . . . .	15
取り付ける . . . . .	100	基本位置を調整する . . . . .	64
取り外す . . . . .	100	<b>クラッチレバーの遊び</b>	
<b>運転操作の前に</b>		設定する . . . . .	143
運転操作の前に必ず行う点検・メンテナンス作		点検する . . . . .	143
業 . . . . .	71	<b>け</b>	
初めて運転操作を行う際の注意 . . . . .	68	<b>ケミカル類</b> . . . . .	10
保管後 . . . . .	147	<b>こ</b>	
<b>え</b>		<b>交換部品</b> . . . . .	10
<b>エマージェンシーOFFスイッチ</b> . . . . .	18	<b>後輪</b>	
<b>エンジン</b>		取り付ける . . . . .	117
慣らし運転をする . . . . .	69	取り外す . . . . .	115
<b>エンジンオイル</b>		<b>後輪のハブダンパー</b>	
交換する . . . . .	140	点検する . . . . .	118
補給する . . . . .	142	<b>コーナリング MTC</b> . . . . .	138
<b>エンジンオイルのレベル</b>		<b>誤使用</b> . . . . .	7
点検する . . . . .	140	<b>コンビネーションインスツルメント</b> . . . . .	28-60
<b>エンジンガード</b>		MTC+MSR(オプション) . . . . .	49
取り付ける . . . . .	104	Heating Grip(オプション機能) . . . . .	50, 58
取り外す . . . . .	103	ABS . . . . .	50
<b>エンジン始動</b> . . . . .	71	Audio . . . . .	38
<b>エンジンスリップコントロール</b> . . . . .	75	Bluetooth . . . . .	53

Display Theme	53	ラリー表示 (オプション)	32
Distance	57	コンビネーションスイッチ	15
DRL	56	各部の名称	15
Extra Functions	59	<b>さ</b>	
Favorites	52	サービス	10
Fuel Cons	57	サービスプラン	80-81
General Info	43	サイドカバー、左	
Headset	41	取り付ける	92
KTM MY RIDE	38	取り外す	91
Language	57	サイドカバー、右	
Leave Rally(オプション)	48	取り付ける	93
Motorcycle	48	取り外す	92
MTC	49	サイドグリップ	25
Pairing	40	サイドスタンド	27
Phone	40	作業上の決まり	9
Quick Selector 1	52	<b>し</b>	
Quick Selector 2	52	シートロック	25
Rally(オプション)	47	時刻	
Ride Mode	46, 138	設定する	55
Service	59	シフト操作	73
Settings	51	シフトレバー	26
Temperature	57	基本位置を調整する	67
Throttle Response(オプション)	47, 139	基本位置を点検する	66
TPMS	44	車載工具	25
Trip 1	43	写真	10
Trip 2	44	車両	
Trips/Data	43	清掃する	144
Units	56	フロントスタンドから降ろす	85
Warning	45	フロントスタンドで持ち上げる	84
インジケータランプ	30	リアスタンドから降ろす	84
外気温度表示	36	リアスタンドで持ち上げる	84
回転	33	車両識別番号	13
各部の名称	28	車両に荷物を積む	69
起動とテスト	28	収納スペース (左)	
クーラント温度の表示	35	閉める	23
グリップヒーター (オプション)	34	開く	23
警告	29	収納スペース (右)	
シートヒーター (オプション)	34	閉める	24
時刻	36	開く	24
シフトランプ	33	仕様一覧	
スリップ調整 (オプション)	139	エンジン	150-162
速度制御システムの表示 (オプション)	35	締付けトルク、シャーシ	157
速度表示	33	締付けトルク、エンジン	151
デイ/ナイトモード	28	シャーシ	154
ディスプレイ	31	ショックアブソーバー	156
電話	42	タイヤ	156
凍結警告	29	電装系	155
ナビゲーション	39	フロントフォーク	156
燃料レベル表示	36		
"ヒーター" (オプション機能)	58		
Ride表示	34		
メニュー	38		

容量	154	適合宣言	163
使用環境	7	国別	163
使用時の安全性	8	電装系アクセサリ用コンセント	20
使用目的	7	<b>と</b>	
ショックアブソーバー	82	冬季運転	
スプリングプリロードを調節する	82	点検・メンテナンス作業	145
リバウンドダンパーを調節する	82	凍結警告	29
ショックアブソーバータイプナンバー	14	同乗者用フットレスト	26
診断プラグ	133	トラブルシューティング	148-149
<b>す</b>		<b>に</b>	
スイッチ		荷物	69
左ハンドルバー	15	<b>ね</b>	
右ハンドルバー	18	燃料コック	21
スタートキー	18	<b>は</b>	
ステアリングダンパータイプナンバー	14	バッテリーカバー	
スポークの張り		取り付け	94
点検する	121	取り外す	93
スロットルグリップ	15	バンク修理剤	
<b>せ</b>		使用法	122
前輪		ハンドル操作	
取り付け	114	ロックする	19
取り外す	113	ロックを解除する	19
<b>そ</b>		ハンドルバーの位置	61
走行	73	設定する	61
速度制御システム		ハンドルロック	19
条件	16	<b>ひ</b>	
<b>た</b>		ヒューズ	
ターニングナルスイッチ	18	各電装系部品を交換する	130
タイプラベル	13	<b>ふ</b>	
タイヤ空気圧		フィルターキャップ	
点検する	120	閉める	21
タイヤの状態		外す	20
点検する	119	フォークレッグ	
<b>ち</b>		ダストシールを清掃する	99
チェーン		フューエルタンクカバー、左	
清掃する	87	取り付け	101
点検する	89	取り外す	101
汚れを点検する	87	フューエルタンクカバー、右	
チェーンの遊び		取り付け	103
設定する	88	取り外す	102
点検する	88	フューエルタンクスポイラー、左	
駐車	77	取り付け	95
チューブレスタイヤシステム	122	取り外す	94
<b>て</b>		フューエルタンクスポイラー、右	
停止	77	取り付け	97
		取り外す	96

ブレーキ	76
ブレーキシステム	106-112
ブレーキディスク	
点検する	107
ブレーキパッド	
(後輪ブレーキ)点検する	112
(前輪ブレーキ)点検する	109
ブレーキフルード	
(後輪ブレーキ)補給する	111
(前輪ブレーキ)補給する	108
ブレーキフルードのレベル	
(後輪ブレーキ)点検する	110
(前輪ブレーキ)点検する	108
ブレーキペダル	26
遊びを点検する	110
基本位置を調整する	65
ブレーキペダルのステップ	
調節する	65
ブレーキレバー	15
基本位置を調整する	64
ブレーキをかける	76
フロントシート	
調節する	61
取り外す	86
を取り付ける	86
フロントスプロケット	
点検する	89
フロントフェンダー	
取り付ける	98
取り外す	98
フロントフォークタイプナンバー	14
<b>へ</b>	
ヘッドライト	
照明距離を調節する	132
調整を点検する	132
デイライト	123
<b>ほ</b>	
法定保証	10
ホーンスイッチ	18
保管	147
保護服	8
<b>め</b>	
メインヒューズ	
交換する	128
メーカー保証	10
<b>も</b>	
モーターサイクルトラクションコントロール	138

<b>ゆ</b>	
油脂類	10
輸送	78
<b>よ</b>	
<b>容量</b>	
エンジンオイル	141, 154
クーラント	154
燃料	79, 154
<b>ら</b>	
ライディング	
発進	72
ライトスイッチ	16
<b>り</b>	
リアシート	
取り外す	85
を取り付ける	86
リアシート下の収納スペース	
閉める	22
開く	21
リアスプロケット	
点検する	89
<b>れ</b>	
冷却システム	135



3214534ja

2021 年 09 月

